
smaconne 利用マニュアル



2023 年 8 月 8 日

株式会社ベストコミュニケーションズ

目次

はじめに	1
全体の流れ	2
インストール/セットアップ	3
パッケージ内容の確認	3
動作環境	3
表示言語	4
エージェントの実行権限の設定	4
Domino Web サーバーの設定	4
文書リンクアイコンの有効化設定	4
文字コードの設定	5
シングルサインオン（SSO）の設定	5
HTTP リクエストに「%」を許容する設定	5
エージェントマネージャのパフォーマンス設定	6
DominoAsynchronizeAgents	6
同時に実行するエージェントの数を制御する	6
smaconne アプリの作成	6
smaconne アプリの ACL 設定	7
ロールについて	7
ACL 設定例	8
smaconne アプリのバージョンアップ	9
バージョンアップの手順	9
バージョンアップ結果の確認	10
アクティベーション	11
アクティベーションコードの入手	11
メールでのお申込方法	11
Web サイトからのお申込方法	11
アクティベーションコードの入力	12
「アプリ設定」文書の作成	13
ビュー	13
「アプリ設定」ビュー	13
「タブ別アプリ設定」ビュー	13
「ファイル名別アプリ設定」ビュー	14
「使用中のアプリ設定」ビュー	14
[タブ設定] ボタン	14

「Notes アプリ設定」文書を作成/編集する	15
基本情報	15
ビュー情報	18
ビュー設定文書を追加する	18
ビュー設定文書を編集する	18
ビュー設定文書を複製する	18
ビュー設定文書を削除する	18
ビュー設定文書を設定する	19
通常のビュー（標準のアウトライン）の場合	20
列で並び替え（列ソート）	21
カレンダービューの場合	21
オーバーレイして表示できるカレンダーの条件	22
フォーム情報	23
フォーム設定文書を追加する	23
フォーム設定文書を編集する	23
フォーム設定文書を複製する	23
フォーム設定文書を削除する	23
フォーム設定文書を設定する	23
smaconne で文書作成/編集する場合の設定	27
ブレースホルダとなる条件	29
入力チェック	29
フィールド行の操作	29
フィールド情報の読み込み/書き出し	29
アクション情報	31
ビューのアクション	31
ビューアクション設定文書を追加する	31
ビューアクション設定文書を編集する	31
ビューアクション設定文書を複製する	31
ビューアクション設定文書を削除する	31
ビューアクション設定文書を設定する	31
アクションボタンを非表示にする	34
アクションボタンを非表示にするビュー	34
フォームのアクション	34
フォームアクション設定文書を追加する	34
フォームアクション設定文書を編集する	34
フォームアクション設定文書を複製する	34
フォームアクション設定文書を削除する	35
フォームアクション設定文書を設定する	35
アクションボタンを非表示にする	38
ビュー設定文書、フォーム設定文書、ビューアクション設定文書、フォームアクション設定文書を複製する	38
「ファイル名別アプリ設定」ビューを使って複製する方法	38
各文書の「複製...」ボタンを使って複製する方法	38
「Web アプリ設定」文書を作成/編集する	39
基本情報	39
例: 固定の文字列の場合	39
例: iNotes の場合	39

「アプリ設定」文書を複製する	41
「アプリ設定」文書を削除する	41
式の構文をチェックする	41

基本設定 43

アクセスログ設定	43
アプリ一覧ページ表示設定	43
[未読文書数を表示しない] チェックボックス	43
[アプリ一覧ページを開く時、[お知らせ] タブをデフォルト表示する] チェックボックス	43
[[履歴] タブを表示する] チェックボックス	43
ビューページ表示設定	44
[未読を赤字にする] チェックボックス	44
[[フォロー] ボタンを表示する] チェックボックス	44
文書の参照ページ表示設定	44
文書の編集ページ表示設定	44
iPad/PC ブラウザ動作設定	44
PWA (Progressive Web App)	45
アピアランス	45
Cookie とユーザー設定	45
ビューデータの最大読み込み行数	45

お知らせ設定 46

「お知らせ設定」ビュー	46
「お知らせ設定」文書を作成/編集する	47

タブ設定 50

「タブ設定」ビュー	50
「タブ設定」文書を作成/編集する	50

参照先アプリの設定等 53

全文索引	53
リッチテキストフィールド	53
内容の表示	53
Domino バージョン 8.5 よりも前での編集	54
Domino バージョン 8.5 以降での編集	54
フォントサイズ	55
文書リンク	55
添付ファイル	55
添付ファイル追加の許可設定	56
ファイルを添付するフィールド	56
文書保存のアクション	56
入力チェック	57
文書保存後の自動ページ遷移	57

文書保存後にページ遷移しないようにする設定	57
エージェントで引数を取得する	58
「該当アプリのエージェントを起動する」エージェントの場合	58
「該当アプリの URL を指定する」エージェントの場合	59
フォームで引数を取得する	60
カスタムの編集用フォーム	61
カスタムフォームのデザイン	61

URL 変換設定 62

「URL 変換設定」ビュー	62
「URL 変換設定」文書を作成/編集する	63
例 1: 従来の Domino Web クライアント・アクセス用 (XPages でない) の URL リンクの場合	64
例 2: XPages 用のユニバーサル ID による URL リンクの場合	64
例 3: XPages 用の Note ID による URL リンクの場合	65
例 4: Redirect&Name 引数がある場合の変換	65

複数の Domino サーバーを利用する場合のサーバー設定 67

サーバー文書の設定	67
Web サイトルール文書の設定	67
複数サーバーのシングルサインオン (SSO) の設定	68
複数サーバーでの参照先アプリの ACL 設定	69

smaconne のアクセスログ取得 70

「smaconne アクセスログ」アプリの概要	70
「smaconne アクセスログ」アプリの作成	70
「smaconne アクセスログ」アプリの ACL 設定	71
ACL 設定例	71
ビュー	72
「日付別」ビュー	72
「Notes アプリ別」ビュー	72
「ページ別」ビュー	72
「ユーザー別」ビュー	72
「デバイス別」ビュー	72
「ブラウザ別」ビュー	72
アクセスログの取得	73
「smaconne アクセスログ」アプリの管理	73

マルチデバイスで Cookie 情報を共有 74

「smaconne ユーザー設定」アプリの概要	74
「smaconne ユーザー設定」アプリの作成	74
「smaconne ユーザー設定」アプリの ACL 設定	75

ロールについて	75
ACL 設定例	75
ビュー	76
「ユーザー別」ビュー	76
「Cookie 名別」ビュー	76

PWA として利用するための設定 77

サポート対象 Web ブラウザ	77
PWA として利用するために必要な設定	78
Domino サーバーで SSL を設定	78
Anonymous のアクセス権限を変更	79
すべての Notes アプリ設定文書の「プロトコル」を「https」に設定	79
基本設定で PWA の利用を許可	79

Excel 連携 80

「smaconne Excel 連携」アプリと「smaconne デフォルトアプリ」テンプレートの概要	80
Excel ファイルに関する制約事項	80
「smaconne Excel 連携」アプリの作成	81
「smaconne デフォルトアプリ」テンプレートの配置	82
「smaconne Excel 連携」アプリの ACL 設定	83
ACL 設定例	83
「Excel 連携」機能を開く	84
Excel ファイルから Notes アプリとデータを登録する	84
Excel ファイル選択	84
Domino サーバー選択	85
基本情報入力	85
オプション情報入力	85
進行状況表示	86
Excel ファイルから Notes アプリとデータを登録完了	86
Excel ファイルからデータを追加登録する	86
Excel ファイル選択	86
Notes アプリ選択	86
進行状況表示	87
Excel ファイルからデータを追加登録完了	87
Excel ファイルヘデータを出力する	87
Notes アプリ選択	87
進行状況表示	87
Excel ファイルヘデータを出力完了	88
ログを表示する	88
ログを削除する	88

スマートデバイスでの利用 89

PC の Web ブラウザによる利用	89
スマートデバイスの Web ブラウザによる利用	89
表示言語	89
ログイン	89
アプリ一覧ページの使い方	90
再読み込みボタン (①)	90
戻るボタン (②)	90
スクロールボタン (③)	90
タブ	90
検索	91
お知らせ	92
履歴	92
ブックマーク管理	93
【PC/Mac の Web ブラウザのみ】ブックマークの並び替え	94
フォロー	94
未読表示モード	95
管理モード	95
アプリ	95
ビューページの使い方	96
カテゴリー一覧	96
文書一覧	96
ボタン類	97
検索	97
列で並び替え (列ソート)	97
操作ペイン	98
ビューの数やアクションボタンの数が多い場合の操作	103
カレンダーの使い方	104
1 日カレンダー	104
1 週カレンダー	105
タスク等の表示/非表示	106
カレンダーのオーバーレイ表示	106
初めて設定する場合	106
2 回目以降の場合	106
文書の参照ページの使い方	108
文書の編集ページの使い方	109
入力チェック	111
smaconne の「フォーム情報」の「編集時の入力チェック」で [入力必須項目] チェックボックスが ON の場合	111
参照先のアプリの設定を利用する場合	112
添付ファイルの操作	112
添付ファイルの参照	112
添付ファイルの削除	112
添付ファイルの追加	112
PWA としての利用	113
ホーム画面に追加	113
smaconne PWA を起動	114

タブレット用インタフェース	115
アプリ一覧ページ	115
アプリ一覧ページ - 「お知らせ」タブ	115
アプリ一覧ページ - 「検索結果」タブ	116
アプリ一覧ページ - 「履歴」タブ	116
アプリ一覧ページ - 「ブックマーク管理」タブ	117
ビューページ	118
ビューページ - カテゴリー一覧	118
ビューページ - 1 週カレンダー	119
ビューページ - 1 日カレンダー	119
文書の参照ページ	120
文書の編集ページ	120
CACHATTO SecureBrowser による利用	121
CACHATTO の設定	121
CACHATTO SecureBrowser での利用手順	121

更新履歴 122

2020 年 11 月 27 日	122
2021 年 2 月 10 日	122
2021 年 6 月 4 日	122
2021 年 8 月 30 日	123
2021 年 10 月 22 日	124
2022 年 2 月 9 日	124
2022 年 5 月 2 日	125
2022 年 7 月 22 日	125
2022 年 10 月 19 日	125
2023 年 2 月 16 日	126
2023 年 5 月 9 日	126
2023 年 8 月 8 日	126

はじめに

本書は、smaconne (Smart Device Connector for Notes) に関するセットアップおよび利用に関する案内を記載しています。

本書の読者として想定していますのは、Notes/Domino のシステム管理者/技術者です。

本書の Notes/Domino に関する記述は、いずれもバージョン 9.0.1 を元に記載しています。ほかのバージョンをご利用の場合は、お手数ですが、そのバージョンに読み替えてご利用ください。

本書に記載の無い事項に関しては、以下のページもご参照ください。以下のページは Notes で smaconne を開いた時に画面左に表示されるナビゲーションメニューの [smaconne サポートページ] リンクボタンから開くこともできます。

- よくあるご質問
https://www.bcom.co.jp/sdc/ez3_contents.nsf/08
- 仕様（動作確認環境等）
https://www.bcom.co.jp/sdc/ez3_contents.nsf/05

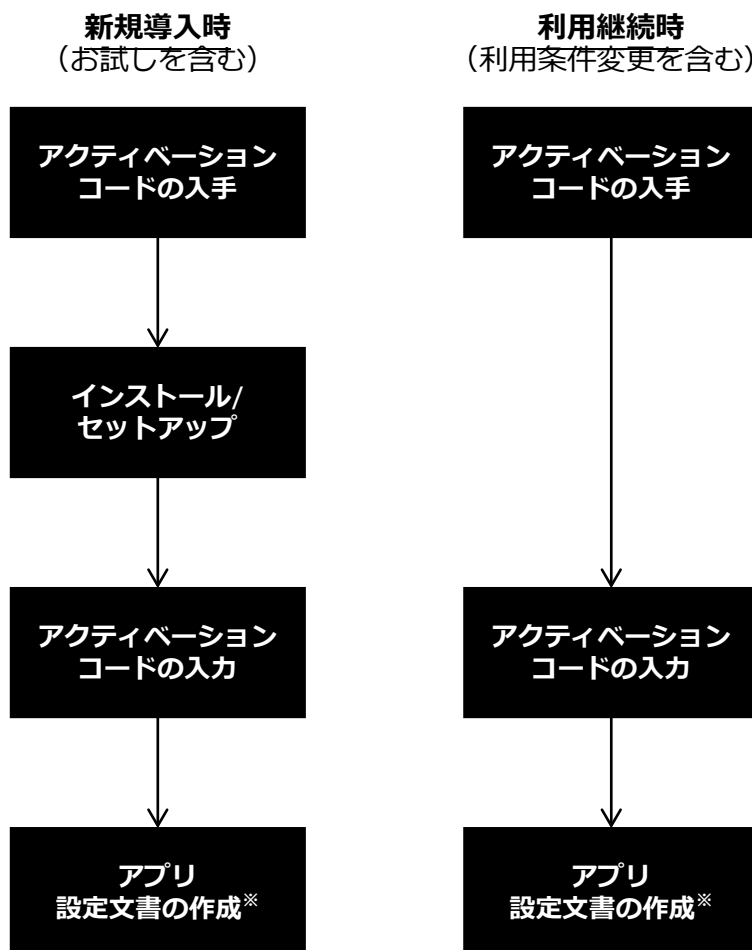
お問合せ等は、以下の(株)ベストコミュニケーションズ 営業部までお寄せください。

- <mailto:sales@bcom.co.jp>
- Tel: 03-5953-1510

- ※ smaconne は、株式会社ベストコミュニケーションズの登録商標です。
- ※ Notes および Domino は、HCL Technologies Limited.の商標です。
- ※ Apple、Apple のロゴ、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。iPhone、iPad、iTunes および Multi-Touch は Apple Inc.の商標です。
- ※ iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ※ Android は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- ※ CACHATTO は、e-Jan ネットワークス株式会社の登録商標です。
- ※ Oracle、Java および JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- ※ その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

全体の流れ

iPhone、iPad、Android デバイスなどのスマートデバイスや PC の Web ブラウザから、smaconne（Smart Device Connector for Notes）を通して既存の Notes アプリを利用できるようにするための手続きの概要を以下に記載します。



※ 「アプリ設定」文書の編集やスマートデバイスからの利用は、新規導入後は随時可能です。

インストール/セットアップ

smaconne (Smart Device Connector for Notes) は、既定の場所に既定の名前でインストールする必要があります。

以下の手順に従って、インストールしてください。

なお、smaconne を複数の Domino サーバーで利用する場合は、「複数の Domino サーバーを利用する場合のサーバー設定」も実施してください。

パッケージ内容の確認

smaconne のパッケージには、以下を同梱しています。不足しているものがありましたら、開発元までご連絡ください。

- ▼ smaconne テンプレート
sdcnctr.ntf
- ▼ 使用許諾契約
eula.pdf
- ▼ アクティベーションコード
sdcactcd.txt
- ▼ smaconne 利用マニュアル
manual.pdf

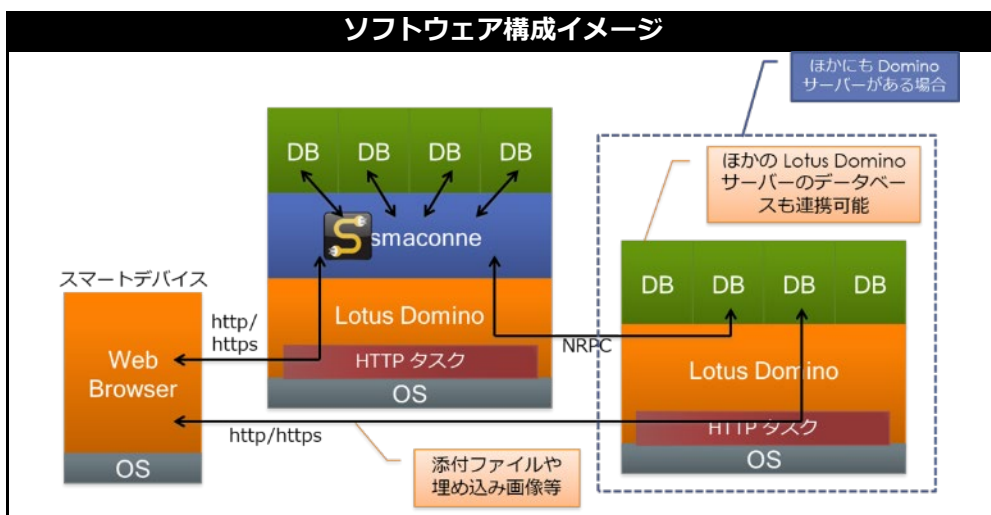
動作環境

smaconne は一部機能を除いて Domino バージョン 6 以降でご利用いただけます。Domino R5 以前をご利用の場合は、バージョン 6 以降にバージョンアップしてください。

以下の機能は Domino バージョン 8.5 以降のみでご利用いただけます。これらの機能をご利用になりたい場合は、バージョン 8.5 以降にバージョンアップしてください。

- ▼ リッチテキストエディタによる編集
- ▼ ファイルを添付するフィールドの指定
- ▼ 未読/既読の表示制御
- ▼ フォロー

smaconne と各 Notes アプリは NRPC (Notes プロトコル) で接続します。Apple iPhone や iPad、Google Android デバイスなどのスマートデバイスや PC の Web ブラウザからは http



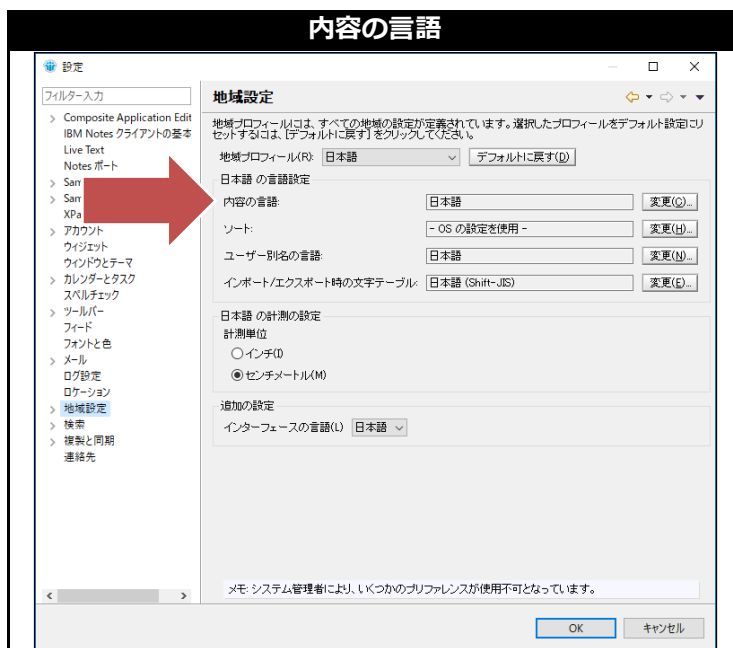
または https にて接続します。

表示言語

Notes の「地域設定」で「内容の言語」が「日本語」以外に設定されている場合、後述する「『アプリ設定』文書の作成」をはじめとする Notes を利用して smaconne を設定する際のラベルやメッセージ等のユーザーインターフェースは英語で表示されます。

エージェントの実行権限の設定

サーバー文書の「セキュリティ」タブの「可能なプログラムの制限」で、「制限なしで署名または実行」に管理者アカウントもしくは管理者グループ等を指定してください。



後述する「smaconne アプリの作成」や「smaconne アプリのバージョンアップ」では、ここに指定したアカウントで smaconne のテンプレートを署名いただくこととなります。

Domino Web サーバーの設定

「動作環境」にあるように smaconne は Web アプリとして動作します。このため、smaconne および smaconne から参照する Notes アプリが動作する Domino サーバーは Web サーバーとして機能し、Web ブラウザクライアントからアクセスできるようにする必要があります。

Domino サーバーでは、HTTP タスクが動作していることをご確認ください。もし HTTP タスクが動作していない場合は、起動するようにしてください。

その他、Domino サーバーを Web サーバーとして設定する方法等の詳細については、Domino Administrator ヘルプの「Domino サーバーを Web サーバーとして設定する」等をご参照ください。

https://www.bcom.co.jp/help/help?_admin.nsf/f4b82fbb75e942a6852566ac0037f284/3e325b34375197ca48257bee00234c651OpenDocument

Google Chrome や Edge (Chromium 版) では https ページ内にある http コンテンツ (Mixed Content/混合コンテンツ) をブロックする仕様となっています。このため、Google Chrome で smaconne へ https アクセスする場合、smaconne から利用する Notes アプリを配置しているすべての Domino サーバーに SSL を設定してください。

文書リンクアイコンの有効化設定

文書のリッチテキストフィールドに貼られた文書リンクアイコン (🔗) 等を Web で有効にするために、以下のいずれかの方法で設定してください。

▼ インターネットサイト文書を使用している場合

インターネットサイト文書の [Domino Web Engine] タブで、[変換/表示] の [外部リンク解決のためのリダイレクト] に [サーバー別] を指定する。

▼ インターネットサイト文書を使用していない場合

サーバー文書の [インターネット プロトコル] タブの [Domino Web Engine] タブで、[変換/表示] の [外部リンク解決のためのリダイレクト] に [サーバー別] を指定する。

文字コードの設定

smaconne は jQuery や CKEditor 等の JavaScript ライブラリを使用しています。smaconne で Notes アプリを表示する際に文字化けなどの不具合を避けるために、Domino Web サーバーが出力する文字コードに「UTF-8」を指定してください。

具体的には、以下のいずれかとなります。

▼ インターネットサイト文書を使用している場合

インターネットサイト文書の [Domino Web Engine] タブで、[文字セット] の [出力に UTF-8 を使用] に [はい] を指定する。

▼ インターネットサイト文書を使用していない場合

サーバー文書の [インターネット プロトコル] タブの [Domino Web Engine] タブで、[文字セット] の [出力に UTF-8 を使用] に [はい] を指定する。

シングルサインオン (SSO) の設定

smaconne では複数の Notes アプリに http/https プロトコルでアクセスしますので、基本認証でなく、単一サーバーもしくは複数サーバーのセッションベース認証 (シングルサインオン) の設定をしてください。(複数サーバーのシングルサインオンについては「[複数の Domino サーバーを利用する場合のサーバー設定](#)」の「[複数サーバーのシングルサインオン \(SSO\) の設定](#)」をご参照ください。)

シングルサインオンの設定手順は Web サイト文書を利用している場合とそうでない場合とでは異なります。詳細につきましては、Domino Administrator ヘルプの「[セッションベースの名前とパスワードによる認証を設定する](#)」等をご参照ください。

https://www.bcom.co.jp/help/help9_admin.nsf/f4b82fbb75e942a6852566ac0037f284/51f86ee875d0c6dd48257bee00234f88!OpenDocument

HTTP リクエストに「%」を許容する設定

日本語を URL に含める場合、その文字列を数値やアルファベットで表記するためにエンコードする必要があります。smaconne ではビュー名やフォーム名等に日本語が使用されている場合、自動で URL エンコードを行なっています。この URL エンコードはパーセントエンコードとも呼ばれており、「%XX」(X は 16 進数の値) と 3 桁の値として表現されます。

Domino Web サーバーはこの「%」を含む文字列による HTTP リクエストに以下のエラーを返すことがあります。

Http Status Code: 400

Reason: Http request contains a malformed escape sequence

これを回避するためにご利用の Domino サーバーの notes.ini に以下のパラメーターを追加して、Domino サーバーを再起動してください。

```
HTTPAllowDecodedUrlPercent=1
```

エージェントマネージャのパフォーマンス設定

smaconne は多くの Web エージェントと Web サービスを利用しますので、以下の値を設定すると全体的なパフォーマンスが向上します。

DominoAsynchronizeAgents

この設定では、クライアントからのブラウザ要求によってトリガされる Web エージェントを、同時に（同期させて）実行可能にするかどうかを指定します。デフォルトは 0（一度に実行できるのは 1 エージェントだけ）です。この値を 1 に設定すると、複数のエージェントを同時に実行できます。これにより、エージェントの実行が高速化されます。ただし、一度に実行するエージェント数が増えると、システム全体のパフォーマンスが低下する可能性があります。

これを設定する場合は、サーバー文書の [インターネット プロトコル] - [Domino Web Engine] タブで、[Web エージェントと Web サービス] セクションの [Web エージェントと Web サービスを同時に実行しますか?] を [有効] にします。

[Web エージェントと Web サービスのタイムアウト (秒)] のデフォルト値は 0（タイムアウトなし）です。

同時に実行するエージェントの数を制御する

エージェントを同時に実行することによって、負荷のかかりすぎているエージェントマネージャの負荷を軽減できます。

これを設定する場合は、サーバー文書の [サーバータスク] - [Agent Manager] セクションにある [同時に実行できるエージェントの最大数] フィールドを変更します。2 以上の値を指定すると、複数のエージェントを同時に実行できます。有効な値は、1 から 10 までです。デフォルト値は、日中は 1 で、夜間は 2 です。

同時に実行されるエージェントはそれぞれ、1 つの Agent Executive によって実行されます。現在実行している Agent Executive の数など、エージェントマネージャの状態のスナップショットを調べるには、サーバーコンソールで以下のコマンドを入力します。

```
tell amgr status
```

スケジュールされたエージェントのリストを確認するには、サーバーコンソールで以下のコマンドを入力します。

```
tell amgr schedule
```

smaconne アプリの作成

smaconne テンプレートを元に、既定の場所に新規にアプリを作成します。

1. smaconne テンプレートを、Notes（ローカル）のデータディレクトリにコピーします。
2. Notes/Domino システム管理者のアカウントで、Domino Administrator を起動します。
このアカウントは、Domino サーバー上でエージェントの実行権限が付与されている必要があります。

3. [ファイル] タブをクリックして開きます。
4. [表示内容] を「データベースのみ」に変更します。
5. 1. でコピーした smaconne テンプレートをクリックします。
6. [ツール] ペインで、[データベース] - [署名...] をクリックします。
7. 「データベースの署名」ダイアログで、オプションはデフォルトのまま、[OK] ボタンをクリックします。
8. ステータスバーに「1 アプリ処理しました。0 エラー。」と表示されたことを確認します。
9. [ファイル(F)] メニューから [アプリケーション (T)] - [作成(N)...] をクリックします。
10. 「新規アプリケーション」ダイアログで、以下の通りオプションを設定します。

- 新規アプリケーションと場所の指定

- サーバー: アクティベーションコード申込時に記載した Domino サーバー名
- タイトル: smaconne
- ファイル名: sdcnctr.nsf

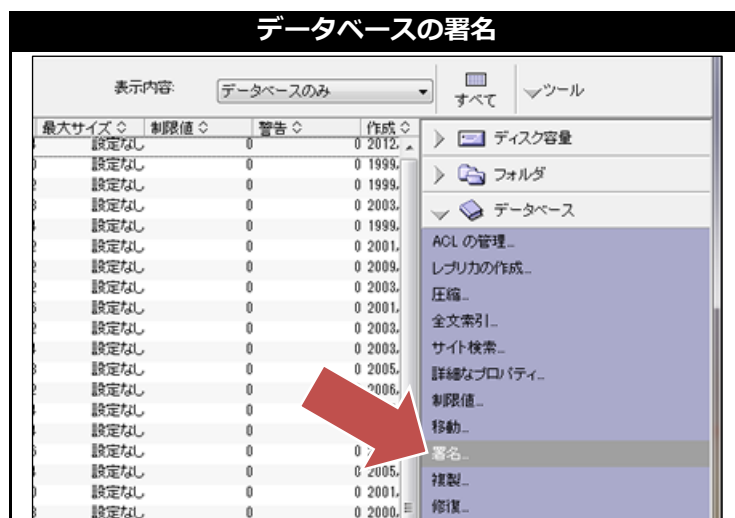
※ データ・ディレクトリの直下に作成してください。

- 新規アプリケーションのテンプレートの設定

- サーバー: Local
- テンプレート: smaconne

11. [OK] ボタンをクリックします。

ご利用の Domino サーバー上に、smaconne アプリ (sdcnctr.nsf) が作成されたことをご確認ください。



smaconne アプリの ACL 設定

作成した smaconne アプリに ACL を設定します。

smaconne からは複数の Notes アプリに接続するでしょうから、それらを共通的に利用できるようにユーザー/グループを ACL に登録する必要があります（通常は、スマートデバイスを利用する全ユーザーに該当するユーザー/グループになるでしょう）。

それらユーザー毎にアクセス可能な Notes アプリが異なるでしょうから、smaconne はユーザー毎にアクセス可能な Notes アプリのみをアプリ一覧ページに表示します。アクセス可能な Notes アプリでもアプリ一覧ページに表示したくないというケースもあるでしょう。そのような場合は、smaconne の各「アプリ設定」文書にて、「利用者」を入力することで設定することができます（詳しくは、「「アプリ設定」文書の作成」の「基本情報」をご参照ください）。

ロールについて

smaconne アプリの ACL で使用しているロールは、以下の2つです。

- [Admin]
システム管理者向けのロールです。製品のアクティベーションを行ったり、「アプリ設定」文書を作成/編集したり、非表示の「アプリ設定」文書を参照したりすることができます。
- [Creator]
「Excel 連携」機能利用者向けのロールです。「アプリ設定」文書を作成/編集することができます。

ACL 設定例

以上を踏まえて、smaconne アプリに割り当てる ACL の設定例を以下に記載します。

▼ - Default -

- 種類: 指定なし
- アクセス権: なし
- オプション権限: 全て OFF
- ロール: なし

認証無しでのアクセスを禁止します。

▼ Anonymous

- 種類: 指定なし（ユーザーでも可）
- アクセス権: なし
- オプション権限: 全て OFF
- ロール: なし

認証無しでのアクセスを禁止します。

▼ サーバー

- 種類: サーバー
- アクセス権: 管理者
- オプション権限: 全て ON
- ロール: [Admin]

システム管理者と同様に、[Admin] ロールを ON にします。

▼ データベース管理者

- 種類: ユーザーまたはユーザーグループ
- アクセス権: 管理者
- オプション権限: 全て ON
- ロール: [Admin]

全ての「アプリ設定」を操作できるように、[Admin] ロールを ON にします。

▼ 「アプリ設定」管理者

- 種類: ユーザーまたはユーザーグループ

- アクセス権: 編集者
- オプション権限: [文書の削除] と [文書を複製またはコピー] を ON にします。
- ロール: [Admin]

全ての「アプリ設定」を操作できるように、[Admin] ロールを ON にします。

▼ 「Excel 連携」機能利用者

- 種類: ユーザーまたはユーザーグループ
- アクセス権: 編集者
- オプション権限: [文書の削除] を ON にします。
- ロール: [Creator]

▼ 一般の利用者

- 種類: ユーザーまたはユーザーグループ
- アクセス権: 読者
- オプション権限: [パブリック文書 [作成者]] のみ ON
- ロール: なし

smaconne アプリのバージョンアップ

smaconne アプリのアップデートについて、「[アクティベーションコードの入手](#)」にてご連絡いただきましたメールアドレスへご連絡します。

ご連絡先が変更になりましたら、忘れずに変更のご連絡を以下の(株)ベストコミュニケーションズ 営業部までお知らせください。

- <mailto:sales@bcom.co.jp>
- Tel: 03-5953-1510
- Fax: 03-5953-8862

バージョンアップの手順

smaconne アプリのアップデート版は設計のみのテンプレートです。以下の手順にて、ご利用の smaconne アプリの設計をアップデートしてください。署名や設計置換の詳しい手順等につきましては、Domino Administrator のヘルプをご参照ください。

1. ファイルを解凍して、テンプレートを Notes（ローカル）のデータディレクトリの任意の場所に配置します。
サーバーのデータディレクトリに配置する場合は、テンプレートの ACL に管理者のアカウントを追加して、全てのロールを割り当ててください。
2. Notes/Domino システム管理者のアカウントで、Domino Administrator を起動します。
このアカウントは、Domino サーバー上でエージェントの実行権限が付与されている必要があります。
3. 1. で配置したテンプレートを指定して、全ての設計要素を Notes/Domino システム管理者アカウントで署名します。
4. ご利用の smaconne アプリの設計を、新しいテンプレートで置換します。

バージョンアップ結果の確認

バージョンアップが正常に完了したか否かは、アップデート版送付のメールに記載されているビルド番号が以下のいずれにも表記されていることで確認することができます。

▼ Notes の場合

smaconne アプリを開いて、画面左のナビゲーションメニューの上、smaconne のロゴの下にあるビルド番号

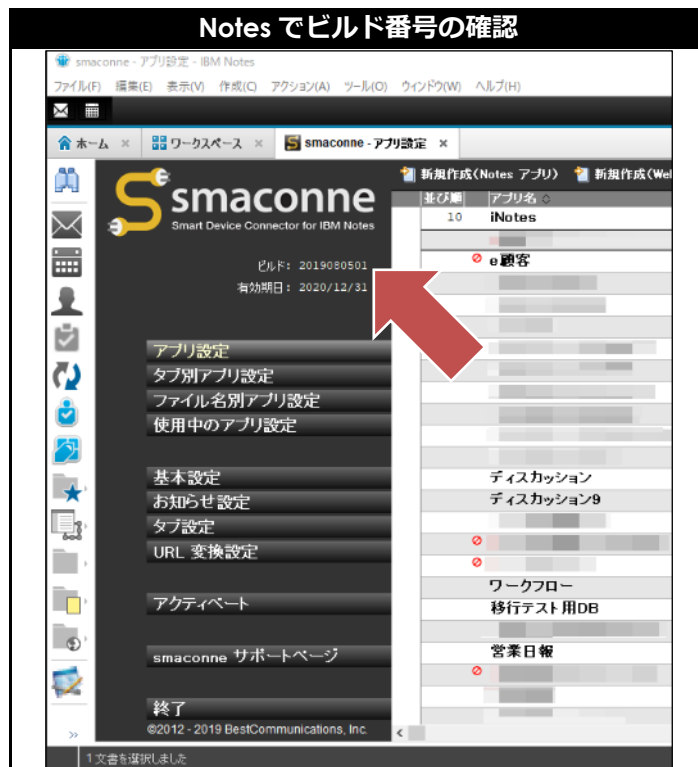
▼ スマートデバイスまたは PC の Web ブラウザ

smaconne にアクセスして、画面下のフッター部分にあるビルド番号

もしバージョンアップがうまくいかなかった場合は、以下のページをご参照ください。

- バージョンアップ（設計置換）したはずだが、追加/変更された機能が反映されていない: よくあるご質問

https://www.bcom.co.jp/sdc/ez3_contents.nsf/s/faq90



アクティベーション

smaconne をご利用になるには、予め製品をアクティベートする必要があります。

また、製品の有効期日や設定の上限数などを変更する際には、新たなアクティベーションコードを入力する必要があります。

アクティベーションコードの入手

アクティベーションコードをまだ入手していない場合は、以下の方法で入手してください。smaconne は2ヶ月間無償にてお試しいただけますが、お試しのためのアクティベーションコードが必要です。

メールでのお申込方法

(株)ベストコミュニケーションズ 営業部まで、以下のメールをお送りください。返信メールにて、アクティベーションコードを送付します。

- 送信先メールアドレス: sales@bcom.co.jp
- 件名: [smaconne] アクティベーションコード申込
- 本文: 以下の内容をもれなく記載してください。
 - 会社名
 - 部署名
 - 肩書き
 - お名前
 - メールアドレス
 - 電話番号
 - 住所
 - 用途:
 - ご試用の場合は、「試用」と入力してください。
 - 新規のご利用は「新規」、継続のお申込は「継続」、ご利用内容変更の場合は「変更」とご記載ください。
 - 利用サーバー名:
 - smaconne をインストールされる Domino サーバー名を必ず入力してください。
 - 利用開始日:
 - 使用期限は、利用開始日から1年後となります。
 - お試しの場合の使用期限は、利用開始日から2ヶ月後となります。
 - 設定の上限数:
 - smaconne に作成可能な「アプリ設定」の上限数を入力してください。最小値は10で、それ以降10、20、30、…と10刻みにて承ります。
 - お試しの場合の上限数は、10となります。

Web サイトからのお申込方法

smaconne 製品 Web サイトの「アクティベーションコードお申込」ページにて、情報を入力してお申し込みください。お申し込み受付後、メールにて、アクティベーションコードを送付します。

▼ 「アクティベーションコードお申込」ページ

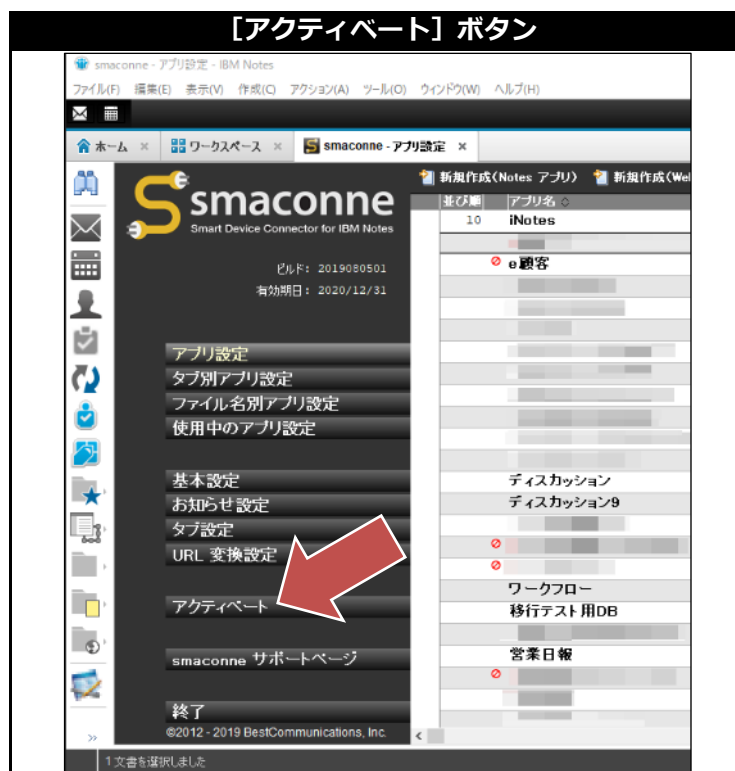
https://www.bcom.co.jp/sdc/ez3_accept_act.nsf/Accept

アクティベーションコードの入力

製品は以下の手順に従って、アクティベートしてください。

1. smaconne の管理者アカウント（[Admin] ロールを割り当てられたユーザー）にて、Notes を起動して、smaconne アプリを開きます。
2. 画面左のナビゲーションメニューで、[アクティベート] ボタンをクリックします。
⇒ 「製品のアクティベーション」文書が、編集モードで開きます。
3. (株)ベストコミュニケーションズからの返信メールに添付されていたアクティベーションコード・ファイル（sdactcd.txt）を開きます。
4. 開いたアクティベーションコード・ファイルの内容を、全て選択してコピーします。
5. Notes の「製品のアクティベーション」文書の [アクティベーションコード] 入力フィールドに、コピーした内容をペーストします。
6. アクションバーで [製品をアクティベートする] ボタンをクリックします。
⇒ 「サーバー名」「有効期日」「設定の上限数」にお申し込みいただいた内容が表示されます。
⇒ もしお申込内容と異なる場合は、「はじめに」に記載の(株)ベストコミュニケーションズ 営業部までご連絡ください。
7. 「妥当性判定結果」に「OK」と表示されていることを確認して、アクションバーで [保存して閉じる] ボタンをクリックします。

以上で、製品はアクティベートされましたので、「設定の上限数」まで「アプリ設定」文書を作成することができます。



「アプリ設定」文書の作成

iPhone、iPad、Android デバイスなどのスマートデバイスや PC の Web ブラウザから、smaconne を通して既存の Notes アプリや Web アプリを利用できるようにするためには、「Notes アプリ設定」文書または「Web アプリ設定」文書（総称して、「アプリ設定」文書）を作成する必要があります。

ビュー

「アプリ設定」文書を表示するビューには、以下の 4 つがあります。

「アプリ設定」ビュー

並び順の昇順、アプリ名の昇順に一覧表示します。

いずれかの文書を選択して「選択した設定を使用する」ボタンをクリックすると、ビューで選択された文書が使用する文書に設定されます。「選択した設定を使用しない」ボタンをクリックすると、ビューで選択された文書が使用しない文書に設定されます。



「タブ別アプリ設定」ビュー

タブの並び順の昇順、タブ名の昇順、アプリの並び順の昇順、アプリ名の昇順に一覧表示します。

ビューを開く時、全てを省略します。



「ファイル名別アプリ設定」ビュー

「Notes アプリ設定」文書のみを対象に、サーバー名の昇順、ファイル名の昇順、アプリの並び順の昇順、アプリ名の昇順に一覧表示します。

ビューを開く時、全てを省略します。



「使用中のアプリ設定」ビュー

使用する設定となっている「アプリ設定」文書のみを対象に、並び順の昇順、アプリ名の昇順に一覧表示します。

いずれかの文書を選択して「選択した設定を使用しない」ボタンをクリックすると、ビューで選択された文書が使用しない文書に設定されます。



「タブ設定」ボタン

いずれかの文書を選択して「タブ設定...」ボタンをクリックすると、「タブ選択」ダイアログが開きます。

ダイアログでいずれかを選択して「OK」ボタンをクリックすると、ビューで選択された文書が該当のタブに設定されます。

ダイアログで「キャンセル」ボタンをクリックすると、「確認」ダイアログが表示されます。

「いいえ」ボタンをクリックすると、ビューで選択された文書のタブ設定がクリアされます。

「はい」ボタンをクリックすると、処理を中止して「警告」ダイアログが表示されます。

既に同じサーバーにあるアプリを対象に「Notes アプリ設定」文書を別に作成済みの場合、その設定を引き継いで値を自動セットします。そうでない場合、Domino ディレクトリのサーバー文書の「TLS ポートステータス」を参照して値を自動セットします。

Google Chrome や Edge (Chromium 版) では https ページ内にある http コンテンツ (Mixed Content/混合コンテンツ) をブロックする仕様となっています。このため、Google Chrome で smaconne へ https アクセスして利用する場合は必ず「https」を選択してください。

PWA の仕様により https と http の混在は禁止されています。このため、smaconne を PWA として利用する場合も必ず「https」を選択してください。

▼ ホスト名 (FQDN) <必須入力>

選択した Notes アプリが配置されているサーバーへ Web ブラウザでアクセスする (埋め込み画像を表示したり、添付ファイルを開いたりする) 場合のホスト名 (FQDN) を以下のいずれかと一致するように入力してください。ポート番号を指定してアクセスする場合は、そのポート番号も併せて入力してください。

- Web サイト文書を利用している場合は、Web サイト文書の [ホスト名またはこのサイトにマップされたアドレス]
- Web サイト文書を利用していない場合は、サーバー文書の [インターネットプロトコル] タブ- [HTTP] タブの「完全なインターネットホスト名」

既に同じサーバーの Notes アプリの「Notes アプリ設定」文書を作成済みの場合、その設定を引き継いで値を自動セットします。そうでない場合、Domino ディレクトリのサーバー文書の「完全なインターネットホスト名」などを参照して値を自動セットします。

▼ タブ

利用可能な「タブ設定」文書が作成されている場合は、コンボボックスにその一覧が表示されます。

「Notes アプリ設定」文書をいずれかのタブに含める場合は、コンボボックスからいずれか 1 つを選択してください。

▼ 利用者

何も入力しない場合は、このアプリは smaconne のすべての利用者のアプリ一覧ページに表示されます。ただし、参照先の Notes アプリの ACL で該当ユーザーが読者以上の権限に設定されていない場合は、そのアプリはアプリ一覧に表示されません。

エントリ補助ボタンをクリックすると、宛先ダイアログが開きます。

ユーザー名やグループ名を複数入力する場合は、カンマ (,) で区切ってください。

ユーザー名やグループ名が入力されている場合は、該当ユーザーがログインした場合のみ、そのアプリがアプリ一覧ページに表示されます。該当ユーザー以外がログインした場合は、そのアプリはアプリ一覧ページに表示されません。

▼ 表示制御

各チェックボックスの ON/OFF によって、smaconne の「操作ペイン」のボタン表示を制御することができます。

● [[URL をメール] ボタンと [URL をコピー] ボタンを表示しない] チェックボックス

smaconne で開いているページの URL をメールしたりコピー & ペーストしたりすることを禁止する場合は、このチェックボックスを ON にします。

※ CACHATTO SecureBrowser では [URL をメール] ボタンは正しく動作しませんので、[[URL をメール] ボタンと [URL をコピー] ボタンを表示しない] チェックボックスは必ず ON にしてください。

● [アプリケーションについて (データベースについて) のボタンを表示する] チェックボックス

選択した Notes アプリの「アプリケーションについて (データベースについて)」を smaconne で表示できるようにする場合は、このチェックボックスを ON にします。

● [アプリケーションの使い方 (データベースの使い方) のボタンを表示する] チェックボックス

選択した Notes アプリの「アプリケーションの使い方 (データベースの使い方)」を smaconne で表示できるようにする場合は、このチェックボックスを ON にします。

● [[現在地を取得] ボタンを表示する] チェックボックス

以下の条件を満たした上で、選択した Notes アプリの操作ペインに [現在地を取得] ボタンを表示する場合は、このチェックボックスを ON にします。

- smaconne へ https アクセスして利用
https アクセスにて smaconne を利用する方法については、「Domino サーバーで SSL を設定」をご覧ください。
- 利用するデバイス (OS) や Web ブラウザで位置情報へのアクセスを許可

[現在地を取得] ボタンから開く「現在地を取得」ダイアログでできることは緯度と経度のコピーと住所 (丁目まで) のコピーですが、smaconne 独自の「getGeoLoc」ファンクションを使えば、フォームの指定したフィールドに緯度や経度、住所 (丁目まで) をセットすることができます。この場合は「現在地を取得」ダイアログを開く必要はありませんので、このチェックボックスは OFF のままで結構です。詳しくは、「開発キット 設定ノウハウ編」をご覧ください。

▼ 並び順

半角数字で入力してください。

何も入力しない場合は、アプリ一覧には「アプリ名」の昇順で表示されます。

[並び順] を入力した場合は、その昇順での並び順が優先されます。

▼ 横断検索対象

smaconne に登録していて検索を許可しているすべての Notes アプリを検索して検索結果ページを表示することを「横断検索」と呼びます。

smaconne に登録された Notes アプリはデフォルトで横断検索の対象となります。特定の Notes アプリを横断検索の対象から外す場合は、[横断検索の対象から除外する] チェックボックスを ON にしてください。

▼ 横断検索結果表示フィールド

横断検索結果では以下の順番で該当するフィールド値があるものを表示します。もし「Subject」フィールドの値がある場合は、その値を表示して「\$TITLE」の値は表示しません。該当の文書に以下のフィールド値がいずれも存在しない場合は、Form 値を表示します。

- Subject
- \$TITLE

もし上記いずれのフィールド値も無く Form 値も使用せずに任意のフィールドの値を検索結果に表示する場合は、そのフィールド名を入力してください。フィールド名は改行して複数入力することができます。フィールド名を複数入力した場合、すべてのフィールドの値を半角スペース区切りで表示します。

▼ この設定を使用しない

チェックボックスを ON にすると、このアプリは smaconne のアプリ一覧ページに表示されません。また、このアプリは「アクティベーション」の [設定の上限数] に対するカウント対象外となります。

▼ この Notes アプリ設定文書の文書 ID

開いている「Notes アプリ設定」文書の文書 ID が表示されます。

「「URL 変換設定」文書を作成/編集する」等で「Notes アプリ設定」文書の文書 ID が必要な場合、この値をコピーしてご利用ください。

値を変更することはできません。

参照先の Notes アプリのビュー/フォーム/エージェントなどの設計要素を追加/削除した場合に、それらを再読み込みするため、[更新] ボタンをクリックしてください。[更新] ボタンをクリックすると、設計要素を読み込み直し、「Notes アプリ設定」文書を保存します。

「アプリ名」「サーバー名」「ファイル名」のいずれかが変更された場合、それに合わせて関連するビュー設定文書、フォーム設定文書、ビューアクション設定文書、フォームアクション設定文書の基本情報が更新されます。

ビュー情報

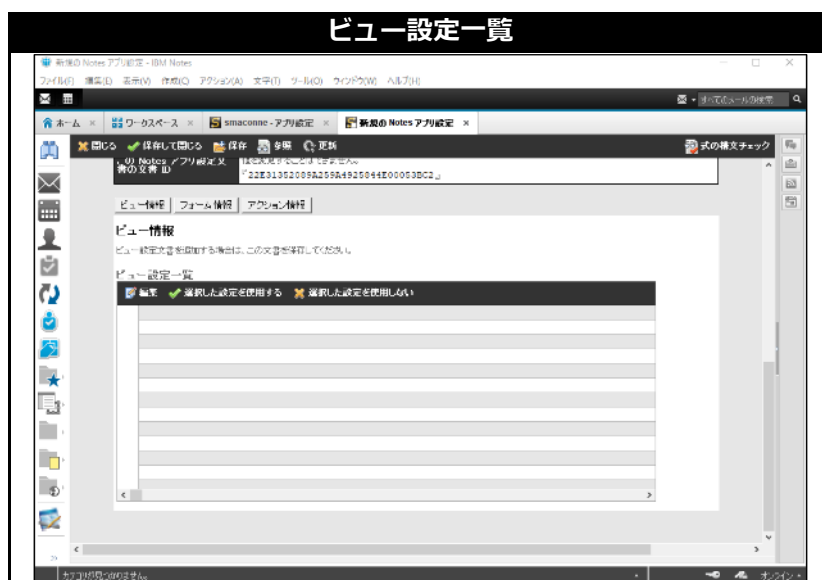
ビュー情報としてビュー設定文書を必ず 1 つ以上設定してください。

ビュー設定文書の登録数に制限はありません。

ビュー設定文書を追加する

Notes アプリ設定文書の「ビュー情報」タブの「ビュー設定を追加する...」ボタンをクリックすると、新規の「ビュー設定」文書が編集モードで開きます。

※ **ビュー設定文書は Notes アプリ設定文書の返答文書として作成しますので、新規に Notes アプリ設定文書を作成した場合は、必ずその Notes アプリ設定文書を保存した後でビュー設定文書を追加してください。**



ビュー設定文書を編集する

既に「ビュー設定」文書が設定されている場合、「ビュー情報」タブに表示されているビュー（ビュー設定一覧）で該当の文書を選択して「[編集]」ボタンをクリックするか、または該当文書を開いて「[編集]」ボタンをクリックすると、編集モードになります。

ビュー設定文書を複製する

「ビュー設定文書、フォーム設定文書、ビューアクション設定文書、フォームアクション設定文書を複製する」をご覧ください。

ビュー設定文書を削除する

「ビュー設定」文書を削除する場合は、該当の「ビュー設定」文書を開いて、「[削除]」ボタンをクリックした後に、「[F9]」キーを押下してください。

または、ビュー設定一覧で該当の文書を選択して「[DEL]」キーを押下した後に、「[F9]」キーを押下してください。

ビュー設定文書を設定する

ビュー設定文書では以下を設定することができます。

設定済の「ビュー設定」文書を読み込みモードで開いている場合、[Notes アプリ設定文書を開く] ボタンが表示されます。

▼ 利用者

何も入力しない場合は、この設定を全利用者が利用できます。

ビューを特定のユーザーやグループのみに提供する場合、その名前を入力してください。

▼ この設定を使用しない

チェックボックスを ON にすると、このビュー設定文書は smaconne の処理対象外となります。

このチェックボックスはビュー設定一覧の [選択した設定を使用する] [選択した設定を使用しない] ボタンで操作することもできます。



▼ ビュー名

コンボボックスからいずれかを選択してください。表示対象のビュー名がコンボボックスに表示されない場合は、[更新] ボタンをクリックして最新の設計情報を読み込み直すか、直接入力してください。

※ 対象の Notes アプリでビュー名を追加/削除した場合は、アクションバーの [更新] ボタンをクリックしてください。

また、以下のような場合には、「¥」を含まない半角英数字の別名を直接入力してください。

- ビュー名に「¥」が含まれている場合（メールファイルの「(タスク¥カテゴリ別)」ビューなど）、ビューを読み込めないことがあります。
- 「フォームの式」を指定しているビューで、そのビューと指定のフォームを使って文書を保存する場合、日本語などの2バイトコードのビュー名は正しく認識されません。

⇒ ビュー名を入力して [tab] キーを押下するか、または文書中のどこかをクリックすると、文書が更新されます。既に [表示する列] が設定されている場合、以下のダイアログメッセージが表示されます。

ビュー名が変更されました。
既に [表示する列] が設定されていますが、
全て初期化して、新しいビューの列に置き換えても
よろしいですか？

- ⇒ [OK] ボタンをクリックすると、[表示する列] に入力したビューの列見出しが表示されます。
- ⇒ ビュー名が未入力の場合は、「[ビュー名] が入力されていません。」というダイアログメッセージが表示されますので、必要に応じて入力してください。
- ⇒ 入力したビューに該当するビューが無い場合は、「「xxxxxxx」ビューは、その Notes アプリにありません。」(xxxxxxx は入力したビュー名) というダイアログメッセージが表示されますので、必要に応じて入力し直してください。

▼ 表示用ビュー名

前項「ビュー名」で設定したビュー名とは別に smaconne のビューページのタイトルとして表示するビューの名前を設定する場合は、直接入力してください。

「表示用ビュー名」が未入力の場合は、「ビュー名」がそのまま smaconne のビューページのタイトルとして表示されます。

▼ 並び順

半角数字で入力してください。

何も入力しない場合は、ビュー設定一覧および操作ペインのビュー一覧には「ビュー名」の昇順で表示されます。

「並び順」を入力した場合は、その昇順での並び順が優先されます。

ビュー設定一覧の一番上に表示されているビュー設定が、smaconne で該当の Notes アプリを開いた時に最初に表示するビューページとなります。

▼ 1 ページ内に表示する行数（最大）

Notes アプリを smaconne で表示した際にビューに表示する最大の行数を指定します。何も指定しない場合、初期値は 100 で最大値は以下のいずれかで設定されている「ビュー内の最大行数」です。

- インターネットサイト文書を使用している場合

インターネットサイト文書の [Domino Web Engine] タブで、[変換/表示] セクションの [ビュー内の最大行数]

- インターネットサイト文書を使用していない場合

サーバー文書の [インターネット プロトコル] タブの [Domino Web Engine] タブで、[変換/表示] セクションの [ビュー内の最大行数]

▼ 表示する列

通常のビュー（標準のアウトライン）の場合

表示する列のチェックボックスを ON にしてください。列見出しが未設定の列は「<No Title>」と表示されます。もし列見出しに「:」と「|」が含まれる場合は使用できませんので、列見出しを変更してください。また、smaconne は列の名前（列の「詳細」プロパティの「プログラムの使用」の「名前」）を使用しますので、もしこの名前が重複している場合は表示がずれます。名前を一意なものに変更してください。

以下の列は Domino はこれらを出しませんが、「表示する列」には表示されません。

- 列が非表示に設定されている。
- 列の値に定数が設定されている。
例えば、列の値に "" や "-" などの固定文字列が指定されている場合です。
- 列の値に以下のいずれかの@関数が設定されている。

@DocChildren、@DocDescendants、@DocLevel、@DocNumber、@DocParentNumber、
@DocSiblings、@IsExpandable、@WhichFolders

列見出しと列の文字列の段落（中央揃え、右寄せなど）が設定されている場合、その設定に応じて表示されます（カテゴリー列を除く）。

また、ビューの列の拡張フォーマットで数値が設定されている場合、その表示形式（バイト以外のカンマによる位取り、パーセントなど）を使って表示されます（カテゴリー列を除く）。ビュー列の拡張フォーマットで日時が設定されている場合、その表示形式（日付のみ、年月のみ、月日のみ、時刻のみなど）を使って表示されます（カテゴリー列を除く）。

「(Category)」と表示されている列は、カテゴリー一覧として表示されます。

※ **カテゴライズされたビューでは「(Category)」列のチェックボックスを必ず ON にしてください。**

カテゴリー列で使用を避けた方がよい文字列につきましては、以下の FAQ をご参照ください。

- カテゴリー列で使用できない文字はありますか？
https://www.bcom.co.jp/sdc/ez3_contents.nsf/s/faq62

列で並び替え（列ソート）

※ **ビューの列プロパティで事前の設定不要。smaconne のビュー設定文書でも設定不要。**

文書一覧が表示されているビューページで列見出しをタップすると、その列で文書一覧を並び替えることができます。カテゴリー一覧やカテゴリー列は対象外です。

この列ソート機能は smaconne 独自に提供するもので、デバイス（クライアント）側で動作します。このため、特にスマートデバイスの搭載メモリーによって並び替えができる文書数が限定されます。文書一覧に表示する内容や機種によって上限数は変わりますが、おおよその目安は以下の通りです。

搭載メモリー	ビューの対象となる文書数
1GB	1 万件
2GB	2 万件
3GB	3 万件

スマートデバイスの搭載メモリーが少ない場合は、これを目安に文書一覧に表示される対象数を限定するなど対応をご検討ください。

列のプロパティの「拡張フォーマット」タブで、「スタイル」に「数値」が設定されている場合は、数値としてソートします。その際、「バイト (K/M/G)」も補正してソートします。

日付で年が 2 桁の場合、そのまま比較します（「19」や「20」等を補いません）。また、日付が「今日」や「昨日」で省略表示されている場合も、そのまま比較します。日付または日時で列ソートする場合は、「常に 4 桁で表示」としてください。

カレンダービューの場合

「ビュー名」でカレンダービューを選択した場合、以下のガイダンスが表示されます。

このビューはカレンダービューです。
表示する列のチェックボックスを ON にしてください。

表示する列のチェックボックスを ON にしてください。列見出しが未設定の列は「<No Title>」と表示されます。もし列見出しに「:」と「|」が含まれる場合は使用できませんので、列見出しを変更してください。また、smaconne は列の名前（列の「詳細」プロパティの「プログラムの使用」の「名前」）を使用しますので、もしこの名前が重複している場合は表示がずれます。名前を一意なものに変更してください。

以下の列は Domino はこれらを出力しませんので、「表示する列」には表示されません。

- 列が非表示に設定されている。
- 列の値に定数が設定されている。
 例えば、列の値に "" や "-" などの固定文字列が指定されている場合です。
- 列の値に以下のいずれかの@関数が設定されている。
 @DocChildren、@DocDescendants、@DocLevel、@DocNumber、@DocParentNumber、
 @DocSiblings、@IsExpandable、@WhichFolders

最初にチェックボックスを ON にした列は、カレンダーエントリ内にて大きめの太字で表示されます。それよりも後のチェックボックスを ON にした列は、小さめの文字で表示されます。

※ カレンダービューの場合、カテゴリー列を設定することはできません。

※ 日またがりのカレンダーエントリには対応していません。

オーバーレイして表示できるカレンダーの条件

Web ブラウザで smaconne にログインしているユーザーは以下の条件にすべて合致するカレンダーを任意のカレンダービューページにオーバーレイして表示することができます。

- そのカレンダービューが smaconne のビュー設定文書で設定されている
- そのユーザーが前記のビュー設定文書にアクセス可能である
- そのユーザーがカレンダービューを格納する Notes アプリの ACL で読者以上である

以上の条件を満たすならば、上記カレンダービューを含む Notes アプリ設定文書の「利用者」にそのユーザーが含まれていなくてもオーバーレイ表示の対象となります。

▼ 返答文書の列名

ビューに返答文書がある場合、ビュー名を選択した際に、返答文書を表示する列のプログラムで使用する「名前」が自動でセットされます。

もし返答文書をスレッドで表示しない場合は、返答文書の列名を削除してください。

▼ 返答文書のデフォルト表示

「返答文書をすべて展開して表示する」チェックボックスを ON にすると、該当のビューページを開いた時に返答文書をすべて展開して表示します。

なお、「返答文書の列名」が未入力の場合は、「返答文書をすべて展開して表示する」チェックボックスを ON にしても機能しませんし、ビューページに「返答文書をすべて展開」ボタンと「返答文書をすべて省略」ボタンは表示されません。

ユーザーが該当のビューページで「返答文書をすべて展開」ボタンまたは「返答文書をすべて省略」ボタンをクリックして設定した情報はビューページ毎の Cookie に保持されます。「smaconne ユーザー設定」アプリがセットアップされている場合は、複数のデバイスやブラウザ間でその設定が引き継がれます。ただし、「返答文書をすべて展開して表示する」チェックボックスが ON の場合は、必ず返答文書をすべて展開して表示します。

▼ 単一カテゴリーの表示

カテゴリ化されたビューを単一カテゴリーでの表示にしたい場合は、単一カテゴリー表示に利用する値または式を入力してください。

「単一カテゴリーの表示」が未入力の場合は、カテゴリ化されたビューページを表示します。

▼ 式によりビューを非表示

入力された式が真と判断されるときにビュー一覧に表示しないようにすることができます。もし該当のビューを式によって非表示にする場合は、その式を入力してください。

もし非表示にしない場合は、何も入力しないでください。

なお、ビュー設定一覧の一番上に表示されているビュー設定文書についてはアプリを smaconne で表示する際に必要ですので、非表示制御の対象外です。

▼ フォーム名

ビューの文書を特定のフォームで開きたい場合は、コンボボックスからそのフォームを選択してください。

コンボボックスにはフォーム設定文書で設定されているフォーム名が表示されますので、該当のフォームが表示されない場合はフォーム設定文書を追加してください。

フォーム情報

フォーム情報としてフォーム設定文書を必ず 1 つ以上設定してください。

フォーム設定文書の登録数に制限はありません。

フォーム設定文書を追加する

Notes アプリ設定文書の「フォーム情報」タブの「フォーム設定を追加する...」ボタンをクリックすると、新規の「フォーム設定」文書が編集モードで開きます。

※ フォーム設定文書は Notes アプリ設定文書の返答文書として作成しますので、新規に Notes アプリ設定文書を作成した場合は、必ずその Notes アプリ設定文書を保存した後でフォーム設定文書を追加してください。



フォーム設定文書を編集する

既に「フォーム設定」文書が設定されている場合、「フォーム情報」タブに表示されているビュー（フォーム設定一覧）で該当の文書を選択して「編集」ボタンをクリックするか、または該当文書を開いて「編集」ボタンをクリックすると、編集モードになります。

フォーム設定文書を複製する

「ビュー設定文書、フォーム設定文書、ビューアクション設定文書、フォームアクション設定文書を複製する」をご覧ください。

フォーム設定文書を削除する

「フォーム設定」文書を削除する場合は、該当の「フォーム設定」文書を開いて、「削除」ボタンをクリックした後に、[F9] キーを押下してください。

または、フォーム設定一覧で該当の文書を選択して [DEL] キーを押下した後に、[F9] キーを押下してください。

フォーム設定文書を設定する

フォーム設定文書では以下を設定することができます。

設定済の「フォーム設定」文書を読み込みモードで開いている場合、「Notes アプリ設定文書を開く」ボタンが表示されます。

デフォルトに設定したフォーム設定文書は smaconne にフォーム情報を設定されていない文書がある場合にも使用します。フォーム情報を 1 つも設定していない場合、smaconne で文書を表示することができませんので、必ずデフォルトのフォーム設定文書を設定してください。

フォーム設定文書で設定できるフィールドの上限数は 100 です。

▼ 利用者

何も入力しない場合は、この設定を全利用者が利用できます。

フォームを特定のユーザーやグループのみに提供する場合、その名前を入力してください。

▼ この設定を使用しない

チェックボックスを ON にすると、このフォーム設定文書は smaconne の処理対象外となります。

このチェックボックスはフォーム設定一覧の「選択した設定を使用する」「選択した設定を使用しない」ボタンで操作することもできます。

▼ フォーム名

コンボボックスからいずれかを選択してください。表示対象のフォーム名がコンボボックスに表示されない場合は、[更新] ボタンをクリックして最新の設計情報を読み込み直すか、直接入力してください。

※ 対象の Notes アプリでフォームを追加/削除した場合は、アクションバーの「更新」ボタンをクリックしてください。



項番	フィールド名	編集時の入力チェック	編集時の選択肢
1	氏名	<input type="checkbox"/> 入力必須項目	氏名
2	メールアドレス	<input type="checkbox"/> 入力必須項目	氏名
3	電話番号	<input type="checkbox"/> 入力必須項目	氏名
4	住所	<input type="checkbox"/> 入力必須項目	氏名
5	生年月日	<input type="checkbox"/> 入力必須項目	氏名

⇒ フォーム名を入力して [tab] キーを押下するか、または文書中のどこかをクリックすると、文書が更新されます。既に「表示するフィールド」が設定されている場合は、以下のダイアログメッセージが表示されます。

フォーム名が変更されました。
既に「表示するフィールド」が設定されていますが、
全て初期化して、新しいフォームのフィールドに置き換えても
よろしいですか？

⇒ 「はい」 ボタンをクリックすると、「表示するフィールド」がクリアされて、入力したフォームのフィールドが表示されます。
⇒ 「いいえ」 ボタンをクリックすると、指定したフォーム名のみ設定されて、「表示するフィールド」の設定内容はそのまま表示されます。

▼ 設定メモ

フォーム情報の設定に関するメモなどを任意に入力します。

▼ アプリのデフォルトフォーム

チェックボックスを ON にするとそのフォーム設定文書が該当の Notes アプリ設定文書のデフォルトフォームとなります。

▼ ほかの Notes アプリへのアクセス許可

以下のいずれかを選択します。

- すべての文書リンクやアプリケーションリンクを有効にする
デフォルトでは、このラジオボタンが選択されています。
すべての文書リンクやアプリケーションリンクなどの各種リンクは自動的に生成されて有効となります。
- smaconne に登録していない Notes アプリへの文書リンクやアプリケーションリンクを無効にする
このラジオボタンを ON にすると、smaconne に登録していない Notes アプリの文書リンクやアプリケーションリンクなどの各種リンクを無効にします。
- すべての文書リンクやアプリケーションリンクを無効にする
このラジオボタンを ON にすると、すべての文書リンクやアプリケーションリンクなどの各種リンクを無効にします。

▼ 保存後の動作

〔入力フォームで保存した後にページを遷移しないようにする〕チェックボックスを ON にすると、文書の編集ページで〔保存して閉じる〕ボタンが〔保存〕ボタンに変わり、〔保存〕ボタンをタップした後にページ遷移せずに続けて編集・保存することができるようになります。

詳しくは「[文書保存後にページ遷移しないようにする設定](#)」をご覧ください。

▼ リッチテキストフィールド

必要に応じてリッチテキストフィールドのオプション処理を選択します。

- CD 形式のリッチテキストフィールドの内容を編集できないようにする
「[smaconne で文書作成/編集する場合の設定](#)」で、「テキストエリア」または「リッチテキスト」を選択してリッチテキストフィールドの編集を許可している場合、CD 形式のリッチテキストフィールドの内容を保護する場合は、ON にしてください。
このオプションが ON の場合、リッチテキストフィールドの内容が Notes で作成されたりした CD 形式のものは編集設定をしても読み込みの状態のままとなります。リッチテキストフィールドの内容が smaconne などの Web ブラウザで作成されたりした MIME 形式のものの場合、または新規作成の場合は、指定された編集様式（「テキストエリア」または「リッチテキスト」）で表示されます。

▼ 添付ファイル

- ファイルを添付するフィールド

ファイルを添付したいリッチテキストフィールドがある場合は、そのフィールド名を指定してください。

指定したフィールドに該当する元のフォームのリッチテキストフィールドは、〔フィールド情報〕 - 〔Web アクセス〕プロパティで〔JavaScript コントロールを使用〕（Domino 8.5 以降）または〔Java アプレットを使用〕（Domino 8.5 よりも前）を指定してください。「[参照先アプリの設定等](#)」の「[添付ファイル](#)」の項もご参照ください。

ここで指定したフィールドは、ファイル添付専用となりますので、[ラベル名]を設定しても文書の参照ページに表示されませんし、[表示するフィールド]で[編集時の種類]を設定しても文書の編集ページに表示されません。

添付するフィールドを指定しない場合とリッチテキストフィールド以外を指定した場合は、以下のいずれかとなります。

- [編集時の種類]で[リッチテキスト]に指定したフィールドがある場合（このリッチテキストフィールドは[JavaScript コントロールを使用]または[Java アプレットを使用]となっていること）、その最初のリッチテキストフィールドに添付されます。
- [編集時の種類]で[リッチテキスト]が全く設定されていない場合、文書の特殊なフィールド（\$FILE アイテム）に添付されます。（Domino Web クライアント・アクセスの仕様のまま）

● 添付ファイルに関する制御

添付ファイルに関する処理を禁止する場合は、以下のオプションを指定してください。

デフォルトでは、[添付ファイルの参照を禁止する]チェックボックスは OFF で、文書にファイルが添付されている場合は、自動的に添付ファイルの一覧が生成されて、smaconne からアクセスすることができるようになります。

- 添付ファイルの参照を禁止する

チェックボックスを ON にすると、文書の参照ページにて[添付ファイル]という表示項目と添付ファイルの一覧が表示されません。

- 添付ファイルの削除を禁止する

チェックボックスを ON にすると、文書の編集ページにて[添付ファイル]という表示項目と削除のためのチェックボックス付き添付ファイルの一覧が表示されません。

- ファイルの添付を禁止する

チェックボックスを ON にすると、文書の編集ページにてファイルのアップロードボタンが表示されません。

また、チェックボックスが OFF でも、参照先の Notes アプリが稼働している Domino サーバーの notes.ini に以下のパラメーターが無い場合はファイルを添付することはできません。

※ このパラメーターを追加しますと、Domino のセキュリティが弱くなりますので、ファイル添付の必要性和セキュリティの双方を十分勘案した上で、設定するか否かを決定してください。

```
DominoDisableFileUploadChecks=1
```

▼ JavaScript

このフォーム設定文書を使った文書の参照ページまたは文書の編集ページで JavaScript を利用する場合は、その JavaScript コードを設定してください。

▼ 表示するフィールド

[ラベル名]があるフィールドが表示対象となります。[ラベル名]が設定されていても、対象となるフィールド値や計算結果の値が無い（Null）場合は、ラベル名と値の双方は表示されません。なお、リッチテキストフィールドの場合は、[ラベル名]が設定されていれば値が無くても表示します。

[ラベル名]には式（@関数）を入力することができます。式でない通常のテキストでラベル名を入力する場合は、「@」（アットマーク）を入力しないでください。

[フィールド名]には、指定されたフォームのフィールドが 100 まで自動セットされます。フィールド数が 100 を超える場合は、自動セットされた中から使用しないものを変更して設定してください。

サブフォームに含まれるフィールドなど、[フィールド名]が自動セットされない場合は、フィールド名を直接入力してください。

表示用の計算結果フィールドは、[表示するフィールド]の対象外です。

表示用の計算結果フィールドや計算結果テキストに表示している内容を smaconne でも表示したい場合は、以下の通り入力してください。

- ラベル名: 任意に必ず入力
- フィールド名: 未入力
 - ※ もし「フィールド名」が入力されている場合は、そのフィールドの表示が優先されますので、式の計算結果は表示されません。
- 式: @関数または@コマンドの式を入力
 - ※ 文書の変更はできません。
- フィールドの非表示式（式が真であれば非表示）：いずれかのチェックボックスを ON にするか、または@関数または@コマンドの式を入力
 - ※ 非表示式に「@IsDocBeingEdited」と「@IsNewDoc」を使うことはできませんので、[読み込みモードで非表示] チェックボックスまたは[編集モードで非表示] チェックボックス、[新規文書の場合に非表示] チェックボックス、[新規文書でない場合に非表示] チェックボックスと組み合わせて指定してください。
 - ※ 式の計算結果が真であればそのフィールドとラベル名は非表示となります。

セクションを利用する場合は、[ラベル名]にセクションの見出しにする名称を入力して[フィールド名]で「- 見出し -」を選択してください。

smaconne で文書作成/編集する場合の設定

以下の項目は、smaconne で文書を作成/編集する際に設定してください。

- 編集時の種類: smaconne で文書を作成/編集時に、指定した設定で入力フィールドが表示されます。
 - ※ 何も指定されていない場合は、文書の編集ページに表示されません。
 - ※ フィールドやフォームに存在しないものが指定されている場合は、[編集時の種類]を指定しても入力フィールドは表示されません。
 - 指定できる形式は以下の通りです。

選択肢	編集フォームでの表示内容等
編集なし（表示のみ）	文書の参照ページと同等の内容を表示
テキスト	1 行のテキスト入力欄
テキストエリア	複数行のテキスト入力欄 これを選択すると、すぐ下に「テキストエリアの行数」の入力欄が表示されますので、数値で指定してください。数値を入力していない場合は 10 行で表示されます。 Notes で文字色を設定したり、表組をしたりしているリッチテキストフィールドを、このオプションを指定した文書の編集ページから保存すると、元の内容がテキストのみとなってしまいます。テキストのみとなって問題

選択肢	編集フォームでの表示内容等
	無い場合のみこのオプションをご利用ください。
リッチテキスト	<p>リッチテキストエディタ（CKEditor）</p> <p>参照先の Notes アプリが稼働している Domino のバージョンが 8.5 以降の場合のみ利用できます。</p> <p>このオプションを指定する場合は、元のフォームのリッチテキストフィールドの［フィールド情報］ - ［Web アクセス］プロパティで［JavaScript コントロールを使用］を指定してください。</p>
数値	数値の入力欄
日付	日付の入力欄
時間	時間の入力欄
プルダウン	複数の選択肢から 1 つだけ選べるプルダウンメニュー
セレクトボックス	複数の選択肢から複数を選べるプルダウンメニュー
チェックボックス	複数の選択肢から複数を選べるチェックボックス
ラジオボタン	複数の選択肢から 1 つだけ選べるラジオボタン

- 編集時の入力チェック:［入力必須項目］チェックボックスを ON にすると、HTML5 の「required」属性を使った入力必須チェックを機能させることができます。
ただし、「編集時の種類」で以下のいずれかを選択した場合は入力必須をチェックしません。

- 編集なし（表示のみ）
- リッチテキスト
- セレクトボックス
- チェックボックス
- ラジオボタン

- 編集時の選択肢/プレースホルダ:

以下の「プレースホルダとなる条件」に合致しない場合は、［編集時の種類］でプルダウン、セレクトボックス、チェックボックス、ラジオボタンのいずれかを指定した場合の選択肢を値または@関数を使った形で指定することができます。

複数の値で指定する場合は、コロン（:）で区切ってください。コロンは複数值の区切り文字として使用しますので、各選択肢の文字列に使用しないでください。

別名を使う場合は、バーティカルバー（|）で区切ってください。プルダウン等で別名を使用して、文書の参照ページでフィールドを指定している場合、文書の参照ページでは別名が表示されます。プルダウン等で表示する値と同じようにしたい場合は、「フィールド名」でなく「式」を指定してください。

例

片道 | 0:往復 | 1

プレースホルダとなる条件

以下の条件をすべて満たす場合に「編集時の選択肢/プレースホルダ」の内容を入力フィールドの「placeholder」属性に設定します。

- 「フィールド名」が指定されている
- 「編集時の種類」が「テキスト」または「テキストエリア」または「数値」である
- 「編集時の選択肢/プレースホルダ」が入力されている

上記の「プレースホルダとなる条件」に合致する場合も、「編集時の選択肢/プレースホルダ」に@関数を使った式を設定することができます。

- 新規作成時のデフォルト値: 値または式で指定
複数の値で指定する場合は、コロン (:) で区切ってください。

※ 元のフォームで設定されている WebQueryOpen イベントは使用できません。

入力チェック

smaconne で文書の新規作成/編集を行う場合、各フィールドの入力チェックには上記の「編集時の入力チェック」で入力必須項目をチェックする方法以外に、元のフォームで設定されているフィールドの「入力の確認」や WebQuerySave イベントをそのまま使うことができます。詳しくは、「参照先アプリの設定等」の「入力チェック」の項をご参照ください。

フィールド行の操作

〔表示するフィールド〕では以下の操作ができます（いずれも編集モードの時のみボタンを表示します）。

- フィールド行の並び替え
移動するフィールド行の〔移動先〕に、フィールド行を移動する先の〔項番〕を入力して、アクションバーの〔フィールド行移動〕ボタンをクリックしてください。
〔移動先〕は、一度に1つずつ指定してください。
- フィールド行の挿入
フィールド行を挿入する行の〔移動先〕に「1」を入力して、アクションバーの〔フィールド行挿入〕ボタンをクリックしてください。
〔移動先〕は、一度に1つずつ指定してください。
- フィールド行の削除
削除するフィールド行の〔移動先〕に「1」を入力して、アクションバーの〔フィールド行削除〕ボタンをクリックしてください。
〔移動先〕は、一度に1つずつ指定してください。

フィールド情報の読み込み/書き出し

Microsoft Excel がインストールされている Windows PC の場合、〔表示するフィールド〕の情報をまとめて読み込んだり、書き出したりすることができます（いずれも Windows PC で編集モードの時のみボタンを表示します）。読み込み/書き出しの対象となる列は、ラベル名、フィールド名、式、モードによる非表示指定、フィールドの非表示式、編集時の種類、編集時の入力チェック、編集時の選択肢/プレースホルダ、新規作成時のデフォルト値の9つで、見出し行はありません。

- Excel 読み込み...

ボタンをクリックすると、現在表示している「フォーム設定」文書に、ラベル名、フィールド名、式、モードによる非表示指定、フィールドの非表示式、編集時の種類、編集時の入力チェック、編集時の選択肢/プレースホルダ、新規作成時のデフォルト値の9列を定義した Excel ファイルを読み込みます。定義が 100 行よりも多く記述されている場合は、100 行目まで読み込んで、101 行目以降は読み込みません。

- Excel 書き出し...

ボタンをクリックすると、現在表示している「フォーム設定」文書から、ラベル名、フィールド名、式、モードによる非表示指定、フィールドの非表示式、編集時の種類、編集時の入力チェック、編集時の選択肢/プレースホルダ、新規作成時のデフォルト値の9列を Excel ファイルに書き出します。

アクション情報

アクション情報ではスマートデバイスでビューや文書を表示した際に使用するアクションをそれぞれ設定することができます。

ビューのアクション

ビューのアクション情報としてビューアクション設定文書を設定することができます。

ビューアクション設定文書の登録数に制限はありません。

ビューアクション設定文書を追加する

Notes アプリ設定文書の「アクション情報」タブ-「ビューのアクション」タブの「ビューアクション設定を追加する...」ボタンをクリックすると、新規の「ビューアクション設定」文書が編集モードで開きます。

※ **ビューアクション設定文書は Notes アプリ設定文書の返答文書**

として作成しますので、新規に Notes アプリ設定文書を作成した場合は、必ずその Notes アプリ設定文書を保存した後でビューアクション設定文書を追加してください。



ビューアクション設定文書を編集する

既に「ビューアクション設定」文書が設定されている場合、「ビューアクション情報」タブに表示されているビュー（ビューのアクション設定一覧）で該当の文書を選択して「編集」ボタンをクリックするか、または該当文書を開いて「編集」ボタンをクリックすると、編集モードになります。

ビューアクション設定文書を複製する

「ビュー設定文書、フォーム設定文書、ビューアクション設定文書、フォームアクション設定文書を複製する」をご覧ください。

ビューアクション設定文書を削除する

「ビューアクション設定」文書を削除する場合は、該当の「ビューアクション設定」文書を開いて、「削除」ボタンをクリックした後に、「[F9] キーを押下してください。

または、ビューのアクション設定一覧で該当の文書を選択して「[DEL] キーを押下した後に、「[F9] キーを押下してください。

ビューアクション設定文書を設定する

ビューアクション設定文書では以下を設定することができます。

▼ 利用者

何も入力しない場合は、この設定を全利用者が利用できます。

ビューアクションを特定のユーザーやグループのみに提供する場合、その名前を入力してください。

▼ この設定を使用しない

チェックボックスを ON にすると、このビューアクション設定文書は smaconne の処理対象外となります。

このチェックボックスはビューのアクション設定一覧の「選択した設定を使用する」[選択した設定を使用しない] ボタンで操作することもできます。

▼ ボタン・ラベル名

smaconne のビューページでは、[ボタン・ラベル名] があるアクションが表示されます。

▼ 並び順

半角数字で入力してください。

何も入力しない場合は、ビューのアクション設定一覧およびビューページには「ボタン・ラベル名」の昇順で表示されます。

[並び順] を入力した場合は、その昇順での並び順が優先されます。

▼ 実行方式

ビューのアクションの実行方式は 5 種類あり、それぞれ以下の通りです。

● 該当 Notes アプリのエージェントを起動する

アクションボタンをクリックすると、[実行するエージェント/URL 等] にて指定したエージェントを起動します。

[実行するエージェント/URL 等] のコンボボックスには参照先アプリに含まれるエージェントが一覧表示されますので、そこから起動するエージェント（起動先エージェント）を選択します。もし起動先エージェント名がコンボボックスに表示されない場合は、直接入力してください。

※ 対象の Notes アプリでエージェントを追加/削除した場合は、アクションバーの「更新」ボタンをクリックしてください。

● 該当 Notes アプリの URL を指定する

アクションボタンをクリックすると、[実行するエージェント/URL 等] にて指定した URL を開きます。URL には式 (@関数) を入力することができます。式でない通常のテキストで URL を入力する場合は、「@」（アットマーク）を入力しないでください。

その際、以下の引数と任意の引数を URL に付加することができます。

- ユーザー名 (usr)

この引数を指定した場合に送信される URL の例を以下に示します。

```
http://www.bcom.co.jp/sample.nsf/agSample?OpenAgent&usr=CN=Taro%20Demo/O=B-Com
```

上記例は、参照先アプリのエージェント (agSample) を URL

(http://www.bcom.co.jp/sample.nsf/agSample?OpenAgent) で起動しています。「&」から後ろが、ユーザー名 (usr) の引数です。

任意の引数は、その引数の前に「&」を付加して、URL の末尾に追加します。



例えば、上記ユーザー名 (usr) の引数を指定して、任意に「act=1」という引数を指定した場合に送信される URL は以下の通りです。

```
http://www.bcom.co.jp/sample.nsf/agSample?OpenAgent&usr=CN=Taro%20Demo/O=B-Com&act=1
```

上記の引数を指定せずに、任意に「act=1」という引数を指定した場合に送信される URL は以下の通りです。

```
http://www.bcom.co.jp/sample.nsf/agSample?OpenAgent&act=1
```

URL によって起動されたエージェント (起動先エージェント) では、例えば、CGI 変数 Query_String または Query_String_Decoded を使って、usr からユーザー名を取得して、処理を行うことができます。詳しくは、「「該当アプリの URL を指定する」エージェントの場合」をご参照ください。

URL に指定できるのは参照先アプリのエージェントに限らず、CGI や別のアプリの URL を指定することも可能です。もしエージェントを直接起動するのではなく、新規文書作成などのアクションを実行させたい場合は、その新規入力フォームを開くための URL (例えば、http://www.bcom.co.jp/sample.nsf/fmSample?OpenForm) を指定します。その場合、参照先アプリのフォームでは、引数を取得できるように、表示用の計算結果フィールドで CGI 変数 Query_String または Query_String_Decoded を取得します。これらのフィールドは非表示としておくとうすっきりして良いでしょう。詳しくは、「フォームで引数を取得する」をご参照ください。

• 元の Notes アプリで、フォームを指定して新規文書作成モードで開く

アクションボタンをクリックすると、新規の文書を参照先アプリのフォームを使って編集モードで開きます。

指定するのは文書を開くために使用するフォームです。フォームが XPage と関連付けられている場合は、その XPage で開きます。そうでない場合は、Web アクセス用に Domino で変換されたフォームが開きます。

詳しくは、「カスタムの編集用フォーム」をご参照ください。

• smaconne で、フォームを指定して新規文書作成モードで開く

アクションボタンをクリックすると、新規の文書を smaconne が生成するフォームを使って編集モード (文書の編集ページ) で開きます。

[実行するエージェント/URL 等] にて使用するフォームを指定してください。

指定するフォームについては、「フォーム情報」で「smaconne で文書作成/編集する場合の設定」を行ってください。

• JavaScript を動かす

アクションボタンをクリックすると、[実行するエージェント/URL 等] にて設定した JavaScript を実行します。JavaScript は式 (@関数) の計算結果で設定することができます。式でない通常のテキストで JavaScript を入力する場合は、「@」 (アットマーク) を入力しないでください。

例えば、開発キットの「営業日報」アプリの任意のビューページのダイアログに営業状況グラフを表示するようにする場合は、以下のようなコードを [実行するエージェント/URL 等] に入力します。

```
_usr := @URLEncode("Domino"; @UserName );
_dt := @URLEncode("Domino"; @Text( @Now ) );
REM {
  ダイアログに表示するページの URL を組み立てる
};
_pageURL := "https://www.bcom.co.jp/sample/sample.html?usr=" + _usr + "&dt=" +
_dt;
```

```
REM {
ダイアログを開く
(ダイアログの中にページを表示するだけの場合は引数に '0' を指定)
(CORS (Cross-Origin Resource Sharing) を避ける場合は引数に '1' を指定)
};
"openDialog(' + _pageURL + "', '1')"
```

上記の式の計算結果で表示される JavaScript の「openDialog」関数は smaconne 独自の関数です。
詳しくは、「開発キット 設定ノウハウ編」をご覧ください。

アクションボタンを非表示にする

アクセスユーザーまたはグループによってアクションボタンを非表示にする場合は、[利用者] に利用を許可するユーザーまたはグループの名前を入力します。

文書の内容やアクセスユーザーのロール等によって動的にアクションボタンを非表示にする場合は、[アクションボタンの非表示式 (式が真であれば非表示)] に@関数または@コマンドの式を入力します。

式の計算結果が真であればそのアクションボタンは非表示となります。

アクションボタンを非表示にするビュー

ビューによってアクションボタンを非表示にする場合は、そのビューのチェックボックスを ON にします。

フォームのアクション

フォームのアクション情報としてフォームアクション設定文書を設定することができます。

フォームアクション設定文書の登録数に制限はありません。

フォームアクション設定文書を追加する

Notes アプリ設定文書の「アクション情報」タブ-「フォームのアクション」タブの「フォームアクション設定を追加する...」ボタンをクリックすると、新規の「フォームアクション設定」文書が編集モードで開きます。

※ フォームアクション設定文書は

Notes アプリ設定文書の返答文書として作成しますので、新規に Notes アプリ設定文書を作成した場合は、必ずその Notes アプリ設定文書を保存した後でフォームアクション設定文書を追加してください。



フォームアクション設定文書を編集する

既に「フォームアクション設定」文書が設定されている場合、「フォームアクション情報」タブに表示されているビュー（フォームのアクション設定一覧）で該当の文書を選択して「編集」ボタンをクリックするか、または該当文書を開いて「編集」ボタンをクリックすると、編集モードになります。

フォームアクション設定文書を複製する

「ビュー設定文書、フォーム設定文書、ビューアクション設定文書、フォームアクション設定文書を複製する」をご覧ください。

フォームアクション設定文書を削除する

「フォームアクション設定」文書を削除する場合は、該当の「フォームアクション設定」文書を開いて、[削除] ボタンをクリックした後に、[F9] キーを押下してください。

または、フォームのアクション設定一覧で該当の文書を選択して [DEL] キーを押下した後に、[F9] キーを押下してください。

フォームアクション設定文書を設定する

フォームアクション設定文書では以下を設定することができます。

▼ 利用者

何も入力しない場合は、この設定を全利用者が利用できます。

フォームアクションを特定のユーザーやグループのみに提供する場合、その名前を入力してください。

▼ この設定を使用しない

チェックボックスを ON にすると、このフォームアクション設定文書は smaconne の処理対象外となります。

このチェックボックスはフォームのアクション設定一覧の [選択した設定を使用する] [選択した設定を使用しない] ボタンで操作することもできます。

▼ ボタン・ラベル名

smaconne の文書の参照ページでは、[ボタン・ラベル名]があるアクションが表示されます。

▼ 並び順

半角数字で入力してください。

何も入力しない場合は、フォームのアクション設定一覧および文書の参照ページには「ボタン・ラベル名」の昇順で表示されます。

[並び順] を入力した場合は、その昇順での並び順が優先されます。

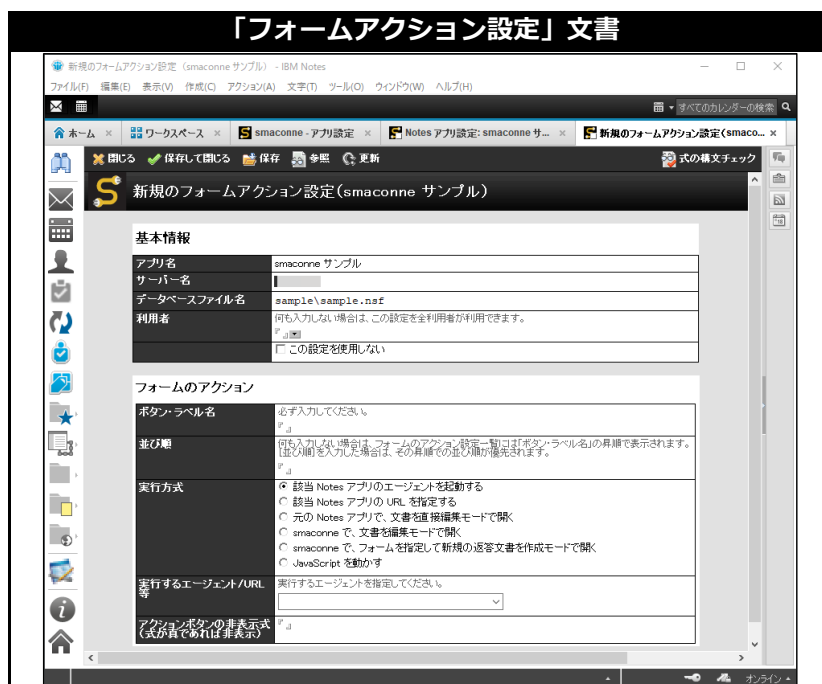
▼ 実行方式

フォームのアクションの実行方式は 6 種類あり、それぞれ以下の通りです。

● 該当 Notes アプリのエージェントを起動する

アクションボタンをクリックすると、[実行するエージェント/URL 等] にて指定したエージェントを起動します。

[実行するエージェント/URL 等] のコンボボックスには参照先アプリに含まれるエージェントが一覧表示されますので、そこから起動するエージェント（起動先エージェント）を選択します。もし起動先エージェント名がコンボボックスに表示されない場合は、直接入力してください。



※ 対象の Notes アプリでエージェントを追加/削除した場合は、アクションバーの[更新] ボタンをクリックしてください。

起動先エージェントには、起動元となった文書の Note ID (ユニバーサル ID ではありません) が引き渡されます。起動先エージェントでは、ParameterDocID プロパティでこの Note ID を取得して、GetDocumentByID メソッドで起動元となった文書を取得して、文書に対して処理を行うことができます。詳しくは、「「該当アプリのエージェントを起動する」エージェントの場合」ご参照ください。

• 該当 Notes アプリの URL を指定する

アクションボタンをクリックすると、[実行するエージェント/URL 等] にて指定した URL を開きます。URL には式 (@関数) を入力することができます。式でない通常のテキストで URL を入力する場合は、「@」 (アットマーク) を入力しないでください。

その際、以下の引数と任意の引数を URL に付加することができます。

- ユニバーサル ID (uid)
- Note ID (nid)
- ユーザー名 (usr)
- ユニバーサル ID (ParentUNID)

任意の引数は、その引数の前に「&」を付加して、URL の末尾に追加します。

例えば、ユニバーサル ID (uid)、Note ID (nid)、ユーザー名 (usr) の 3 つの引数を指定して、任意に「act=1」という引数を指定した場合に送信される URL は以下の通りです。

```
http://www.bcom.co.jp/sample.nsf/agSample?OpenAgent&uid=16578594FCA8571A49257A41001F7DA0&nid=7CF6&usr=CN=Taro%20Demo/O=B-Com&act=1
```

上記例は、参照先アプリのエージェント (agSample) を URL (http://www.bcom.co.jp/sample.nsf/agSample?OpenAgent) で起動しています。「&」から後ろが、3 つの引数です。

引数をいずれも指定せずに、任意に「act=1」という引数を指定した場合に送信される URL は以下の通りです。

```
http://www.bcom.co.jp/sample.nsf/agSample?OpenAgent&act=1
```

URL によって起動されたエージェント (起動先エージェント) では、例えば、CGI 変数 Query_String または Query_String_Decoded を使って、uid や nid や usr からそれぞれユニバーサル ID、Note ID、ユーザー名を取得して、GetDocumentByUNID メソッドまたは GetDocumentByID メソッドで起動元となった文書を取得して、文書に対して処理を行うことができます。詳しくは、「「該当アプリの URL を指定する」エージェントの場合」をご参照ください。

ユニバーサル ID (ParentUNID) 引数には smaconne で表示している文書のユニバーサル ID がセットされます。この引数で指定したユニバーサル ID は、返答フォームや [式で選択文書からの値を引き継ぐ] プロパティが選択されているフォームで使用されます。

ユニバーサル ID (ParentUNID) を引数に指定した場合に送信される URL の例を以下に示します。

```
http://www.bcom.co.jp/sample.nsf/fmSample?OpenForm&ParentUNID=16578594FCA8571A49257A41001F7DA0
```

上記例は、参照先アプリのフォーム (fmSample) を URL (http://www.bcom.co.jp/sample.nsf/fmSample?OpenForm) で開いています。「&」から後ろが、ParentUNID 引数です。

このように、URL に指定できるのは参照先アプリのエージェントに限らず、CGI や別のアプリの URL を指定することも可能です。もしエージェントを直接起動するのではなく、コメントなどを入力してアク

ションを実行させたい場合は、その入力フォームを開くための URL（例えば、<http://www.bcom.co.jp/sample.nsf/fmSample?OpenForm>）を指定します。その場合、参照先アプリのフォームでは、引数を取得できるように、表示用の計算結果フィールドで CGI 変数 Query_String または Query_String_Decoded を取得します。これらのフィールドは非表示としておくとしっくりして良いでしょう。詳しくは、「フォームで引数を取得する」をご参照ください。

● 元の Notes アプリで、文書を直接編集モードで開く

アクションボタンをクリックすると、表示している文書を参照先アプリのフォームを使って編集モードで開きます。

指定するのは文書を開くために使用するビューで、そのビューに関連付けされているフォームで文書を開きます。もし文書をスマートデバイス専用インタフェースで編集できるようにする等の場合は、スマートデバイス編集用フォームと、[フォームの式] でそのフォームを指定したビューを、それぞれ新規に作成して、この[実行するエージェント/URL 等] にて新規作成したビューを指定します。

詳しくは、「カスタムの編集用フォーム」をご参照ください。

● smaconne で、文書を編集モードで開く

アクションボタンをクリックすると、表示している文書を smaconne が生成するフォームを使って編集モードで開きます。

smaconne は元の文書で使用されているフォームに基づいて、編集用のフォームを生成します。元の文書のフォームと同じフォームについては、「フォーム情報」で「smaconne で文書作成/編集する場合の設定」を行ってください。

● smaconne で、フォームを指定して新規の返答文書を作成モードで開く

アクションボタンをクリックすると、新規の返答文書を smaconne が生成するフォームを使って編集モードで開きます。

[実行するエージェント/URL 等] にて使用するフォームを指定してください。

指定するフォームについては、「フォーム情報」で「smaconne で文書作成/編集する場合の設定」を行ってください。

● JavaScript を動かす

アクションボタンをクリックすると、[実行するエージェント/URL 等] にて設定した JavaScript を実行します。JavaScript は式(@関数)の計算結果で設定することができます。式でない通常のテキストで JavaScript を入力する場合は、「@」（アットマーク）を入力しないでください。

例えば、開発キットの「営業日報」アプリのコメント入力フォームを営業日報ページのダイアログに表示するようにする場合は、以下のようなコードを[実行するエージェント/URL 等]に入力します。

```
tmp := @GetField( "originalURL" );
UID := @GetField( "UID" );
NID := @GetField( "NID" );
usr := @URLEncode("Domino"; @UserName );
REM {
ダイアログに表示するページの URL を組み立てる
};
pageURL := @Left( _tmp; ".nsf" ) + ".nsf/fmDialogComment?OpenForm&UID=" +
UID + "&NID=" + _NID + "&usr=" + _usr;
REM {
ダイアログを開く（ダイアログの中でページ遷移する場合は引数に '1' を指定）
};
"openDialog(' + _pageURL + "', '1')"
```

上記の式の計算結果で表示される JavaScript の「openDialog」関数は smaconne 独自の関数です。詳しくは、「開発キット 設定ノウハウ編」をご覧ください。

アクションボタンを非表示にする

アクセスユーザーまたはグループによってアクションボタンを非表示にする場合は、[利用者] に利用を許可するユーザーまたはグループの名前を入力します。

文書の内容やアクセスユーザーのロール等によって動的にアクションボタンを非表示にする場合は、[アクションボタンの非表示式（式が真であれば非表示）] に@関数または@コマンドの式を入力します。

式の計算結果が真であればそのアクションボタンは非表示となります。

例えば、複数のフォームを利用しているアプリで、特定のフォームのみに表示したいアクションボタンがある場合、「アクションボタンの非表示式」には以下のような式を設定します。

```
tmp := @GetField( "Form" );
tmp != "fmSample"
```

上記例は、参照先文書のフォームが「fmSample」という名前でない場合、該当のアクションボタンを表示しないというものです。

ビュー設定文書、フォーム設定文書、ビューアクション設定文書、フォームアクション設定文書を複製する

「ファイル名別アプリ設定」ビューを使って複製する方法

1. 「ファイル名別アプリ設定」ビューを開きます。
2. 該当の設定文書を選択してコピーします。
3. 複製先の Notes アプリ設定文書を選択してペーストします。

※ 複製先が現在と同じ Notes アプリ設定文書の場合はその Notes アプリ設定文書を選択してください。

各文書の「複製...」ボタンを使って複製する方法

1. 該当の設定文書を読み込みモードで開きます。
2. 「複製...」ボタンをクリックすると、以下のダイアログメッセージが表示されます。

Notes アプリ設定文書を指定して複製しますか？

[はい] をクリックすると、Notes アプリ設定文書の選択に進みます。

[いいえ] をクリックすると、処理を中止します。

3. [はい] ボタンをクリックすると、Notes アプリ設定文書選択ダイアログが表示されます。
4. 複製先の Notes アプリ設定文書を指定してください。

※ 複製先が現在と同じ Notes アプリ設定文書の場合はその Notes アプリ設定文書を選択してください。

「Web アプリ設定」文書を作成/編集する

「アプリ設定」ビューで「新規作成（Web アプリ）」ボタンをクリックすると、新規の「Web アプリ設定」文書が編集モードで開きます。

既に「Web アプリ設定」文書が設定されている場合、ビューで該当の文書を選択して「編集」ボタンをクリックするか、または該当文書を開いて「編集」ボタンをクリックすると、編集モードになります。

「Notes アプリ設定」文書と「Web アプリ設定」文書の数、「アクティベーション」の「設定の上限数」に達している場合は、新規に「Web アプリ設定」文書を作成することはできません。さらに「Web アプリ設定」文書を作成したい場合は、新たなアクティベーションコードを入手して、アクティベートし直してください。

「Web アプリ設定」文書では、以下を設定することができます。

基本情報

「Web アプリ設定」文書では、プロトコル、ホスト名（FQDN）、パス等を組み合わせて iNotes 等の Web アプリへのリンクを作成します。

既に Web アプリを設定済の「Web アプリ設定」文書を読み込みモードで開いている場合、「Web ブラウザでアプリを開く」ボタンが表示されます。

▼ アプリ名 <必須入力>

smaconne のアプリ一覧ページに表示する Web アプリの名称を設定します。

▼ プロトコル

サーバーへ Web ブラウザでアクセスする際に使用するプロトコルを選択してください。初期値は、「http」です。

▼ ホスト名（FQDN）

サーバーへ Web ブラウザでアクセスする際に使用するホスト名（FQDN）または IP アドレスを入力してください。
(例: domino01.bcom.co.jp)

▼ パス等

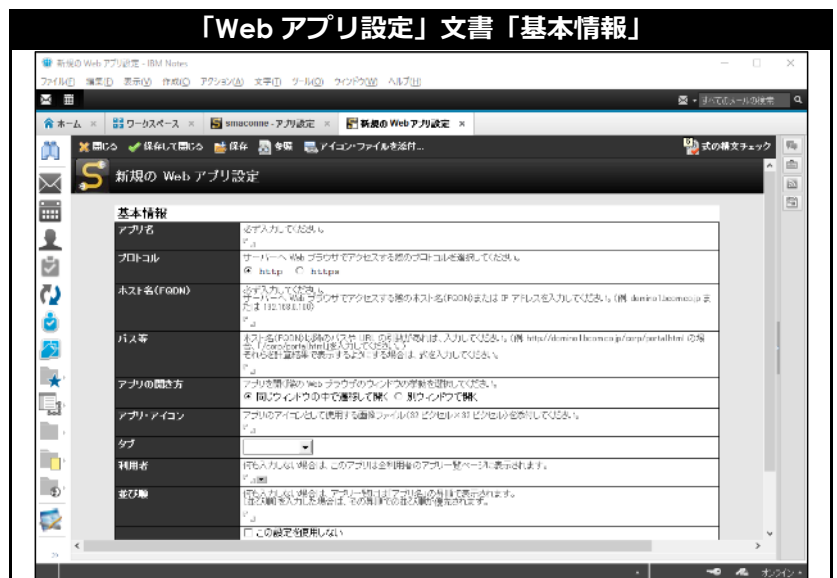
ホスト名（FQDN）以降のパスや URL の引数があれば、その値や式を入力してください。パスの場合は、「/」から始まる値または式を設定してください。

「ホスト名（FQDN）」が未入力の場合は、ホスト名（FQDN）の値またはそれを出力する式を含めるようにしてください。

例: 固定の文字列の場合

http://domino01.bcom.co.jp/corp/portal.html の場合、「/corp/portal.html」を入力してください。

例: iNotes の場合



以下の式は、smaconne がインストールされている Domino サーバーにユーザーのメール・アプリも格納されている場合、パスにそのメール・アプリを指定する例です。

```
tmpDB := "names.nsf";
tmpView := "($Users)";
tmpKey := @LowerCase( @UserName );
tmpField := "MailFile";
tmpData := @DbLookup( "": "NoCache"; "": tmpDB; tmpView; tmpKey; tmpField;
[FailSilent] );

path := "/" + @ReplaceSubstring( tmpData; "¥¥"; "/" ) +
@if( @Right( tmpData; 4 ) = ".nsf";
"";
".nsf"
);

@if( tmpData = Null;
"";
path
)
```

▼ アプリの開き方

「同じウィンドウの中で遷移して開く」(_top) か「別ウィンドウで開く」(_blank) かを設定できます。
初期値は、「同じウィンドウの中で遷移して開く」です。

▼ アプリ・アイコン

smaconne のアプリ一覧ページに表示するアプリのアイコンをセットします。

「アイコン・ファイルを添付」ボタンをクリックするなどして、アプリのアイコンとして使用する画像ファイル (32 ピクセル×32 ピクセル) を添付してください。

▼ タブ

タブが設定されている場合は、コンボボックスにその一覧が表示されます。この「Web アプリ設定」文書をいずれかのタブに含める場合は、コンボボックスからいずれかを選択してください。

▼ 利用者

何も入力しない場合は、このアプリは全利用者のアプリ一覧に表示されます。

エントリ補助ボタンをクリックすると、宛先ダイアログが開きます。

ユーザー名やグループ名を複数入力する場合は、カンマ (,) で区切ってください。

ユーザー名やグループ名が入力されている場合は、該当ユーザーがログインした場合のみ、そのアプリがアプリ一覧ページに表示されます。該当ユーザー以外がログインした場合は、そのアプリがアプリ一覧ページに表示されません。

▼ 並び順

半角数字で入力してください。

何も入力しない場合は、アプリ一覧には「アプリ名」の昇順で表示されます。

「並び順」を入力した場合は、その昇順での並び順が優先されます。

▼ この設定を使用しない

チェックボックスを ON にすると、この Web アプリは smaconne のアプリ一覧ページに表示されません。
また、この Web アプリは「アクティベーション」の「設定の上限数」に対するカウント対象外となります。

▼ この「アプリ設定」文書の文書 ID

開いている「Web アプリ設定」文書の文書 ID が表示されます。

値を変更することはできません。

「アプリ設定」文書を複製する

「ファイル名別アプリ設定」ビューを使って「Notes アプリ設定」文書と「Web アプリ設定」文書を通常の Notes アプリと同様、コピー&ペーストできます。特に「Notes アプリ設定」文書の場合は、ビュー設定文書やフォーム設定文書等が返答文書として付随しますので、これらも合わせてコピーしてください。

同じアプリの別フォーム用の設定を作成するなどの場合は、「アプリ設定」文書を複製して作成していただければ効率的にできるでしょう。

「Notes アプリ設定」文書と「Web アプリ設定」文書の数、「アクティベーション」の「設定の上限数」に達している場合は、「Notes アプリ設定」文書および「Web アプリ設定」文書をペーストすることはできません。「Notes アプリ設定」文書または「Web アプリ設定」文書をペーストしたい場合は、新たなアクティベーションコードを入手して、アクティベートし直してください。

「アプリ設定」文書を削除する

smaconne ではアクティベーションコードによって「アプリ設定」文書数が制限されますので、不要となった「アプリ設定」文書は使用しないようにするか削除してください。「Notes アプリ設定」文書の場合は、ビュー設定文書やフォーム設定文書等が返答文書として付随しますので、「ファイル名別アプリ設定」ビューを使ってこれらも忘れずに削除してください。

「アプリ設定」文書を削除する場合は、該当の「アプリ設定」文書を開いて、「削除」ボタンをクリックした後に、[F9] キーを押下してください。

式の構文をチェックする

「アプリ設定」文書および「ビュー設定」文書、「フォーム設定」文書、「ビューアクション設定」文書、「フォームアクション設定」文書で、以下の式を入力できるフィールドに入力された式の構文をまとめてチェックすることができます。

▼ 「Web アプリ設定」文書の基本情報

- パス等

▼ ビュー設定

- 単一カテゴリーの表示
- 式によりビューを非表示

▼ フォーム設定

- ラベル名
- 式
- フィールドの非表示式

- 編集時の選択枝/プレースホルダ
- 新規作成時のデフォルト値

▼ ビューアクション設定

- 実行するエージェント/URL 等
- アクションボタンの非表示式

▼ フォームアクション設定

- 実行するエージェント/URL 等
- アクションボタンの非表示式

式の構文をチェックする手順は以下の通りです。

1. 該当の式が含まれる設定文書を編集モードで開きます。
2. [式の構文チェック] ボタンをクリックします。
3. 文書の上部タイトルの下に「式の構文チェック結果」が表示されます。
 - 式の構文に問題が見つからない場合は、青文字で「問題ありません。」と表示されます。
 - 式の構文に問題がある場合は、赤文字で以下のエラー内容が表示されます。

```
element No.99 fieldName
```

```
* errorMessage at line errorLine column errorColumn, errorText
```

- **element**: 基本情報、ビュー情報、フォーム情報、ビューのアクション、フォームのアクションのいずれか、エラーが発生したフィールドを含むパートです。
- **No.99**: エラーが発生したフィールドが何番目のセクションまたは行に含まれているかを示します。
- **fieldName**: エラーが発生したフィールド名です。
- **errorMessage**: コンパイラによって返されるメッセージです。
- **errorLine**: エラーが発生した行。ゼロではなく 1 から始まります。文字列の折り返しによって新たに作成された行はカウントされません。
- **errorColumn**: エラーが発生した行の最初の文字からの文字数。1 から始まります。
- **errorText**: コンパイラがエラーの原因として処理する文字列またはトークンです。

※ 式の構文エラー表示は1フィールドにつき1つずつです。1つのフィールドに構文エラーが複数ある場合は、最初のエラーのみが表示されます。

※ 式の構文エラーが大量にあり表示のオーバーフローを回避する必要がある場合は、エラー表示を途中で割愛して最後の行に「…」と表示します。

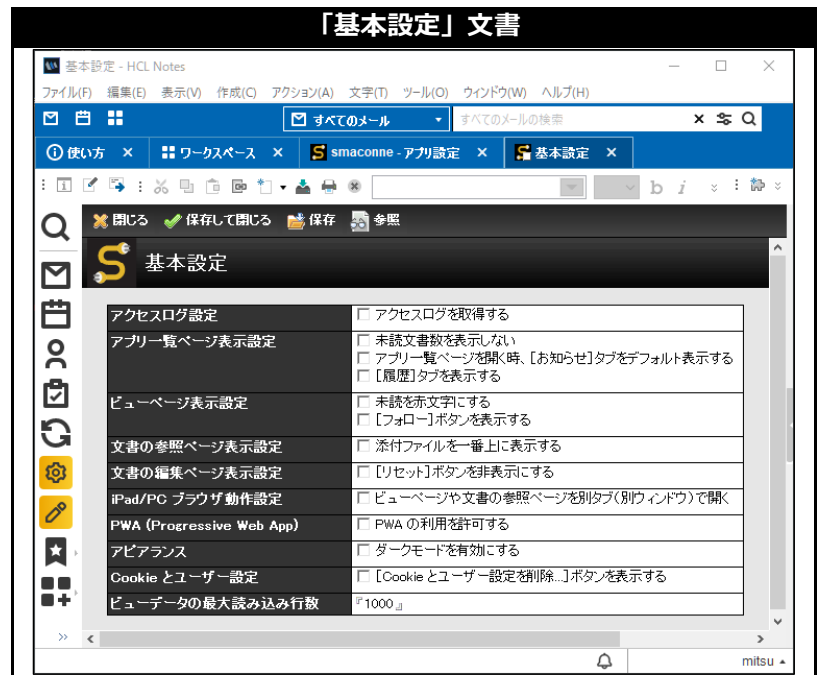
基本設定

smaconne の動作に関する共通的な以下の機能を設定することができます。

- ▼ [アクセスログ設定](#)
- ▼ [アプリ一覧ページ表示設定](#)
- ▼ [ビューページ表示設定](#)
- ▼ [文書の参照ページ表示設定](#)
- ▼ [文書の編集ページ表示設定](#)
- ▼ [iPad/PC ブラウザ動作設定](#)
- ▼ [PWA \(Progressive Web App\)](#)
- ▼ [アピアランス](#)
- ▼ [Cookie とユーザー設定](#)
- ▼ [ビューデータの最大読み込み行数](#)

「基本設定」文書は画面左のナビゲーションメニューで、[基本設定] ボタンをクリックすると編集モードで開きます。

各機能の仕様は以下の通りです。



アクセスログ設定

[アクセスログを取得する] チェックボックスを ON にすると、「smaconne アクセスログ」アプリにアクセスログが記録されます。

「smaconne アクセスログ」アプリに関する詳細は「[smaconne のアクセスログ取得](#)」をご覧ください。

アプリ一覧ページ表示設定

[未読文書数を表示しない] チェックボックス

このチェックボックスを ON にすると、アプリ一覧ページの Notes アプリで表示している未読文書数を非表示にすることができます。

[未読文書数を表示しない] チェックボックスの初期値は OFF です。

[アプリ一覧ページを開く時、[お知らせ] タブをデフォルト表示する] チェックボックス

このチェックボックスを ON にすると、smaconne のデフォルト URL でアプリ一覧ページを開く際に [お知らせ] タブを表示することができます。

[アプリ一覧ページを開く時、[お知らせ] タブをデフォルト表示する] チェックボックスの初期値は OFF です。

[履歴] タブを表示する] チェックボックス




上記「アクセスログ設定」で [アクセスログを取得する] チェックボックスが ON で、このチェックボックスを ON にすると、アプリ一覧ページに [履歴] タブ (🕒 アイコン) を表示します。

ビューページ表示設定

「未読を赤字にする」チェックボックス

このチェックボックスを ON にすると、ビューページで未読文書が赤字で表示されます。

「[フォロー] ボタンを表示する」チェックボックス

smaconne が動作する Domino のバージョンが 8.5 以降で、「smaconne ユーザー設定」アプリが設定されている環境で、このチェックボックスを ON にすると、ビューページ等の操作ペインに「このアプリをフォロー」ボタン（ アイコン）または「このアプリのフォローを終了」ボタン（ アイコン）、アプリー覧ページに「フォロー」タブ（ アイコン）を表示します。

文書の参照ページ表示設定

「添付ファイルを一番上に表示する」チェックボックスを ON にすると、文書の参照ページで添付ファイルの一覧をページの上部分に表示します。

なお、文書の編集ページでは添付ファイルの一覧は常にページの下部分に表示します。

文書の編集ページ表示設定

「[リセット] ボタンを非表示にする」チェックボックスを ON にすると、文書の編集ページで「リセット」ボタンが表示されなくなります。

iPad/PC ブラウザ動作設定

「ビューページや文書の参照ページを別タブ（別ウィンドウ）で開く」チェックボックスを ON にすると、smaconne を iPad や PC の Web ブラウザで利用する際に、以下が自動で別タブ（別ウィンドウ）で開くようになります。

- ビューページや文書の参照ページ
- リッチテキストフィールド内の文書リンクや URL リンク等
- 以下のオプションを選択したビューのアクションボタン
 - ・ 「元のアプリで、フォームを指定して新規文書作成モードで開く」
 - ・ 「smaconne で、フォームを指定して新規文書作成モードで開く」
- 以下のオプションを選択したフォームのアクションボタン
 - ・ 「smaconne で、フォームを指定して新規の返答文書を作成モードで開く」

別タブ（別ウィンドウ）で開いた各ページの操作ペインは、別タブ（別ウィンドウ）で開かない場合と以下の違いがあります。

- ビューページ
 - 「関連リンク」の「アプリー覧」が表示されません。
- 文書の参照ページ
 - 「ビュー一覧」のすべてと「関連リンク」の「アプリー覧」が表示されません。

なお、この機能は iPad や PC の Web ブラウザ限定の機能で、iPhone や Android デバイスは対象外です。また、smaconne を PWA として利用する際は、このオプションは無効となります。

「ビューページや文書の参照ページを別タブ（別ウィンドウ）で開く」チェックボックスの初期値は OFF で

す。

PWA (Progressive Web App)

「PWAの利用を許可する」チェックボックスを ON にすると、smaconne を PWA として利用することができますようになります。smaconne を PWA として利用するための設定については、「PWA として利用するための設定」を参照してください。

アピアランス

「ダークモードを有効にする」チェックボックスを ON にすると、ご利用の OS で「自動」を含むダークモード（ダークテーマ）を設定していて、かつダークモードに対応した Web ブラウザで smaconne を開いた場合に、smaconne をダークモードで表示します。

OS や Web ブラウザがダークモードに対応していない場合は、「ダークモードを有効にする」チェックボックスを ON にしていてもダークモードで表示しません。

「ダークモードを有効にする」チェックボックスのデフォルト値は OFF です。

リッチテキストフィールドの文字色は白色に変更され、表の背景色は削除され枠線は白色で表示され、画像は 15% 暗めに表示されます。これらの変更を希望しない場合は「ダークモードを有効にする」チェックボックスを OFF のままとしてください。

Cookie とユーザー設定

「[Cookie とユーザー設定を削除...] ボタンを表示する」チェックボックスを ON にすると、操作ペインに「Cookie とユーザー設定を削除...」ボタンを表示します。

なお、「smaconne ユーザー設定」アプリが無い場合は表示されるボタンのラベルは「Cookie を削除...」と表示されます。

ビューデータの最大読み込み行数

smaconne でビューデータを取得する際に 1 回あたり最大に読み込む行数となります。返答文書をすべて展開して表示したり、列で並び替えをしたりする際に使用します。

何も入力しない場合のデフォルト値は 1000 です。以下のいずれかで設定されている「ビュー内の最大行数」を上限として設定してください。

- インターネットサイト文書を使用している場合

インターネットサイト文書の「Domino Web Engine」タブで、「変換/表示」セクションの「ビュー内の最大行数」

- インターネットサイト文書を使用していない場合

サーバー文書の「インターネット プロトコル」タブの「Domino Web Engine」タブで、「変換/表示」セクションの「ビュー内の最大行数」

1 スレッドあたりの返答文書数が 1,000 よりも多い場合や、頻繁に列で並び替えるためにパフォーマンスを向上させたい場合などにこの値を大きくすることを検討してください。

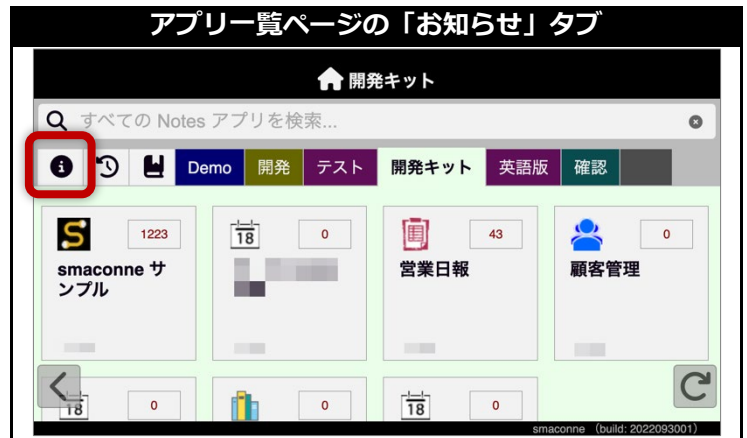
お知らせ設定

smaconne の利用者全員に向けて告知する必要がある場合などのために、お知らせを設定することができます。

例えば、この告知として、経営層からの通達やシステム管理者からの運用スケジュールの通知などにご利用いただくことを想定しています。日々の通達や通知などはすでに掲示板などの Notes アプリをご利用でしょうから、より広く迅速に通知する必要があるものについてご利用いただければと考えています。

お知らせが設定されている場合は、アプリ一覧ページに「お知らせ」タブ (i アイコン) が表示されます。「お知らせ」タブを表示すると、タブの中にお知らせが表示されます。

「お知らせ」タブにお知らせを表示しますので、この機能を利用するためにはアプリ一覧ページでタブを利用していることが前提となります。アプリ一覧ページのタブ表示については、「[タブ設定](#)」章をご参照ください。



「お知らせ設定」ビュー

お知らせは「お知らせ設定」ビューで「お知らせ設定」文書を作成/編集して設定します。

画面左のナビゲーションメニューで、[お知らせ設定] ボタンをクリックすると、「お知らせ設定」ビューが表示されます。

「お知らせ設定」ビューでは、「お知らせ設定」文書が、掲載/非掲載順、並び順の昇順、作成日または更新日の新しいものの降順で一覧が表示されます。smaconne を開いた日付（本日）が掲載開始日より前または掲載終了日より後の日付となるお知らせ文書は「非掲載」扱いとなります。

smaconne のアプリ一覧ページのお知らせタブに表示されるお知らせのうち、「お知らせ設定」ビューの一番上に表示されているもののみデフォルトで展開して表示されます。利用者全員に必ず読んでもらいたいものがある場合は、「お知らせ設定」ビューの一番上に表示されるように設定することをお勧めします。

いずれかの文書を選択して [選択した設定を使用する] ボタンをクリックすると、ビューで選択された文書が掲載対象に設定されます。[選択した設定を使用しない] ボタンをクリックすると、ビューで選択された文書が非掲載に設定されます。



「お知らせ設定」文書を作成/編集する

「お知らせ設定」ビューで「新規作成」ボタンをクリックすると、新規の「お知らせ設定」文書が編集モードで開きます。

既に「お知らせ設定」文書が設定されている場合、ビューで該当の文書を選択して「編集」ボタンをクリックするか、または該当文書を開いて「編集」ボタンをクリックすると、編集モードになります。

▼ タイトル

必ず入力してください。

▼ 作成日

初期値は本日の日付です。

▼ 更新日

作成日よりも前の日付を入力することはできません。

▼ 掲載開始日

掲載開始日を設定すると、その日付までこのお知らせ文書は非掲載扱いとなります。

作成日や更新日よりも前の日付を入力することはできません。



▼ 掲載終了日

掲載終了日を設定すると、その日付以降はこのお知らせ文書は非掲載扱いとなります。

掲載開始日よりも前の日付を入力することはできません。

▼ 非掲載

「お知らせを掲載しない」チェックボックスを ON にすると、このお知らせ文書は非掲載扱いとなります。

▼ 利用者

何も入力しない場合は、このお知らせは全利用者のお知らせ一覧に表示されます。

エントリ補助ボタンをクリックすると、宛先ダイアログが開きます。

ユーザー名やグループ名を複数入力する場合は、カンマ (,) で区切ってください。

ユーザー名やグループ名が入力されている場合は、該当ユーザーがログインした場合のみ、そのお知らせがお知らせ一覧ページに表示されます。該当ユーザー以外がログインした場合は、そのお知らせはお知らせ一覧ページに表示されません。[Admin] ロールを割り当てられているユーザーの場合は、すべてのお知らせが表示されます。

▼ 並び順

半角の数値を入力してください。

▼ smaconne 以外の URL

お知らせ本文に表示させたい Web ページ等があれば、その URL を入力してください。

例えば、ワークフローアプリを smaconne でご利用の場合、未承認文書数を調べて結果を表示するエージェントの URL を指定すれば、そのお知らせを表示するだけで自分の未承認文書数が表示されるようになります。

右図は、「営業日報」アプリでログインユーザーが未消化の予定数を調べて結果を表示するエージェントを [smaconne 以外の URL] に指定した場合の表示例です。

このエージェントは「セキュリティ」プロパティを以下のように設定しています。

- [Web ユーザーとして実行] チェックボックス: ON
- 代理で実行: 未入力
- 実行時のセキュリティレベル: [1.制限された操作を許可しない] を選択

以下にこのエージェントのサンプルコード (LotusScript) を記載します。



```
Sub Initialize
Dim session As New NotesSession
Dim db As NotesDatabase
Dim view As NotesView
Dim vc As NotesViewEntryCollection
Dim nam As NotesName
Dim namStr As String
Dim docNum As Long
Dim tmpMsg As String
Dim tmpStr As String
Dim tmpVar As Variant

On Error GoTo ErrorHandler

' ログインユーザーの別名を取得
Dim ndb As New NotesDatabase("", "names.nsf")
Dim nview As NotesView
Dim ndoc As NotesDocument
Set nview = ndb.getView( "$Users" )
Set ndoc = nview.getDocumentByKey( session.EffectiveUserName , True )
Set nam = session.CreateName( ndoc.AltFullName(0) )
If nam.Common = "" Then
    namStr = session.EffectiveUserName
Else
    namStr = nam.Common
End If
tmpVar = Evaluate( {@URLEncode( "Domino"; "" & namStr & {} ) } )
' 「作成者別タスク | vwTasksByCreator」ビューでログインユーザーの文書を取得
Set db = session.CurrentDatabase
Set view = db.GetView( "vwTasksByCreator" )
Set vc = view.GetAllEntriesByKey( namStr )
docNum = vc.Count
tmpStr = ""
If docNum > 0 Then
    tmpStr = tmpStr & {<p>} & namStr & "さん、"
```



```

& {<a
href="http://intra.bcom.co.jp/sdcnctr.nsf/vwApp/0569X104VE60B8AC4925818C000AACD9?O
penDocument&vw=5&start=&cat=}_
& tmpVar(0) & {" target="_blank">営業日報</a>に } & CStr( docNum ) & { 個の
予定がありますので、ご確認ください。</p>}
Else
    tmpStr = tmpStr & {<p>現在、} & namStr & {さんの予定はありません。</p>}
End If
tmpStr = tmpStr & {<p style="margin-top: 1em;">※ このメッセージは<a
href="http://intra.bcom.co.jp/sdcnctr.nsf/vwApp/0569X104VE60B8AC4925818C000AACD9?O
penDocument&vw=5" target="_blank">「営業日報」アプリ</a>のエージェントで出力しています。
</p>}
Print tmpStr

' =====
' 正常終了処理
' =====
GoodClose:
Exit Sub

' =====
' 異常終了処理
' =====
ErrorHandler:
tmpMsg = Err() & ": " & Error() & ", " & "error at line " & Erl _
& " in agWebDispTasks"
Print "[/sample/SalesReports.nsf/fmMessage?OpenForm&ec=" & tmpMsg & "]"
End
End Sub

```

このエージェントの実行結果は以下のような HTML コードとなります。

```

<p>現在、●● ●●さんの予定はありません。</p><p style="margin-top: 1em;">※ このメッセージ
は<a
href="http://intra.bcom.co.jp/sdcnctr.nsf/vwApp/0569X104VE60B8AC4925818C000AACD9?O
penDocument&vw=5" target="_blank" data-ajax="false">「営業日報」アプリ</a>のエージェントで出力しています。</p>

```

このエージェントの実行結果をお知らせに表示するために「smaconne 以外の URL」に以下を設定します。

```
http://intra.bcom.co.jp/sample/SalesReports.nsf/agWebDispTasks?OpenAgent
```

▼ お知らせ本文

任意に入力してください。

ただし、ファイルを添付してもダウンロードできません。添付ファイルを操作できるようにする場合は、別の Notes アプリの任意の文書への文書リンクを張るなどしてください。この Notes アプリは smaconne に登録されることをお勧めします。

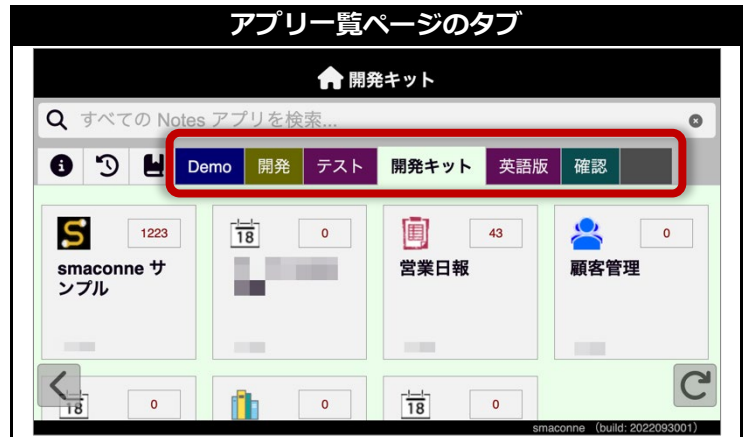
タブ設定

「アプリ設定」文書の数が増えると、smaconne のアプリ一覧ページでの視認性や操作性が低下する恐れがあります。これを防ぐために、アプリ一覧ページにタブを表示し、アプリをタブ毎に配置できるようにしています。

「タブ設定」文書はまったく作成しなくても結構です。「タブ設定」文書を1つも作成していない場合、またはすべての「タブ設定」文書が使用しないようになっている場合は、アプリ一覧ページにはタブ名の無いタブが表示されます。

使用する「タブ設定」文書が1つ以上作成されていて、「アプリ設定」文書でタブを設定していないものがある場合は、アプリ一覧ページでタブ名の無いタブが一番右側に表示され、そのタブの中にタブ未設定のアプリが表示されます。

既に多数の「アプリ設定」文書を作成済みの場合は、「タブ設定」文書を作成した後に、「アプリ設定」ビューや「タブ別アプリ設定」ビューの「タブ設定」ボタンでまとめてタブを設定することをお勧めします。



「タブ設定」ビュー

タブは smaconne 全体に共通するものとして、「タブ設定」ビューで「タブ設定」文書を作成/編集して設定します。

画面左のナビゲーションメニューで、「タブ設定」ボタンをクリックすると、「タブ設定」ビューが表示されます。

「タブ設定」ビューでは、「タブ設定」文書が、並び順の昇順、タブ名の昇順で一覧が表示されます。

いずれかの文書を選択して「選択した設定を使用する」ボタンをクリックすると、ビューで選択された文書が使用する文書に設定されます。

「選択した設定を使用しない」ボタンをクリックすると、ビューで選択された文書が使用しない文書に設定されます。

「アプリ設定」文書でタブが設定されていないものは、「アプリ設定」ビューや「タブ別アプリ設定」ビューにて「[タブ未設定]」と表示されます。



「タブ設定」文書を作成/編集する

「タブ設定」ビューで「新規作成」ボタンをクリックすると、新規の「タブ設定」文書が編集モードで開きます。

既に「タブ設定」文書が設定されている場合、ビューで該当の文書を選択して「編集」ボタンをクリックするか、または該当文書を開いて「編集」ボタンをクリックすると、編集モードになります。

カラー	濃い色	薄い色
ブルー	#000072	#EBF2FF
マゼンタ	#600D58	#FCE7FA
レッド	#800000	#FFE8EC

▼ 並び順

半角の数値を入力してください。

▼ この設定を使用しない

チェックボックスを ON にすると、この「タブ設定」文書は「アプリ設定」文書等で選択対象として表示されません。また、このタブは smaconne のアプリ一覧ページに表示されません。

参照先アプリの設定等

iPhone や iPad、Android デバイスなどのスマートデバイスや PC の Web ブラウザから、smaconne を通して既存の Notes アプリを、より便利にご利用になるための設定やカスタマイズについてご紹介します。

全文索引

smaconne では全文検索を実行することができます。参照先の Notes アプリについて、全文索引が作成されていることをご確認ください。

※ 全文索引が無い Notes アプリに対して検索を実行した場合、レスポンスが非常に遅くなりますので、ご注意ください。

リッチテキストフィールド

内容の表示

smaconne は、Notes 文書を Web ブラウザでそのまま表示した時の HTML コード（Domino Web クライアント・アクセス）に準じて、リッチテキストフィールド部分を表示します。このため、スマートデバイスや PC にインストールされていないフォントが指定されている場合、それに準じるフォントが Web ブラウザによって自動選択されて表示されます。この際、「Default Serif」は明朝体ですが、Web ブラウザのデフォルトフォントで表示されますので、ゴシック体で表示されることがあります。また、フォントに特有の特殊文字等の場合は、再現できないことがあります。

Domino Web クライアント・アクセスの場合と異なるのは、以下の点です。

- 表の罫線は、塗りつぶしの実線で表示します。
- 表の列幅が固定幅で指定されていない場合、各列を均等の幅で表示します。
- 添付ファイルは、「フォーム情報」の「添付ファイルに関する制御」を優先するために、リッチテキストフィールドでは以下のいずれかで処理します。
 - リッチテキストフィールド内にインラインでファイルが添付されている場合（Notes で作成する一般的な場合）、そのアイコンとファイル名は表示しますが、添付ファイルへのリンクは表示しません。
 - 上記以外のリッチテキストフィールド内に Domino によって表組された領域にファイルが添付されている場合、添付ファイルを含む Domino によって生成された表全体を表示しません。

添付ファイルに関する詳細は「添付ファイル」の項をご参照ください。

- アプリケーションリンク/ビューリンク/文書リンクは「フォーム情報」の「ほかのアプリへのアクセス許可」で設定した内容に応じて変換して表示します。

アプリケーションリンク/ビューリンク/文書リンクに関する詳細は「文書リンク」の項をご参照ください。

Domino バージョン 8.5 よりも前での編集

参照先の Notes アプリが稼働している Domino のバージョンが 8.5 よりも前の場合、リッチテキストフィールドの編集に利用できるのは「テキストエリア」のみで、「リッチテキスト」を指定することはできません。

このため、smaconne で文字色やフォントサイズなどを変更することはできません。

※ もしバージョンが 8.5 よりも前の Domino で「リッチテキスト」を指定したら、該当のリッチテキストフィールドに HTML コードが保存され、smaconne で表示してもそのまま HTML コードが表示されてしまいます。

Domino バージョン 8.5 以降での編集

参照先の Notes アプリが稼働している Domino のバージョンが 8.5 以降の場合、「テキストエリア」および「リッチテキスト」をリッチテキストフィールドの編集に利用できます。

「テキストエリア」を指定した場合は、smaconne で文字色やフォントサイズなどを変更することはできません。

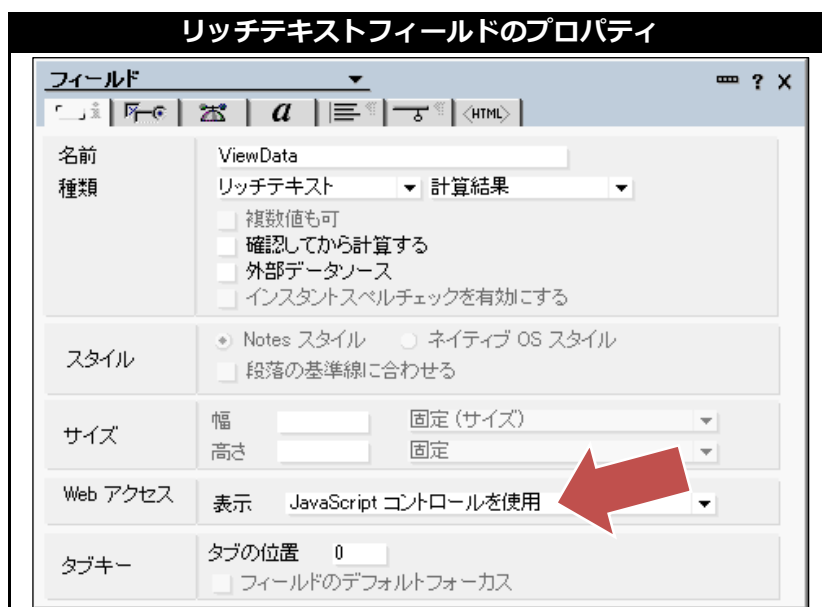
「リッチテキスト」を指定した場合は、該当のフィールドのプロパティの [フィールド情報] タブの [Web アクセス] で、[JavaScript コントロールを使用] を選択して、フォームを保存し直してください。文書を保存し直す必要はありません。

なお、smaconne のリッチテキストエディタは CKEditor を利用していますが、XPages で利用されている CKEditor とは異なります。また、**CKEditor にて編集・保存した結果について、Notes による編集・保存結果と互換性を保証するものではありません。**

smaconne の CKEditor には以下のような制約があります。お使いの Notes アプリでの利用内容にそぐわない場合は別のオプションをご検討ください。

※ CKEditor のデフォルトフォントは 12 ポイントの明朝体 (serif) ですので、フォントの種類やサイズを指定せずに保存した場合、Notes で表示するとリッチテキストフィールドのフォント設定ではなく 12 ポイントの明朝体 (Default Serif) で表示されます。

⇒ 他のフォント種類やサイズにしたい場合は、CKEditor の [フォント種類] や [フォントサイズ] を使って指定してください。



※ Notes で作成した文書リンク/ビューリンク/アプリケーションリンクを含む文書を CKEditor で編集して保存すると、それらのリンクはホスト名の無い URL リンクに変換されてしまいます。

※ Notes で作成した複雑な設定の表を CKEditor で編集して保存すると、セル幅や背景色などの Notes の設定が HTML に合わせて変わることがあります。

※ Notes ではリッチテキストフィールド内の任意の場所にファイルを添付することができますが、CKEditor 内にファイルを添付することはできません。

⇒ 詳細は「添付ファイル」項の「ファイルを添付するフィールド」をご参照ください。

※ Notes でリッチテキストフィールド内にファイルが添付されている文書を CKEditor で編集して保存すると、添付ファイルはリッチテキストフィールド末尾に添付し直され、リッチテキストフィールド内で元あった場所の添付ファイル・アイコンは表示されなくなります。

⇒ 詳細は「添付ファイル」項の「ファイルを添付するフィールド」をご参照ください。

※ Notes でリッチテキストフィールド内にインラインの画像がある文書を CKEditor で編集して保存すると、画像は表示されなくなります。

⇒ Notes で作成したインライン画像は実体のあるファイルとして添付されていないので、CKEditor で認識することができず保持できません。

※ smaconne の CKEditor でリッチテキストフィールド内に画像を挿入して保存した場合、smaconne や Domino Web クライアント・アクセスでは画像は表示されますが、Notes で文書を開いても画像は表示されません。

⇒ CKEditor で挿入する画像は実体でなく URL の指定ですので、Notes で表示できません。

※ Microsoft Edge ブラウザでは CKEditor の一部機能をご利用いただけません。

フォントサイズ

リッチテキストフィールドの文字列で指定されているフォントサイズについては、Web ブラウザで表示する (Domino Web クライアント・アクセス) 際に Domino が自動的に font タグを付加します。

例えば、一般的に使用されている 9~11 ポイントが指定されている場合は、Domino が というタグを付加します。Web ブラウザで表示する際の標準フォントサイズは 3 ですので、2 ですと通常よりも一段階小さいフォントサイズとなります。

smaconne では、ほかのフィールドと同じサイズ (16 ピクセル) で表示するために、リッチテキストフィールドの 9~11 ポイントのフォントを標準フォントサイズとして扱っています。12 ポイント以上ですとそれよりも大きく (サイズに応じて 120% 以上)、8 ポイント以下ですとそれよりも小さく (90%) 表示します。

文書リンク

文書リンク/ビューリンク/アプリケーションリンクについては、リンク先によって、「フォーム情報」の「ほかのアプリへのアクセス許可」の設定に基づいて以下のように HTML リンクに変換します。

▼ 「すべての文書リンクやアプリケーションリンクを有効にする」を選択している場合

- リンク先が smaconne に登録されているアプリの場合は、smaconne 内でそのまま表示する HTML リンクに変換します。
- リンク先が smaconne に登録されていないアプリの場合は、そのアプリの設定によって表示するよう処理します。なお、notes プロトコルが指定されているリンクで、Domino が http/https に変換しなかったものは、リンクを無効にします。

▼ 「smaconne に登録していないアプリへの文書リンクやアプリケーションリンクを無効にする」を選択している場合

- リンク先が smaconne に登録されているアプリの場合は、smaconne 内でそのまま表示する HTML リンクに変換します。
- リンク先が smaconne に登録されていないアプリの場合は、リンクを無効にします。

▼ 「すべての文書リンクやアプリケーションリンクを無効にする」を選択している場合

- すべてのリンクを無効にします。

リンク先が smaconne に登録されていないアプリを XPages や Domino Web クライアント・アクセスで表示したい場合は、「URL 変換設定」文書を作成して設定してください。

添付ファイル

添付ファイル追加の許可設定

smaconne からファイルを添付できるようにする場合、参照先の Notes アプリが稼働している Domino サーバーの notes.ini に以下のパラメーターを追加する必要があります。

※ このパラメーターを追加しますと、Domino のセキュリティが弱くなりますので、ファイル添付の必要性和セキュリティの双方を十分勘案した上で、設定するか否かを決定してください。

```
DominoDisableFileUploadChecks=1
```

ファイルを添付するフィールド

smaconne から文書に添付ファイルを追加する場合、以下のようにケースに応じてそれぞれのフィールドにファイルが添付されます。

▼ 一般的な Domino Web クライアント・アクセスの場合

具体的には、[フィールド情報] - [Web アクセス] プロパティで [JavaScript コントロールを使用] (Domino 8.5 以降) となっているリッチテキストフィールドが無い、もしくは smaconne での編集に [リッチテキスト] を利用していないケースが該当します。

この場合、文書の特殊なフィールド (\$FILE アイテム) にファイルが添付されます。

▼ smaconne での編集に [リッチテキスト] を利用する場合

具体的には、[フィールド情報] - [Web アクセス] プロパティで [JavaScript コントロールを使用] (Domino 8.5 以降) となっているリッチテキストフィールドがあり、かつ「アプリ設定」文書のフォーム情報の「添付ファイル」の「ファイルを添付するフィールド」で何も指定してなく、加えて smaconne での編集に [リッチテキスト] を利用しているケースが該当します。

この場合、このリッチテキストフィールドの末尾にファイルが添付されます。

▼ 任意のリッチテキストフィールドにファイルを添付する場合

具体的には、「アプリ設定」文書のフォーム情報の「添付ファイル」の「ファイルを添付するフィールド」で任意のリッチテキストフィールドを指定してあり、そのリッチテキストフィールドの [フィールド情報] - [Web アクセス] プロパティで [JavaScript コントロールを使用] (Domino 8.5 以降) または [Java アプレットを使用] (Domino 8.5 よりも前) を指定しているケースが該当します。

この場合、この指定されているリッチテキストフィールドにファイルが添付されます。

ちなみに、上記 2 つ目と 3 つ目のケースで、該当の文書を通常の Domino Web クライアント・アクセスで表示した際には、「リッチテキストフィールド」項の「内容の表示」に記載の「Domino によって表組された領域にファイルが添付されている」表示となります。

文書保存のアクション

smaconne が生成する文書の編集ページのアクションボタンは [保存して閉じる] (または [保存]) と [リセット] 2 つで固定です。これは元の文書 (アプリ) とは異なるアプリで、編集フォームを生成していることによる制約とお考えください。アクションボタンのラベルが [保存] となるケースについては、後述する「文書保存後にページ遷移しないようにする設定」をご覧ください。

Notes でワークフローの申請書を起票して申請する処理を 1 アクション (1 画面) で実施されているケースが多いと思います。そのような用途を smaconne で処理される場合は、一旦申請書を作成・保存したのちに、その文書を参照ページで開いて申請ボタンをクリックするようにしてください。その場合、元のフォームにて、非表示の「\$\$Return」フィールドに本人が作成した未申請文書一覧ビューを指定すると良いでしょう。

このようなビューの設定については、「ビュー情報」の「単一カテゴリの表示」をご参照ください。

入力チェック

smaconne で文書の新規作成/編集を行う場合、各フィールドの入力チェックには、元のフォームで設定されているフィールドの「入力の確認」や WebQuerySave イベントをそのまま使うことができます。

もし「入力の確認」を smaconne 用に見直す場合は、以下の例を参考にしてみてください。

例

```
msg1 := "<h1 style=¥\"text-align: center;¥\">";
msg2 := "【文書タイトル】は、必ず入力してください。";
msg3 := "</h1><div style=¥\"margin-top: 100px; text-align: center;¥\"><a
href=¥\"javascript:history.back();¥\">入力画面へ戻る</a></div>";
msg := msg1 + msg2 + msg3;

@If( @ThisValue = ""; @Failure(msg); @Success )
```

WebQuerySave を使う場合は、元のフォームに「SaveOptions」フィールド（非表示の編集可能なテキストフィールド）を忘れずに設定してください。

「SaveOptions」フィールドに関する詳細は、「Domino Designer ヘルプ」の「例： Web ユーザーが文書を開くか保存する前に実行するエージェント」等をご参照ください。

文書保存後の自動ページ遷移

文書を保存した後に、自動で希望のビューページなどを表示するようにしたい場合は、「\$\$Return」フィールド（非表示の表示用の計算結果フィールド）の値に以下のような値を設定してください。

例

```
"[/sdncntr.nsf/vwApp/FA58AFE30A0B91A549257C3D00272C90?OpenDocument]"
```

「\$\$Return」フィールドに関する詳細は、「Domino Designer ヘルプ」の「例： Web ユーザーが文書を開くか保存する前に実行するエージェント」等をご参照ください。

文書保存後にページ遷移しないようにする設定

フォーム設定文書の「保存後の動作」で、[入力フォームで保存した後にページ遷移しないようにする] チェックボックスを ON にすると、保存した後に続けて編集・保存できるようになります。この時、文書の編集ページのアクションボタンのラベルは[保存して閉じる]から[保存]に変わります。

なお、以下の「\$\$Return」フィールドが設定されていない場合は、新規文書を保存した後は一度文書の編集ページ（入力フォーム）を閉じて、文書を開き直す必要があります。これは新規文書を保存した後でないとその文書の ID を取得できないためです。既存文書の編集・保存に関してはこの制限はありません。

新規文書でも文書を保存した後に続けて編集・保存できるようにする場合は、「\$\$Return」フィールド（非表示の表示用の計算結果フィールド）の値に以下のような式を設定してください。

例

```
"<h2>保存しました</h2><div id=¥\"UNID¥\" style=¥\"display: none;¥\">" +
@Text(@DocumentUniqueID) + "</div>"
```

「<h2>保存しました</h2>」の部分は何でも結構です。ちなみに、「\$\$Return」フィールドが無い状態で Domino が自動で出力するのは「<h2>フォームの処理は終了しました</h2>」です。

既に「文書保存後の自動ページ遷移」を設定した「\$\$Return」フィールドがある場合は、上記のように書き換えるか、または「入力フォームで保存した後にページ遷移しないようにする」チェックボックスを OFF のままご利用ください。「\$\$Return」フィールドに関する詳細は、「Domino Designer ヘルプ」の「例： Web ユーザーが文書を開くか保存する前に実行するエージェント」等をご参照ください。

エージェントで引数を取得する

「「アプリ設定」文書の作成」の「アクション情報」に記載したように、smaconne から既存 Notes アプリのエージェントを起動することができます。本項では、既存のエージェントを改造したり新規に作成したりする際の引数取得のポイントをご紹介します。

「該当アプリのエージェントを起動する」エージェントの場合

「「アプリ設定」文書の作成」の「アクション情報」の「実行方式」で、「該当アプリのエージェントを起動する」を選択した場合、既存の Notes アプリのエージェントでは ParameterDocID プロパティで起動元となった文書の Note ID (ユニバーサル ID ではありません) を取得して、GetDocumentByID メソッドでその文書を取得して、文書に対して処理を行います。

この方式でエージェントを起動する場合、エージェントに引き渡すことができる情報は現在開いている文書の Note ID のみですが、処理完了メッセージ（「処理しました。」）を表示中の文書に表示します。

なお、この方式で起動するエージェントのセキュリティの設定は、「Web ユーザーとして実行」のチェックボックスが ON である必要があります。

- ▼ 例: 以下のエージェントは、Note ID を取得できた場合、該当文書のカテゴリと題名を「Taro Demo」宛てにメールするものです。処理完了時は、smaconne で表示中の文書に処理完了メッセージ（「処理しました。」）が表示されます。
なお、このエージェントは「イベント」の「エージェントリストの選択」をトリガーに、対象は「なし」で作成します。

```
Sub Initialize
  Dim s As New NotesSession
  Dim agent As NotesAgent
  Dim db As NotesDatabase
  Dim doc As NotesDocument
  Dim richTextItem As NotesRichTextItem
  Set agent = s.CurrentAgent
  Set db = s.CurrentDatabase
  ' メールを送信
  Dim memo As New NotesDocument( db )
  memo.Form = "Memo"
  memo.SendTo = "Taro Demo"
  If Cstr( agent.ParameterDocID ) = "" Then
    Print "agent.ParameterDocID 取得エラー"
    memo.Subject = "agent.ParameterDocID 取得エラー"
    Call memo.Send(False)
    Exit Sub
  Else
    Set doc = db.GetDocumentByID( agent.ParameterDocID )
    If doc Is Nothing Then
      Print "文書が見つかりません"
      memo.Subject = "文書が見つかりません"
      Call memo.Send(False)
    
```

```

Exit Sub

End If
memo.Subject = "Message from LotusScript sample agent"
Set richTextItem = New NotesRichTextItem( memo, "Body" )
Call richTextItem.AppendText( "カテゴリー: " + doc.Categories(0) )
Call richTextItem.AddNewLine( 1 )
Call richTextItem.AppendText( "題名: " + doc.Subject(0) )
Call memo.Send(False)

End If
End Sub

```

「該当アプリの URL を指定する」エージェントの場合

「「アプリ設定」文書の作成」の「アクション情報」の「実行方式」で、「該当アプリの URL を指定する」を選択した場合、URL によって起動された既存の Notes アプリのエージェントでは CGI 変数の Query_String または Query_String_Decoded を使って、uid や nid や usr からそれぞれユニバーサル ID、Note ID、ユーザー名を取得して、GetDocumentByUNID メソッドまたは GetDocumentByID メソッドで起動元となった文書を取得して、文書に対して処理を行います。

この方式でエージェントを起動する場合、現在開いている文書のユニバーサル ID と Note ID、ユーザー名、任意に指定したその他の引数をエージェントに引き渡すことができますが、処理完了メッセージはデフォルトでは「エージェントが実行されました」となります。

- ▼ 例: 以下のエージェントは、ユニバーサル ID (uid)、Note ID (nid)、ユーザー名 (usr) を引数とした URL で起動するエージェントです。引数を取得できた場合、該当文書のカテゴリーと題名を、引数で取得したユーザー名宛てにメールします。処理完了時は、「エージェントが実行されました」と表示されます。
なお、このエージェントは「イベント」の「エージェントリストの選択」をトリガーに、対象は「なし」で作成します。

```

Sub Initialize
Dim s As New NotesSession
Dim agent As NotesAgent
Dim db As NotesDatabase
Dim doc As NotesDocument
Dim richTextItem As NotesRichTextItem
Dim arg As String
Dim p1 As Long
Dim uid As String
Dim nid As String
Dim usr As String
Dim tmpMsg As String
Set agent = s.CurrentAgent
Set db = s.CurrentDatabase
' 引数を取得
arg = s.DocumentContext.Query_String_Decoded(0)
p1 = InStr( arg, "&" )
If p1 = 0 Then
    tmpMsg = "引数が指定されていません。"
    Print tmpMsg
    Exit Sub
Else
    ' ユーザー名を取得
    usr = StrRightBack( arg, "usr=" )
    ' 参照先文書の Note ID を取得
    nid = StrLeftBack( StrRightBack( arg, "&nid=" ), "&usr=" )
    ' 参照先文書のユニバーサル ID を取得
    uid = StrLeftBack( StrRightBack( arg, "&uid=" ), "&nid=" )

```

```

End If
' メールを送信
Dim memo As New NotesDocument( db )
memo.Form = "Memo"
If usr = "" Then
    Exit Sub
Else
    memo.SendTo = usr
End If
If nid <> "" Then
    Set doc = db.GetDocumentByID( nid )
    If doc Is Nothing Then
        Print "文書が見つかりません"
        memo.Subject = "文書が見つかりません"
        Call memo.Send(False)
        Exit Sub
    End If
    memo.Subject = "Message from LotusScript sample agent"
    Set richTextItem = New NotesRichTextItem( memo, "Body" )
    Call richTextItem.AppendText( "カテゴリ: " + doc.Categories(0) )
    Call richTextItem.AddNewLine( 1 )
    Call richTextItem.AppendText( "題名: " + doc.Subject(0) )
    Call memo.Send(False)
End If
End Sub

```

フォームで引数を取得する

「「アプリ設定」文書の作成」の「アクション情報」の「実行方式」で、「該当アプリの URL を指定する」を選択した場合、エージェントだけで無くフォームも開くことができます。本項では、既存のフォームを改造したり新規に作成したりする際の引数取得のポイントをご紹介します。

以下は、ユニバーサル ID (uid)、Note ID (nid)、ユーザー名 (usr) を引数とした URL で開くフォームです。

1. 入力チェックや値の計算を Web ブラウザ用に作成したフォームを用意します。
2. 用意したフォームに以下の表示用の計算結果テキストフィールドを追加します。これらのフィールドが非表示とします。

- Query_String_Decoded

値: Query_String_Decoded

- uid

値: @LeftBack(@RightBack(Query_String_Decoded; "&uid="); "&nid=")

- nid

値: @LeftBack(@RightBack(Query_String_Decoded; "&nid="); "&usr=")

- usr

値: @RightBack(Query_String_Decoded; "&usr=")

3. フォームのフィールドなど計算式において、これらの値を元に処理を記述してください。

カスタムの編集用フォーム

smaconne による文書の新規作成や編集の機能で不足な場合、「元のアプリで、フォームを指定して新規文書作成モードで開く」や「元のアプリで、文書を直接編集モードで開く」等をご利用ください。「元のアプリで、文書を直接編集モードで開く」に記載している機能は、Web ブラウザでの編集用フォームとビューを併せて新規作成して設定するものです。手順は以下の通りです。

1. 入力チェックや値の計算を Web ブラウザ用に作成したフォームを用意します。
 2. [フォームの式] で 1. のフォームを指定したビューを新規に作成します。
 3. 「[アプリ設定] 文書の作成」の「アクション情報」の[ボタン・ラベル名]に任意の値（例えば、「編集」）を入力して、[実行方式] で「元のアプリで、文書を直接編集モードで開く」を選択します。
 4. [実行するエージェント/URL 等] に、2. で作成したビューを指定して、文書を保存します。
- ⇒ もしコンボボックスに 2. で作成したビュー名が表示されない場合は、アクションバーの[更新] ボタンをクリックしてください。

カスタムフォームのデザイン

引数を取得するフォームや編集用フォームを作成するにあたって、smaconne とページデザインを統一される場合、smaconne 用のスタイルシートをご利用いただいても結構です。スタイルシートの URL は以下の通りです。

```
http://ホスト名 (FQDN) /sdcnctr.nsf/jquery.mobile.structure-1.4.5.min.css
http://ホスト名 (FQDN) /sdcnctr.nsf/pub.min.css
```

※ ホスト名 (FQDN) は、smaconne がインストールされている Domino サーバーのもので。

smaconne のスタイルシートを使用する場合は、フォームやページの[HTML Head Content]に以下のように指定します。以下の例は、対象となる Notes アプリが smaconne と同じ Domino サーバーにインストールされている場合のもので。なお、「meta」変数の内容も smaconne のものを踏襲したもので、format-detection は無くても結構です。

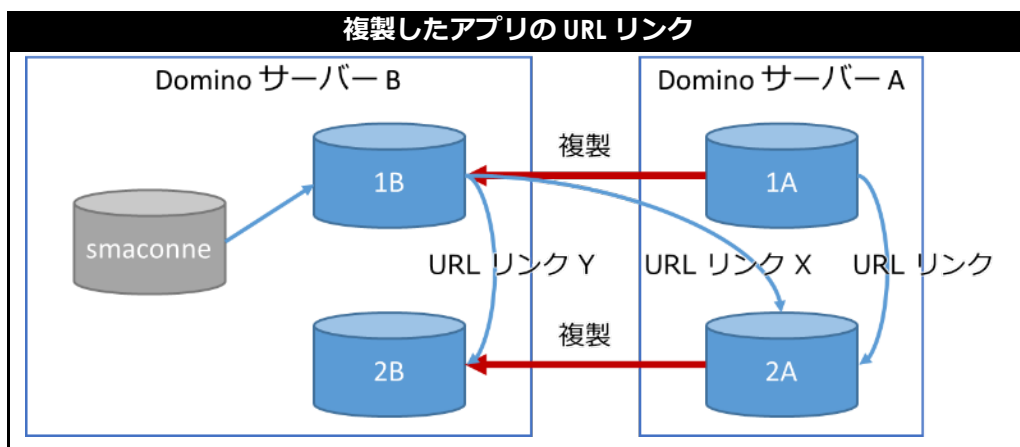
```
meta := "<meta charset=¥"UTF-8¥">"
+ "<meta name=¥"format-detection¥" content=¥"telephone=no¥">"
+ "<meta name=¥"viewport¥" content=¥"width=device-width, initial-scale=1, user-
scalable=no, shrink-to-fit=no¥" />";
css := + "<link rel=¥"stylesheet¥" href=¥"/sdcnctr.nsf/jquery.mobile.structure-
1.4.5.min.css¥" />"
+ "<link rel=¥"stylesheet¥" href=¥"/sdcnctr.nsf/pub.min.css¥" />";
meta + css
```

URL 変換設定

前章の「文書リンク」の項に記載のように smaconne では文書リンク/ビューリンク/アプリケーションリンクを HTML リンクに自動変換して Web ブラウザでも利用できるようにしています。ただし、これは Notes で作成された文書リンク/ビューリンク/アプリケーションリンクに関するもので、Domino Web クライアント・アクセスや XPages で作成された URL による文書リンク/ビューリンク/アプリケーションリンクは対象外です。

URL 変換設定は、この URL によるリンクを任意の URL リンクに変換するものです。

例えば、右図のように Domino サーバー A と Domino サーバー B があり、Domino サーバー A は Domino サーバー B とセグメントが異なっていたり、セキュリティ的に Domino サーバー B から直接アクセス禁止にしたりすることによって、smaconne から Domino サーバー A へアクセスできないものとします。



このような場合、Domino サーバー A から Domino サーバー B へ必要なアプリを複製して smaconne からアクセスできるようにします。

さらに、複製前のアプリ 1A はアプリ 2A の文書へ URL でリンクしているとします。

複製後のアプリ 1B で上記の URL リンクは、複製前のアプリ 2A へそのままリンクしています (URL リンク X)。しかし、Domino サーバー A へはアクセスできないので、複製後のアプリ 2B へ URL リンク Y としてリンクできるようにするものが、URL 変換設定です。

URL 変換設定は smaconne 内で共通に適用されます。また、URL 変換設定は smaconne の JavaScript の中で動きます。このため、**構文等に誤りがあると、smaconne が正常に動作しなくなる恐れがありますので、利用の際には十分ご注意ください。**

ちなみに、Notes で作成された文書リンク/ビューリンク/アプリケーションリンクでしたら、smaconne で変換する際に複製先のアプリでリンク先を開くことができますので、URL 変換設定は不要です。

「URL 変換設定」ビュー

画面左のナビゲーションメニューで、[URL 変換設定] ボタンをクリックすると、「URL 変換設定」ビューが表示されます。

「URL 変換設定」ビューでは、文書は作成順に並び、「並び順」が設定されていればその昇順で並びます。smaconne で URL を変換する際には、このビューで表示されている順番に設定を適用します。ビューの列見出しをクリックするとその列で昇順/降順に並べ替えることができます。

また、「URL 変換設定」ビューでは以下の操作ができます。

▼ 選択した設定を使用する

ビューで文書を選択して、このアクションボタンをクリックすると、それらの設定が有効となり、smaconne で文書を表示する時にその設定が読み込まれます。

▼ 選択した設定を使用しない

ビューで文書を選択して、このアクションボタンをクリックすると、それらの設定が無効となり、smaconne で文書を表示する時にその設定は読み込まれません。

▼ Excel 読み込み

Excel ファイルから「URL 変換設定」文書を作成して追加します（既存の URL 変換設定文書を上書きすることはありません）。

入力項目は、「この設定を使用しない」「並び順」「設定メモ」「変換前 URL」「変換後 URL」の5つです。「この設定を使用しない」場合は「1」を入力してください。

▼ Excel 書き出し

「URL 変換設定」文書を Excel ファイルに保存します。



「URL 変換設定」文書を作成/編集する

「URL 変換設定」ビューで「新規作成」ボタンをクリックすると、新規の「URL 変換設定」文書が編集モードで開きます。

既に「URL 変換設定」文書が設定されている場合、ビューで該当の文書を選択して「編集」ボタンをクリックするか、または該当文書を開いて「編集」ボタンをクリックすると、編集モードになります。

なお、「URL 変換設定」文書数が多いとリッチテキストフィールドを表示するのに時間がかかる恐れがありますので、ご注意ください。

▼ 設定メモ

任意に入力してください。

▼ 並び順

半角の数値を入力してください。

▼ この設定を使用しない

チェックボックスを ON にすると、この「URL 変換設定」文書は文書リンクの URL 変換対象外となります。

「URL 変換設定」文書では、以下の例のように変換前の URL と変換後の URL を設定することができます。

いずれの URL にも例を参考にして、HTML の a



タグの src オプションに指定される値を JavaScript の正規表現で指定してください。

例 1: 従来の Domino Web クライアント・アクセス用 (XPages でない) の URL リンクの場合

Domino サーバーA (intra.sample.co.jp) の URL リンク

```
<a
href="http://intra.sample.co.jp/sample.nsf/viewname/xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
xx?OpenDocument">
```

※ xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx は任意の文書 ID (ユニバーサル ID)

を、Domino サーバーB (www.sample.co.jp) の URL リンク Y

```
<a
href="http://www.sample.co.jp/sdcnctr.nsf/fmMobileForm?OpenForm&ParentUNID=yyyyyyyy
yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyy&UID=xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx?OpenDocument">
```

※ yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyy は Domino サーバーB の smaconne に登録してあるアプリ 2B の「アプリ設定」文書の文書 ID (ユニバーサル ID)

に変換する場合

▼ 変換前 URL

上記例 1 の場合、以下のように入力します。

```
http://intra.sample.co.jp/sample.nsf/[w]{1,32}/([w]{32})
```

▼ 変換後 URL

上記例 1 の場合、以下のように入力します。

```
http://www.sample.co.jp/sdcnctr.nsf/fmMobileForm?OpenForm&ParentUNID=yyyyyyyyyyyyyy
yyyyyyyyyyyyyyyyyyyy&UID=$1
```

例 2: XPages 用のユニバーサル ID による URL リンクの場合

Domino サーバーA (intra.sample.co.jp) の URL リンク

```
<a href="
http://intra.sample.co.jp/sample.nsf/document.xsp?documentId=xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
xxxxxxxx&action=openDocument">
```

※ xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx は任意の文書 ID (ユニバーサル ID)

を、Domino サーバーB (www.sample.co.jp) の URL リンク Y

```
<a
href="http://www.sample.co.jp/sdcnctr.nsf/fmMobileForm?OpenForm&ParentUNID=yyyyyyyy
yyyyyyyyyyyyyyyyyyyy&UID=xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx">
```

※ yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyy は Domino サーバーB の smaconne に登録してあるアプリ 2B の「アプリ設定」文書の文書 ID (ユニバーサル ID)

に変換する場合

▼ 変換前 URL

上記例 2 の場合、以下のように入力します。

```
http://intra.sample.co.jp/sample.nsf/document.xsp?documentId=([w]{32})&
amp;action=openDocument
```

▼ 変換後 URL

上記例 2 の場合、以下のように入力します。

```
http://www.sample.co.jp/sdcnctr.nsf/fmMobileForm?OpenForm&ParentUNID=yyyyyyyyyyyyyy
yyyyyyyyyyyyyyyyyyyy&UID=$1
```

例 3: XPages 用の Note ID による URL リンクの場合

Domino サーバー A (intra.sample.co.jp) の URL リンク

```
<a href="
http://intra.sample.co.jp/sample.nsf/document.xsp?documentId=xxxx&action=openDocum
ent">
```

※ xxxx は任意の文書 ID (Note ID)

を、Domino サーバー B (www.sample.co.jp) の URL リンク Y

```
<a
href="http://www.sample.co.jp/sdcnctr.nsf/fmMobileForm?OpenForm&ParentUNID=yyyyyy
yyyyyyyyyyyyyyyyyyyy&UID=&NID=xxxx">
```

※ yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyy は Domino サーバー B の smaconne に登録してあるアプリ 2B の「アプリ設定」文書の文書 ID (ユニバーサル ID)

に変換する場合

▼ 変換前 URL

上記例 3 の場合、以下のように入力します。

```
http://intra.sample.co.jp/sample.nsf/document.xsp?documentId=([w]{4})&
&action=openDocument
```

▼ 変換後 URL

上記例 3 の場合、以下のように入力します。

```
http://www.sample.co.jp/sdcnctr.nsf/fmMobileForm?OpenForm&ParentUNID=yyyyyyyyyyyyyy
yyyyyyyyyyyyyyyyyyyy&UID=&NID=$1
```

例 4: Redirect&Name 引数がある場合の変換

上記の例とは異なりますが、インターネットサイト文書またはサーバー文書の「Domino Web Engine」タブで「外部リンク解決のためのリダイレクト」を[サーバー別]または[アプリ別]に設定して、Redirect URL コマンドを有効にしている環境で smaconne で変換されない場合は、以下のように設定してください。

Domino サーバー A (intra.sample.co.jp) の URL リンク

```
<a
href="http://intra.sample.co.jp/sample.nsf/viewname/xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
xx?Redirect&Name=CN%3Dwww%2F%3Dsample">
```

※ xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx は任意の文書 ID

を、Domino サーバー B (www.sample.co.jp) の URL リンク Y

```
<a
href="http://www.sample.co.jp/sdcnctr.nsf/fmMobileForm?OpenForm&ParentUNID=yyyyyy
yyyyyyyyyyyyyyyyyyyy&UID=xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx">
```

※ yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyy は Domino サーバー B の smaconne に登録してあるアプリ 2B の「アプリ設定」文書の文書 ID

に変換する場合

▼ 変換前 URL

上記例 4 の場合、以下のように入力します。以下の内容は、元の URL が一旦 smaconne で URL 変換された後の URL となっています。

```
(http:¥/¥/intra¥.sample¥.co¥.jp¥/sdcnctr¥.nsf¥/fmMobileForm¥?OpenForm&ParentUNID=[¥w]{32}&UID=[¥w]{32})¥?Redirect&Name=CN%3Dwww%2FO%3Dsample
```

▼ 変換後 URL

上記例 4 の場合、以下のように入力します。

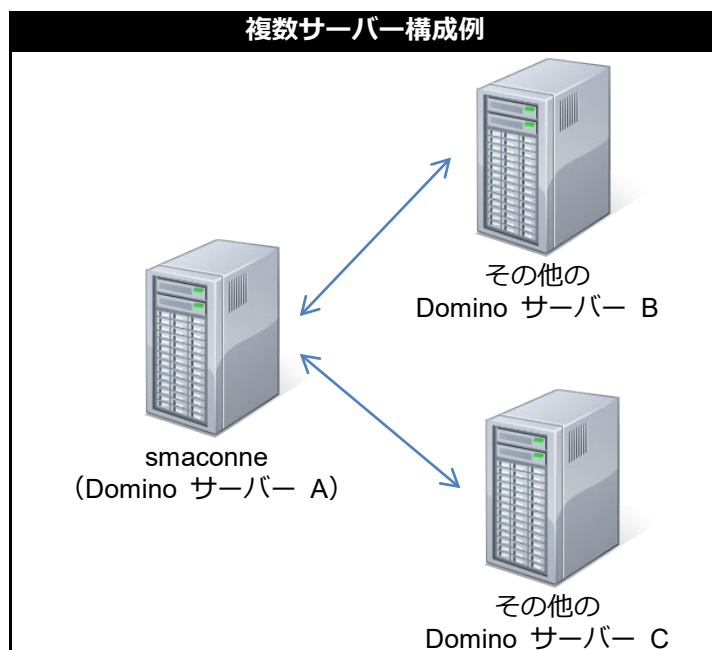
```
$1
```

複数の Domino サーバーを利用する場合のサーバー設定

smaconne は複数の Domino サーバーで構成されている Notes ドメインでも 1 つの Domino サーバーにインストール/セットアップすれば、ほかの Domino サーバーに格納されている Notes アプリを利用することができます。

このような複数サーバー構成で smaconne をご利用になるためのサーバー設定を、右図を例に以下にご紹介します。

なお、smaconne からほかの Domino サーバーに格納されている Notes アプリを利用する際には、**それらの Domino サーバーはすべて稼働していることが必要**です。右図であれば、その他の Domino サーバー B またはその他の Domino サーバー C のいずれかが稼働していない場合、**Domino コンソールに以下のログが記録されて、smaconne のアプリ一覧ページが表示されません**ので、ご注意ください。



2017/XX/XX XX:XX:XX サーバー: YYYYYYYY への接続でエラーがありました。サーバーが応答しません。

※ YYYYYYYY は Domino サーバー名

サーバー文書の設定

smaconne がインストールされている Domino サーバーA からその他の Domino サーバーB や C に格納されている Notes アプリにアクセスできるように許可する必要があります。

この設定は、Domino サーバーB および C のサーバー文書それぞれで実施します。

1. 管理者アカウントで、Domino Administrator を起動します。
2. 該当（ここでは Domino サーバーB または C）のサーバー文書を編集モードで開きます。
3. [セキュリティ] タブの [信頼できるサーバー] に、smaconne がインストールされている Domino サーバー A を追加します。
4. サーバー文書を保存して閉じます。
5. サーバー文書を変更した Domino サーバーを再起動します。

もし、Domino サーバーB または C のエージェント等から smaconne アプリへアクセスして値を取得等する場合は、上記のサーバー文書の設定は smaconne がインストールされている Domino サーバーA でも実施（Domino サーバーA のサーバー文書の [信頼できるサーバー] に Domino サーバーB または C を追加）してください。

Web サイトルール文書の設定

smaconne がインストールされていない Domino サーバーB や C に格納されている Notes アプリの文書の内容を

smaconne で再現するようにするためには、Web サイトルール文書を設定する必要があります。

Web サイトルール文書はインターネットサイト文書から作成します。インターネットサイト文書が設定されていない場合は、Domino Administrator ヘルプを参照の上、インターネットサイト文書を設定された上で、以下を実施してください。

以下は、Domino サーバーB で Web サイトルール文書を新規に作成して設定する例です。

1. 管理者アカウントで、Domino Administrator を起動します。
2. 該当（ここでは Domino サーバーB）のインターネットサイト文書を開きます。
3. アクションバーの [Web サイト...] - [ルールの作成] ボタンをクリックします。
4. [基本] タブの [基本] に、以下を入力します。

説明	Access control headers for smaconne ^{※1}		
ルールの種類	HTTP 応答ヘッダー		
受け取る URL パターン	*		
HTTP 応答コード	200, 206		
ヘッダーの有効期限	アプリがなければヘッダーのみ追加 日数として指定 有効期限 5 日後に無効		
カスタムヘッダー	いずれも上書きチェックボックスはチェック無し		
	名前	Access-Control-Allow-Origin	値 http://ホスト名 (FQDN) ^{※2}
	名前	Access-Control-Allow-Credentials	値 true
	名前	(空)	値 (空)

※1: 任意

※2: ホスト名 (FQDN) は、smaconne がインストールされている Domino サーバーのもので（ここでは Domino サーバーA）。SSL で接続している場合は、「https」で入力してください。

5. Web サイトルール文書を保存して閉じます。
6. Web サイトルール文書を変更した Domino サーバー（ここでは Domino サーバーB）の http タスクを再起動します (tell http restart)。

複数サーバーのシングルサインオン (SSO) の設定

smaconne へは http/https プロトコルでアクセスしますので、複数の Domino サーバーで利用する際に、複数サーバーのセッションベース認証 (シングルサインオン) の設定をしておかないと、別サーバー（ここでは Domino サーバーB や C）の Notes アプリの埋め込み画像が表示されなかったり、別サーバーの Notes アプリの添付ファイルをダウンロードする際に別途ログインが必要になったりします。

これを回避するためには、対象となる全ての Domino サーバー（ここでは Domino サーバーA および B および C）

で、それぞれサーバーがシングルサインオンに参加できるように設定することが必要です。

シングルサインオンの設定手順は Web サイト文書を利用している場合とそうでない場合とでは異なります。詳細につきましては、Domino Administrator のヘルプをご参照ください。

複数サーバーでの参照先アプリの ACL 設定

smaconne のビュー検索はエージェントにて実行していますので、smaconne がインストールされていない別サーバー（ここでは Domino サーバー B や C）の Notes アプリの ACL に smaconne がインストールされている Domino サーバー（ここでは Domino サーバー A）を「読者」以上のアクセス権でエントリーしてください。

smaconne のアクセスログ取得

iPhone や iPad、Android デバイスなどのスマートデバイスや PC の Web ブラウザから、どの Notes アプリをどの程度利用しているかを知ることによって、smaconne に登録する Notes アプリの取捨選択やアプリ一覧ページのタブ構成や並び順等の検討が捗ります。

smaconne は Domino Web アプリですので、smaconne へのアクセスはすべて Domino Web サーバーログに記録されます。Domino Web サーバーログは Notes アプリ (DOMLOG.NSF) に記録する方法とテキストファイルに記録する方法のいずれかを選択することができます。Domino Web サーバーログの詳細については、Domino Administrator ヘルプの「Domino Web サーバーログ (DOMLOG.NSF)」や「Domino Web サーバーログをテキストファイルに記録する」等をご参照ください。

また、smaconne から参照先の Notes アプリへのアクセスは実際のアクセスユーザー名で記録されますので、通常の Notes アプリと同様各 Notes アプリの「ユーザーの使用状況」もご利用いただけます。

上記以外に「smaconne アクセスログ」アプリを利用する方法をご紹介します。

「smaconne アクセスログ」アプリの概要

「smaconne アクセスログ」アプリは smaconne 専用にアクセスログを記録する Notes アプリです。アクセスしたユーザー名や日時、URL 等基本的な事項のほか、一般的なアクセスログでは取得しづらい Notes アプリ名やページタイトル等も記録します。

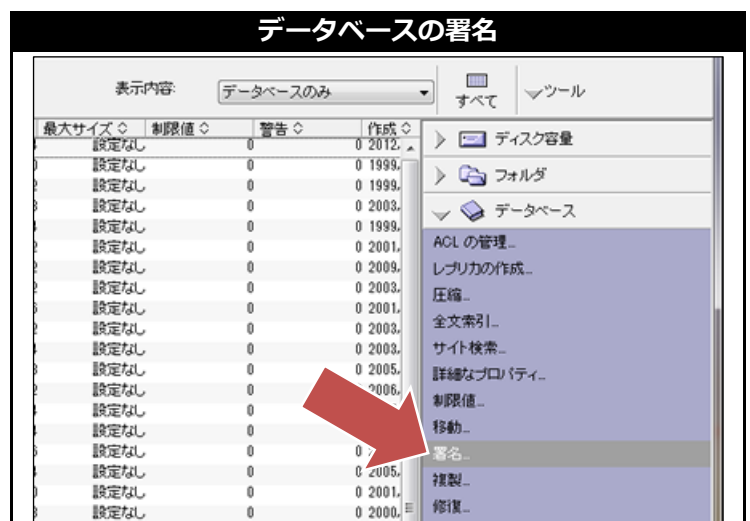
アクセスログは smaconne からの書き込み専用で、「smaconne アクセスログ」アプリ内で編集することはできません。また、ビューで文書をペーストすることも基本的に禁止しています。

「smaconne アクセスログ」アプリは設計情報公開で提供しますので、アクセスログの解析をし易いようにビューを変更したり追加したりしていただいても構いません。ただし、「(By Remote_User) | vwByRemoteUser」ビューはアプリ一覧ページの「履歴」タブを表示するために利用していますので、変更/削除しないでください。また、「smaconne アクセスログ」アプリの著作権は株式会社ベストコミュニケーションズに帰属します。

「smaconne アクセスログ」アプリの作成

「smaconne アクセスログ」テンプレートを元に、既定の場所に新規にアプリを作成します。

1. 「smaconne アクセスログ」テンプレートを、Notes (ローカル) のデータディレクトリにコピーします。
2. Notes/Domino システム管理者のアカウントで、Domino Administrator を起動します。このアカウントは、Domino サーバー上でエージェントの実行権限が付与されている必要があります。
3. [ファイル] タブをクリックして開きます。
4. [表示内容] を「テンプレートのみ」に変更します。
5. 1. でコピーした「smaconne アクセスログ」



テンプレートをクリックします。

6. [ツール] ペインで、[データベース] - [署名...] をクリックします。
7. 「データベースの署名」ダイアログで、オプションはデフォルトのまま、[OK] ボタンをクリックします。
8. ステータスバーに「1 アプリ処理しました。0 エラー。」と表示されたことを確認します。
9. [ファイル(F)] メニューから [アプリケーション (T)] - [作成(N)...] をクリックします。
10. 「新規アプリケーション」ダイアログで、以下の通りオプションを設定します。

- 新規アプリケーションと場所の指定

- サーバー: smaconne がインストールされている Domino サーバー名
- タイトル: smaconne アクセスログ
- ファイル名: smalog.nsf

※ データ・ディレクトリの直下に作成してください。

- 新規アプリケーションのテンプレートの設定

- サーバー: Local
- テンプレート: smaconne アクセスログ

11. [OK] ボタンをクリックします。

ご利用の Domino サーバー上に、「smaconne アクセスログ」アプリ (smalog.nsf) が作成されたことをご確認ください。

「smaconne アクセスログ」アプリの ACL 設定

作成した「smaconne アクセスログ」アプリに ACL を設定します。

なお、「smaconne アクセスログ」アプリの ACL にロールはありません。

ACL 設定例

▼ - Default -

- 種類: 指定なし
- アクセス権: なし
- オプション権限: 全て OFF

▼ Anonymous

- 種類: 指定なし (ユーザーでも可)
- アクセス権: なし
- オプション権限: 全て OFF

▼ サーバー

- 種類: サーバー
- アクセス権: 管理者
- オプション権限: 全て ON

▼ データベース管理者

- 種類: ユーザーまたはユーザーグループ
- アクセス権: 管理者
- オプション権限: 全て ON

▼ 一般の利用者

- 種類: ユーザーまたはユーザーグループ
- アクセス権: 作成者
- オプション権限: [文書の作成] のみ ON

ビュー

「smaconne アクセスログ」文書を表示するビューには、以下の6つがあります。

「日付別」ビュー

年/月/日別の降順、時間の降順に一覧表示します。

「Notes アプリ別」ビュー

Notes アプリ別の昇順、日時の降順に一覧表示します。

「ページ別」ビュー

ページタイトル別の昇順、日時の降順に一覧表示します。

「ユーザー別」ビュー

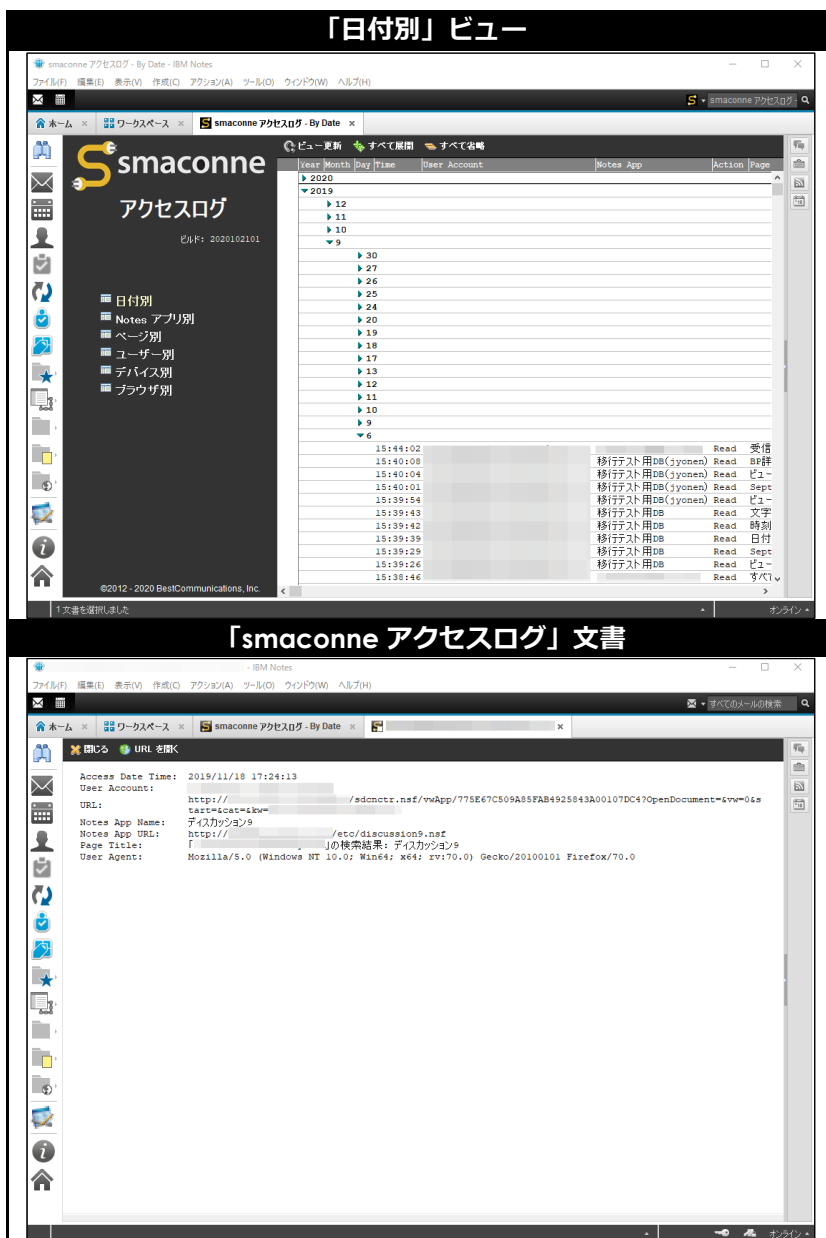
ユーザー名（共通名部分）別の昇順、日時の降順に一覧表示します。

「デバイス別」ビュー

ブラウザ/PWA の別、デバイス別の昇順、日時の降順に一覧表示します。

「ブラウザ別」ビュー

ブラウザ/PWA の別、ブラウザ別の昇順、日時の降順に一覧表示します。



アクセスログの取得

「smaconne アクセスログ」アプリにアクセスログを記録する場合は、「基本設定」の「アクセスログ設定」で「アクセスログを取得する」チェックボックスを ON にします。

「アクセスログを取得する」チェックボックスを OFF にすると、「smaconne アクセスログ」アプリへのアクセスログ記録を停止します。

「smaconne アクセスログ」アプリの管理

「smaconne アクセスログ」アプリは Notes アプリですので、データベースのサイズが大きくなるとパフォーマンスに影響を及ぼす可能性があります。一般的な Notes アプリと同じように定期的にアーカイブしたり文書を削除したりするなどして、「smaconne アクセスログ」アプリのサイズが大きくなり過ぎないように管理してください。

マルチデバイスで Cookie 情報を共有

iPhone や iPad、Android デバイスなどのスマートデバイスや PC の Web ブラウザなどいろいろなデバイスで smaconne を利用する際に、フォントサイズやカレンダーオーバーレイ等設定した情報を引き継ぎたいケースがあります。

また、セキュアブラウザ製品で smaconne を利用する場合、これら製品を終了したりログアウトしたりする毎にフォントサイズやカレンダーオーバーレイ等設定した情報は消去されてしまいますので、セキュアブラウザを起動し直した際にフォントサイズやカレンダーオーバーレイ等を再度設定し直すことを避けたいケースもあります。

smaconne では「smaconne ユーザー設定」アプリ（smaUserSettings.nsf）を利用することで、これらを可能とします。

「smaconne ユーザー設定」アプリの概要

「smaconne ユーザー設定」アプリは smaconne を利用する際に生成される Cookie を記録したり呼び出したりするための Notes アプリです。利用者が smaconne 内で Cookie を利用した際に、smaconne はこのアプリに Cookie が生成された日時やユーザー名、Cookie の名前と値を記録します。また、利用者が smaconne にアクセスした際にフォントサイズやカレンダーオーバーレイ等の Cookie が無い場合、あるいは別の Web ブラウザでアクセスした場合、smaconne はこのアプリからユーザー名と Cookie 名をキーに Cookie の値を取得します。

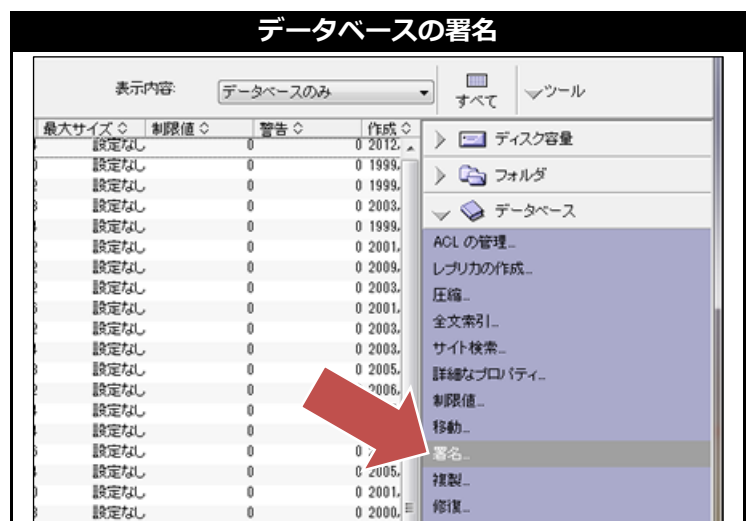
smaconne は「smaconne ユーザー設定」アプリがある場合は自動で Cookie を記録したり呼び出したりしますので、この機能を利用したい場合はこのアプリを作成し、利用しない場合はこのアプリを作成しないか削除するだけです。

カレンダーのオーバーレイ機能およびブックマーク機能を利用する場合は、「smaconne ユーザー設定」アプリが必要です（「smaconne ユーザー設定」アプリがインストールされていれば、いずれも自動で利用できるようになります）。

「smaconne ユーザー設定」アプリの作成

「smaconne ユーザー設定」テンプレートを元に、既定の場所に新規にアプリを作成します。

- 「smaconne ユーザー設定」テンプレートを、Notes（ローカル）のデータディレクトリにコピーします。
- Notes/Domino システム管理者のアカウントで、Domino Administrator を起動します。このアカウントは、Domino サーバー上でエージェントの実行権限が付与されている必要があります。
- 「ファイル」タブをクリックして開きます。
- 「表示内容」を「テンプレートのみ」に変更します。
1. でコピーした「smaconne ユーザー設定」テンプレートをクリックします。
- 「ツール」ペインで、[データベース] - [署名...] をクリックします。



7. 「データベースの署名」ダイアログで、オプションはデフォルトのまま、[OK] ボタンをクリックします。
8. ステータスバーに「1 アプリ処理しました。0 エラー。」と表示されたことを確認します。
9. [ファイル(F)] メニューから [アプリケーション (T)] - [作成(N)...] をクリックします。
10. 「新規アプリケーション」ダイアログで、以下の通りオプションを設定します。

- 新規アプリケーションと場所の指定

- サーバー: smaconne がインストールされている Domino サーバー名
- タイトル: smaconne ユーザー設定
- ファイル名: smaUserSettings.nsf

※ データ・ディレクトリの直下に作成してください。

- 新規アプリケーションのテンプレートの設定

- サーバー: Local
- テンプレート: smaconne ユーザー設定

11. [OK] ボタンをクリックします。

ご利用の Domino サーバー上に、「smaconne ユーザー設定」アプリ (smaUserSettings.nsf) が作成されたことをご確認ください。

「smaconne ユーザー設定」アプリの ACL 設定

作成した「smaconne ユーザー設定」アプリに ACL を設定します。

ロールについて

「smaconne ユーザー設定」アプリの ACL で使用しているロールは、以下の 1 つです。

- [Admin]

システム管理者向けのロールです。

ACL 設定例

▼ - Default -

- 種類: 指定なし
- アクセス権: なし
- オプション権限: 全て OFF
- ロール: なし

▼ Anonymous

- 種類: 指定なし (ユーザーでも可)
- アクセス権: なし
- オプション権限: 全て OFF
- ロール: なし

▼ サーバー

- 種類: サーバー
- アクセス権: 管理者
- オプション権限: 全て ON
- ロール: [Admin]

▼ データベース管理者

- 種類: ユーザーまたはユーザーグループ
- アクセス権: 管理者
- オプション権限: 全て ON
- ロール: [Admin]

▼ 一般の利用者

- 種類: ユーザーまたはユーザーグループ
- アクセス権: 編集者
- オプション権限: 「文書の削除」を ON
- ロール: なし

ビュー

「smaconne ユーザー設定」文書を表示するビューには、以下の2つがあります。
なお、ブックマーク用のビューは提供していません。

「ユーザー別」ビュー

ユーザー名（共通名部分）別の昇順、Cookie 名の昇順に一覧表示します。

「Cookie 名別」ビュー

Cookie 名別の昇順、ユーザー名（共通名部分）の昇順に一覧表示します。

PWA として利用するための設定

PWA とはプログレッシブ Web アプリ（Progressive Web App）の略で、Web アプリをネイティブアプリのようにアプリとしてインストールして使えるようにする仕組みです。概要については以下のページをご覧ください。

- Progressive Web Apps

<https://web.dev/progressive-web-apps/>

特徴は、筆者によっていろいろ違いがありますが、大まかに共通して以下となります。

▼ インストールしてアプリのように使える

スマートデバイスではホーム画面に、PC や Mac ではデスクトップにアイコンを設置できます。

また、Web ブラウザのメニューバーを非表示にするので、ネイティブアプリのように使うことができます。

▼ 表示が速いので閲覧時のストレスがない

キャッシュ機能の利用が可能になるので、ページの表示速度が早くなり、ユーザーはストレスなく利用できます。

記事によっては「オフラインで利用できる」や「プッシュ通知ができる」という特徴を記載しているものがありますが、smaconne では以下の理由によりこれらの機能を提供していません。

▼ オフラインで利用できない理由

最も大きな理由はセキュリティを担保するために Domino Web サーバーへのログインを必須とするためです。

PWA の特徴はキャッシュ機能にありますが、業務データをすべてローカルにキャッシュすることはビジネス的には許容できませんので、キャッシュするのは業務データ以外の smaconne の部品等に限定しています。

また、iOS や iPadOS ではキャッシュのデータ容量が制限されていますので、キャッシュ対象は必要最低限としています。

▼ プッシュ通知ができない理由

iOS や iPadOS が対応していないので、実装していません。

ちなみに、PWA のデメリットに「インストールの管理ができない」という指摘がありますが、「smaconne アクセスログ」アプリでは「デバイス別」ビューや「ブラウザ別」ビューで PWA からのアクセスを把握することができます。もし、smaconne を PWA としてご利用になって、かつどのデバイスや Web ブラウザで PWA として利用しているかを管理されたい場合は、PWA に対応する「smaconne アクセスログ」アプリをインストールするかアップデートしてご利用ください。

それから、PWA はネイティブアプリのように動作するという仕様からシングルウィンドウのみで動作します（複数のタブやウィンドウはありません）。smaconne の「基本設定」の「iPad/PC ブラウザ動作設定」で、[ビューページや文書の参照ページを別タブ（別ウィンドウ）で開く] チェックボックスを ON に設定していても、PC や iPad で PWA としてご利用になる場合はシングルウィンドウのみで動作します。

なお、セキュアブラウザを利用されていたり、セキュリティポリシーでアプリのインストールを禁止されていたりする場合は、本章の記載内容を設定しなければ従来の Web アプリとして smaconne をご利用いただけます。smaconne を PWA としてご利用になることは選択肢の一つと捉えてください。

サポート対象 Web ブラウザ

smaconne を PWA として利用する場合にサポート対象となる Web ブラウザは以下の通りです。

▼ Android デバイス

- Google Chrome バージョン 86 以降

▼ iPhone/iPad

- iOS/iPadOS バージョン 14.0 以降の Safari

▼ Windows PC、Mac

- Google Chrome バージョン 86 以降

PWA として利用するために必要な設定

smaconne を PWA 対応版にアップデートしていただいた上で PWA として利用するために必要な設定は以下の 4 つです。

- Domino サーバーで SSL を設定
- Anonymous のアクセス権限を変更
- すべての Notes アプリ設定文書の「プロトコル」を「https」に設定
- 基本設定で PWA の利用を許可

以降、これらについてご紹介します。

Domino サーバーで SSL を設定

「Domino Administrator ヘルプ」を参考に Domino サーバーで SSL を設定してください。

▼ Domino サーバーで SSL を設定する (Domino 9.0.1 Social Edition Administrator ヘルプ)

https://www.bcom.co.jp/help/help9_admin.nsf/855dc7fcfd5fec9a85256b870069c0ab/591a42d4c1bbfa6d48257bee00234f2a!OpenDocument

- ※ PWA の仕様により https と http の混在は禁止されています。即ち、smaconne から複数の Domino サーバーに配置されている Notes アプリにアクセスする場合は、それらの Domino サーバーすべてで SSL を設定する必要があります。
- ※ また、Google Chrome や Edge (Chromium 版) では https ページ内にある http コンテンツ (Mixed Content/ 混合コンテンツ) をブロックする仕様となっています。このため、PWA を利用しなくとも Google Chrome で smaconne へ https アクセスする場合、smaconne から利用する Notes アプリを配置しているすべての Domino サーバーに SSL を設定してください。

その際に、PWA に必要なマニフェストファイルは Basic/Digest 認証を通過できないことと同一オリジンでなければならないことという仕様に沿うため、以下を設定してください。この設定は smaconne がインストールされている Domino サーバーのみが対象です。

- インターネットサイト文書の [セキュリティ] タブで、「SSL 認証」の「匿名」を「いいえ」にしてください。
- ご利用の Domino サーバーの notes.ini に以下のパラメーターを追加して、Domino サーバーを再起動してください。

```
HTTPPublicUrls=/sdcnctr.nsf/manifest.json
```

smaconne から複数の Domino サーバーに配置されている Notes アプリにアクセスする場合は、「複数の Domino サーバーを利用する場合のサーバー設定」に記載の Web サイトルール文書の設定を実施してください。また、その際には併せて各 Domino サーバーのインターネットサイト文書の「セキュリティ」タブで「TCP から SSL へのリダイレクト」を「はい」にしてください。

Anonymous のアクセス権限を変更

smaconne のマニフェストファイルを認証無しで読めるようにするために、smaconne アプリの ACL で「Anonymous」のオプション権限「パブリック文書[読者]」チェックボックスを ON にしてください。

※ 「Anonymous」のアクセス権は「なし」のままです。

※ smaconne でパブリックアクセスユーザーの使用を許可している設計要素はマニフェストファイル (manifest.json) のみです。

すべての Notes アプリ設定文書の「プロトコル」を「https」に設定

Notes で smaconne アプリを開いて、すべての Notes アプリ設定文書の基本情報で「プロトコル」を「https」に設定して保存してください。

基本設定で PWA の利用を許可

Notes で smaconne アプリを開いて、「基本設定」文書の「PWA (Progressive Web App)」で「PWA の利用を許可する」チェックボックスを ON にして保存してください。

このチェックボックスが OFF の場合、smaconne のマニフェストファイル (manifest.json) が読み込まれず、Service Worker は動作しませんので、smaconne を PWA としてインストールすることはできません。

Excel 連携

通常 Excel ファイルを smaconne で使えるようにするためには以下の手順を踏みます。

1. データを格納するための Notes アプリを作る
2. Notes アプリに Excel データを読み込む
3. Notes アプリを smaconne に登録する

この中で 1.はフォームとビューを 1 つずつ作るとしても、2.は Notes の「呼び出し...」メニューを使って読み込むことができず一手間かかってしまいます。

そのため、Excel ファイルをアップロードすると、自動で Notes アプリ化して、Notes アプリに Excel データを登録して、smaconne で使えるようにする（Notes アプリを smaconne に登録する）機能を「Excel 連携」機能として提供します。

「Excel 連携」機能は、「smaconne Excel 連携」アプリ（smaDXcel.nsf）と「smaconne デフォルトアプリ」テンプレート（smaDefaultApp.ntf）を利用します。

「smaconne Excel 連携」アプリと「smaconne デフォルトアプリ」テンプレートの概要

「smaconne Excel 連携」アプリは Microsoft Excel がインストールされている Windows PC の Notes で以下の 4 つの機能を提供します。Microsoft Excel がインストールされていない場合、ログ表示以外の機能を利用することはできません。また、ログ表示以外の機能を利用するためには、後述するロールが割り当てられている必要があります。

- ▼ Excel ファイルから Notes アプリとデータを登録
- ▼ Excel ファイルからデータを追加登録
- ▼ Excel ファイルへデータを出力
- ▼ ログ表示

上記 4 つの機能のうち一番上の機能で Notes アプリを作成する際には「smaconne デフォルトアプリ」テンプレートを利用します。「smaconne デフォルトアプリ」テンプレートにはフォームが 2 つとビューが 1 つあります。これらを削除しないでください。「DefaultForm」フォームには「disp_label_XX」「item_XX」「num_XX」「dt_XX」という 4 種類のフィールドがあります（XX はいずれも 1 から 100 の数字）。これらのフィールドは Notes でビューや文書を表示するために必要ですので、削除しないでください。

Excel ファイルに関する制約事項

本機能を利用するにあたっての制約事項は以下の通りです。

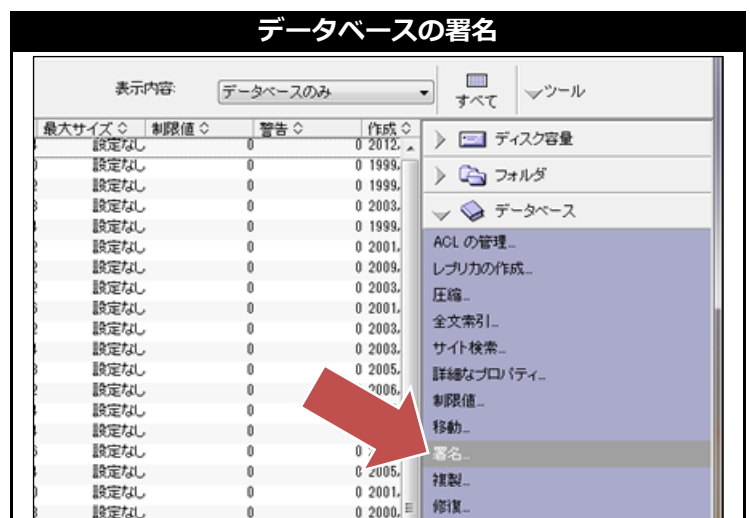
- ▼ 登録できるのは、1 つの Excel ファイルあたり 1 つのワークシートのみです。
- ▼ ワークシートの 1 行目を列見出しとし、2 行目以降をデータとします。
- ▼ 途中に値が無い行がある場合、値が無い文書としてそのまま登録します。
- ▼ 1 列目を含めて途中に値が無い列がある場合、値が無いフィールドとしてそのまま登録します。
- ▼ 登録できる列数は 100 までです。

- ▼ 「分数」の表示形式には対応していません。
- ▼ 表示形式がカンマによる桁区切りのある「数値」や「通貨」「会計」「パーセンテージ」「指数」などの場合、フォーム設定文書にて自動で表示用設定を追加します。
このため、例えば 100 列のワークシートの場合、Notes アプリに読み込む列数が 100 未満になることがあります。
- ▼ データの型はワークシートの 2 行目で判定していますので、同様のワークシートであっても 2 行目の値によって異なる表示形式と判定することがあります。
- ▼ 「通貨」にドルなど円以外を設定していても、日本語環境の Notes/Domino では円表示となります。
- ▼ Excel の和暦には対応していません（西暦になります）。
和暦で表示する場合は、自動作成された Notes アプリで列やフィールドのプロパティを「カスタム」で設定し直してください。
- ▼ セルに計算式が設定されている場合、その計算結果の値を読み込みます。
- ▼ 列や行を結合しないでください。
- ▼ 数字や日時などは「標準」以外の該当する表示形式を列単位に指定してください。
例えば、セルに数字が入力されていても表示形式が「標準」の場合は、テキストとして読み込みます。
数字であれば「数値」や「通貨」「会計」など、日時であれば「日付」や「時刻」などを列の表示形式に指定してください。
- ▼ 列毎に見出しを設定してください。
列見出しが無い場合は、「列 XX」（XX は数値）とセットします。
- ▼ 出力された Excel ファイルで日付と時刻の形式は yyyy/m/d と h:mm となります。
秒（ss）は表示されませんので、必要であれば Excel の表示設定で変更してください。

「smaconne Excel 連携」アプリの作成

「smaconne Excel 連携」テンプレート（smaDXcel.ntf）を元に、smaconne がインストールされている Domino サーバーのデータ・ディレクトリ直下に新規にアプリを作成します。

1. 「smaconne Excel 連携」テンプレートを、Notes（ローカル）のデータディレクトリにコピーします。
2. Notes/Domino システム管理者のアカウントで、Domino Administrator を起動します。
このアカウントは、Domino サーバー上でエージェントの実行権限が付与されている必要があります。
3. [ファイル] タブをクリックして開きます。
4. [表示内容] を「テンプレートのみ」に変更します。
5. 1. でコピーした「smaconne Excel 連携」テン



プレートをクリックします。

6. [ツール] ペインで、[データベース] - [署名...] をクリックします。
7. 「データベースの署名」ダイアログで、オプションはデフォルトのまま、[OK] ボタンをクリックします。
8. ステータスバーに「1 アプリ処理しました。0 エラー。」と表示されたことを確認します。
9. [ファイル(F)] メニューから [アプリケーション(T)] - [作成(N)...] をクリックします。
10. 「新規アプリケーション」ダイアログで、以下の通りオプションを設定します。

- 新規アプリケーションと場所の指定

- サーバー: smaconne がインストールされている Domino サーバー名
- タイトル: smaconne Excel 連携
- ファイル名: smaDXcel.nsf

※ データ・ディレクトリの直下に作成してください。

- 新規アプリケーションのテンプレートの設定

- サーバー: Local
- テンプレート: smaconne Excel 連携

11. [OK] ボタンをクリックします。

ご利用の Domino サーバー上に、「smaconne Excel 連携」アプリ (smaDXcel.nsf) が作成されたことをご確認ください。

「smaconne デフォルトアプリ」テンプレートの配置

「smaconne デフォルトアプリ」テンプレート (smaDefaultApp.ntf) を smaconne がインストールされている Domino サーバーのデータ・ディレクトリ直下に配置します。

1. 「smaconne デフォルトアプリ」テンプレートを、Notes (ローカル) のデータディレクトリにコピーします。
2. Notes/Domino システム管理者のアカウントで、Domino Administrator を起動します。
このアカウントは、Domino サーバー上でエージェントの実行権限が付与されている必要があります。
3. [ファイル] タブをクリックして開きます。
4. [表示内容] を「テンプレートのみ」に変更します。
5. 1. でコピーした「smaconne デフォルトアプリ」テンプレートをクリックします。
6. [ツール] ペインで、[データベース] - [署名...] をクリックします。
7. 「データベースの署名」ダイアログで、オプションはデフォルトのまま、[OK] ボタンをクリックします。
8. ステータスバーに「1 アプリ処理しました。0 エラー。」と表示されたことを確認します。
9. [ファイル(F)] メニューから [アプリケーション(T)] - [コピー(W)...] をクリックします。
10. 「アプリケーションのコピー」ダイアログで、以下の通りオプションを設定します。

- アプリケーション名と新規コピーの場所の指定

- サーバー: smaconne がインストールされている Domino サーバー名

- タイトル: smaconne デフォルトアプリ
 - ファイル名: smaDefaultApp.ntf
- ※ データ・ディレクトリの直下に作成してください。

- コピー対象の設定
 - 「アプリケーションの設計のみ(N)」ラジオボタンを選択
 - 「アクセス制御リスト(A)」チェックボックスを ON

11. [OK] ボタンをクリックします。

ご利用の Domino サーバー上に、「smaconne Excel 連携」テンプレート (smaDefaultApp.ntf) が作成されたことをご確認ください。

「smaconne Excel 連携」アプリの ACL 設定

作成した「smaconne Excel 連携」アプリに ACL を設定します。

ACL 設定例

▼ - Default -

- 種類: 指定なし
- アクセス権: なし
- オプション権限: 全て OFF

▼ Anonymous

- 種類: 指定なし (ユーザーでも可)
- アクセス権: なし
- オプション権限: 全て OFF

▼ サーバー

- 種類: サーバー
- アクセス権: 管理者
- オプション権限: 全て ON

▼ データベース管理者

- 種類: ユーザーまたはユーザーグループ
- アクセス権: 管理者
- オプション権限: 全て ON
- ロール: 全て ON

※ ログの削除を許可しない場合は [Admin] ロールを割り当てないでください。

▼ 「Excel ファイルから Notes アプリとデータを登録」の利用者

- 種類: ユーザーまたはユーザーグループ
- アクセス権: 作成者

- オプション権限: 「文書の作成」を ON
- ロール: [Creator]

※ 更に、この利用者は Notes アプリを作成して smaconne の設定文書を作成するので、以下を共に満たす必要があります。

※ サーバー文書の [セキュリティ] タブの [データベースとテンプレートの作成] にエントリされていること。

※ 「smaconne」アプリ (sdcnctr.nsf) でアクセス権が編集者で [Creator] ロールが付与されていること。

▼ 「Excel ファイルからデータを追加登録」の利用者

- 種類: ユーザーまたはユーザーグループ
- アクセス権: 作成者
- オプション権限: 「文書の作成」を ON
- ロール: [Uploader]

▼ 「Excel ファイルへデータを出力」の利用者

- 種類: ユーザーまたはユーザーグループ
- アクセス権: 作成者
- オプション権限: 「文書の作成」を ON
- ロール: [Downloader]

※ 複数機能の利用を許可する場合は、該当のロールを割り当ててください。

「Excel 連携」機能を開く

Microsoft Excel がインストールされている Windows PC の Notes で、以下のいずれかの方法で「Excel 連携」機能を開きます。

▼ 「smaconne」アプリ (sdcnctr.nsf) のメニューペインで「Excel 連携」をクリックする。

▼ Notes の [ファイル(F)] メニューから [開く(O)] - [Notes アプリケーション(N)] を選択して、「smaconne Excel 連携」アプリ (smaDXcel.nsf) をインストールした Domino サーバーで選択して開く。

「Excel 連携」機能を開くと、「処理を選択」画面が表示されます。

Excel ファイルから Notes アプリとデータを登録する

「Excel ファイルから Notes アプリとデータを登録」の利用者としてエントリされているユーザーのみ利用できます。

もし、smaconne のアクティベーションコードが有効期日を超過したりアプリ設定文書の上限数に達していたりする場合は、「処理を選択」画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は、新たなアクティベーションコードを入力して smaconne をアクティベートし直した後に、改めて「Excel 連携」機能を開き直してください。

Excel ファイル選択

「処理を選択」画面で「Excel ファイルから Notes アプリとデータを登録...」ボタンをクリックすると「Excel ファイル選択」画面が表示されます。

「Excel ファイルを選択する...」ボタンをクリックしてファイルを開くダイアログで Excel ファイルを選択した後に、「次へ」ボタンをクリックしてください。

Domino サーバー選択

「Excel ファイル選択」画面で「次へ」ボタンをクリックすると「Domino サーバー選択」画面が表示されます。

選択した Excel ファイルから Notes アプリを作成する Domino サーバーを入力します。「Domino サーバー (必須)」フィールドには、smaconne がインストールされている Domino サーバー名が初期値としてセットされています。別の Domino サーバーに Notes アプリを作成する場合は、「名前の選択」ダイアログでその Domino サーバー名を選択するか、フィールドに直接入力するかしてください。

Domino サーバーを入力した後に、「次へ」ボタンをクリックしてください。

基本情報入力

「Domino サーバー選択」画面で「次へ」ボタンをクリックすると「基本情報入力」画面が表示されます。

入力する内容は以下の通りです。

- ▼ **タイトル (必須)** : 選択した Excel ファイルの拡張子を除くファイル名を初期値としてセットされています。変更する場合は、フィールドの値を変更してください。
- ▼ **ファイル名 (必須)** : Notes アプリのファイル名を入力してください。例えば、「smaApp¥sample.nsf」の場合、指定した Domino サーバーのデータディレクトリの「smaApp」サブディレクトリに（無ければ作成して）「sample.nsf」というファイル名で Notes アプリを作成します。
- ▼ **プロトコル (必須)** : サーバーへ Web ブラウザでアクセスする際のプロトコルを選択してください。初期値は、「http」です。既に同じサーバーにあるアプリを対象に「Notes アプリ設定」文書を別に作成済みの場合、その設定を引き継いで値を自動セットします。そうでない場合、Domino ディレクトリのサーバー文書の「TLS ポートステータス」を参照して値を自動セットします。
- ▼ **ホスト名 (FQDN) (必須)** : サーバーへ Web ブラウザでアクセスする際のホスト名 (FQDN) または IP アドレスを入力してください。(例: domino1.bcom.co.jp) 既に同じサーバーにあるアプリを対象に「Notes アプリ設定」文書を別に作成済みの場合、その設定を引き継いで値を自動セットします。そうでない場合、Domino ディレクトリのサーバー文書の「完全なインターネットホスト名」などを参照して値を自動セットします。

各フィールドを入力した後に、「次へ」ボタンをクリックしてください。

オプション情報入力

「基本情報入力」画面で「次へ」ボタンをクリックすると「オプション情報入力」画面が表示されます。

- ▼ **アクセス制御リスト**: 自動作成する Notes アプリのアクセス制御リストを設定してください。Notes アプリの登録者と「Domino サーバー選択」画面で入力した Domino サーバーと「LocalDomainServers」は自動で「管理者」に登録されます。また、ここで入力したアカウント名やグループ名は「Notes アプリ設定」文書の基本情報の「利用者」にセットされます。
- ▼ **タブ**: アプリ一覧ページでどのタブに表示するかを設定してください (タブ設定)。何も指定しない場合は、タブ未設定のタブに表示されます。

各フィールドを入力した後に、[Notes アプリを作成してデータを登録する] ボタンをクリックしてください。

進行状況表示

「オプション情報入力」画面で [Notes アプリを作成してデータを登録する] ボタンをクリックすると「Excel ファイルからアプリとデータを登録中...」画面に進行状況が表示されます。

登録の際にエラーが発生して異常終了した場合は、画面にエラーメッセージが表示されますので、原因の切り分けの参考にしてください。また、この際に Excel の「'○○○'への変更を保存しますか？」というダイアログが表示された場合は、[保存しない] ボタンをクリックしてください。

Excel ファイルから Notes アプリとデータを登録完了

Excel ファイルから Notes アプリとデータの登録が完了すると、「Excel ファイルからアプリとデータを登録しました！」画面に登録結果が表示されます。

登録の際にエラーが発生して異常終了した場合は、画面にエラーメッセージが表示されますので、原因の切り分けの参考にしてください。また、この際に Excel の「'○○○'への変更を保存しますか？」というダイアログが表示された場合は、[保存しない] ボタンをクリックしてください。

この画面に表示されるボタンではそれぞれ以下を表示します。

- ▼ **Notes でアプリを開く**: 自動作成した Notes アプリを Notes で開きます。
- ▼ **smaconne でアプリを開く**: Web ブラウザを起動して、自動作成した Notes アプリを smaconne で開きます。
- ▼ **ログを開く**: ログ一覧を開きます。
- ▼ **メニューへ戻る**: 「処理を選択」画面を開きます。

Excel ファイルからデータを追加登録する

「Excel ファイルからデータを追加登録」の利用者としてエントリされているユーザーのみ利用できます。

Excel ファイル選択

「処理を選択」画面で [Excel ファイルからデータを追加登録...] ボタンをクリックすると「Excel ファイル選択」画面が表示されます。

[Excel ファイルを選択する...] ボタンをクリックしてファイルを開くダイアログで Excel ファイルを選択した後に、[次へ] ボタンをクリックしてください。

なお、ここで選択する Excel ファイルのワークシートのフォーマット（列数や列の表示形式など）は、この後で選択する Notes アプリに合致するようにしてください。

Notes アプリ選択

「Excel ファイル選択」画面で [次へ] ボタンをクリックすると「Notes アプリ選択」画面が表示されます。

[Notes アプリを選択する...] ボタンをクリックして「アプリケーションの選択」ダイアログで Notes アプリを選択

した後に、[データを登録する] ボタンをクリックしてください。

進行状況表示

「Notes アプリ選択」画面で[データを登録する] ボタンをクリックすると「Excel ファイルからデータを登録中...」画面に進行状況が表示されます。

登録の際にエラーが発生して異常終了した場合は、画面にエラーメッセージが表示されますので、原因の切り分けの参考にしてください。また、この際に Excel の「[]」の変更を保存しますか? というダイアログが表示された場合は、[保存しない] ボタンをクリックしてください。

Excel ファイルからデータを追加登録完了

Excel ファイルからデータの登録が完了すると、「Excel ファイルからデータを登録しました!」画面に登録結果が表示されます。

登録の際にエラーが発生して異常終了した場合は、画面にエラーメッセージが表示されますので、原因の切り分けの参考にしてください。また、この際に Excel の「[]」の変更を保存しますか? というダイアログが表示された場合は、[保存しない] ボタンをクリックしてください。

この画面に表示されるボタンではそれぞれ以下を表示します。

- ▼ **Notes でアプリを開く**: Excel ファイルからデータを追加登録した Notes アプリを Notes で開きます。
- ▼ **smaconne でアプリを開く**: Web ブラウザを起動して、Excel ファイルからデータを追加登録した Notes アプリを smaconne で開きます。
- ▼ **ログを開く**: ログ一覧を開きます。
- ▼ **メニューへ戻る**: 「処理を選択」画面を開きます。

Excel ファイルヘデータを出力する

「Excel ファイルヘデータを出力」の利用者としてエントリされているユーザーのみ利用できます。

Notes アプリ選択

「処理を選択」画面で[Excel ファイルヘデータを出力...] ボタンをクリックすると「Notes アプリ選択」画面が表示されます。

[Notes アプリを選択する...] ボタンをクリックして「アプリケーションの選択」ダイアログで Notes アプリを選択した後に、[データを出力する] ボタンをクリックしてください。

進行状況表示

「Notes アプリ選択」画面で[データを出力する] ボタンをクリックすると「Excel ファイルヘデータを出力中...」画面が表示され、Excel ファイル名を指定するダイアログが表示されます。以下が初期値としてセットされるので、必要に応じて変更して[保存] ボタンをクリックしてください。

- ▼ 保存する場所: デスクトップ

▼ ファイル名: 選択した Notes アプリのタイトル+日時

ダイアログで [保存] ボタンをクリックすると「Excel ファイルヘデータを出力中...」画面に進行状況が表示されます。

登録の際にエラーが発生して異常終了した場合は、画面にエラーメッセージが表示されますので、原因の切り分けの参考にしてください。

Excel ファイルヘデータを出力完了

Excel ファイルからデータの登録が完了すると、「Excel ファイルヘデータを出力しました！」画面に登録結果が表示されます。

この画面に表示されるボタンではそれぞれ以下を表示します。

- ▼ **Notes でアプリを開く**: Excel ファイルヘデータを出力した Notes アプリを Notes で開きます。
- ▼ **smaconne でアプリを開く**: Web ブラウザを起動して、Excel ファイルヘデータを出力した Notes アプリを smaconne で開きます。
- ▼ **ログを開く**: ログ一覧を開きます。
- ▼ **メニューへ戻る**: 「処理を選択」画面を開きます。

ログを表示する

「smaconne Excel 連携」アプリ (smaDXcel.nsf) を開くことができるすべてのユーザーが利用できます。

ログの内容は以下の通りです。

- ▼ 作成日時
- ▼ 作成者
- ▼ 操作
- ▼ 結果: エラーが発生した場合は、その内容も記録します。
- ▼ Excel ファイル
- ▼ Domino サーバー
- ▼ タイトル
- ▼ ファイル名

ログを削除する

[Admin] ロールが割り当てられていてかつオプション権限で「文書の削除」が ON のユーザーのみがログを削除できます。

スマートデバイスでの利用

iPhone や iPad、Android デバイスなどのスマートデバイスや PC の Web ブラウザで、smaconne を通して既存の Notes アプリを利用する際の手順をご案内します。

PC の Web ブラウザによる利用

PC の Web ブラウザでの smaconne の使い方は基本的に次項以降の「スマートデバイスの Web ブラウザによる利用」と同じですが、キーボードやマウスを使うことができるため、以下の操作も可能です。

- ▼ ブックマーク管理などでドラッグ&ドロップによる並び替え
- ▼ 各ページのボタンやリンクなどをキーボードの [Tab] キーで遷移し、[Enter] キーで処理を実行

スマートデバイスの Web ブラウザによる利用

スマートデバイスの Web ブラウザでの smaconne の使い方について、iPhone の Safari (Mobile Safari) を例に以下ご紹介します。

表示言語

Web ブラウザの優先言語を日本語 (ja) に設定している場合は、smaconne が表示するページのラベルやメッセージ等は日本語で表示されます。

ユーザー名の別名に日本語名 (ja) が定義されている場合は、smaconne が表示するページのラベルやメッセージ等は日本語で表示されます。

Web ブラウザの優先言語を日本語 (ja) 以外に設定していて、ユーザー名の別名に日本語 (ja) が定義されていない場合は、smaconne が表示するページのラベルやメッセージ等は英語で表示されます。

ログイン

1. iPhone のホーム画面で [Safari] をタップします。
2. アドレス欄をタップして、以下の URL を入力します。

```
http://ホスト名 (FQDN) /sdcnctr.nsf/vwApp
```

※ ホスト名 (FQDN) は、smaconne がインストールされている Domino サーバーのものです。

※ URI スキームは必要に応じて「https」を利用してください

3. [Go] ボタンをタップします。
4. ログインページで、ユーザー名とパスワードを入力します。
⇒ ログインページは、ご利用の Domino サーバーの設定に応じて読み替えてください。
5. [Go] ボタンまたは [ログイン] ボタンをタップします。
6. アプリ一覧ページが表示されます。

アプリ一覧ページの使い方

アプリ一覧ページには、アプリ名、サーバー名、アプリアイコンが表示されます。さらに、smaconne が動作する Domino のバージョンが 8.5 以降の場合、アプリ毎に未読文書数が表示されます。

なお、Web アプリの場合は、サーバー名は「Web アプリ」固定の表示となります。また、Web アプリの場合は、smaconne が動作する Domino のバージョンが 8.5 以降であっても未読文書数は表示されません。

また、「基本設定」の「アプリ一覧ページ表示設定」が ON の場合も、未読文書数は表示されません。

ランドスケープ モード（横向き）では、右下図のようにアプリ一覧ページは Notes のワークスペース・ライクなタイル表示となります。

再読み込みボタン（①）

ページの右下に常時表示されている [C] ボタンをタップすると、Web ブラウザのキャッシュを破棄してページを読み込み直します。

戻るボタン（②）

ページの左下に常時表示されている [◀] ボタンをタップすると、開いている Web ブラウザのページに履歴がある場合、前のページに戻ります。

スクロールボタン（③）

ページを下にスクロールすると、ページの右端にスクロールボタンが表示されます。

[▲] のすぐ下にある [✕] ボタンをタップすると、スクロールボタンを消します。

[▲] ボタンをタップすると、ページの一番上へスクロールします。

[▽] ボタンをタップすると、ページの一番下へスクロールします。

タブ

「タブ設定」文書が作成されている場合、タブがページの上に固定して表示されます。「タブ設定」文書がまったく作成されていない場合は、タブは 1 つのみ表示されます。

「タブ設定」文書が作成されていても、以下のいずれかに合致する場合は、そのタブは表示されません。ただし、[Admin] ロールが割り当てられたユーザーの場合は、すべてのタブが表示されます。



- ログイン・ユーザーが、タブの利用者に該当しない
- タブにアプリが登録されていない
- タブに登録されているすべてのアプリに対して、ログイン・ユーザーがアクセス権を持たない

タブの一番右に名前が表示されていないタブが表示されることがあります。このタブは、「タブ設定」文書が作成されているが、タブがセットされていない「アプリ設定」文書がある場合、それらタブ未設定のアプリを表示するものです。

「タブ設定」文書が作成されていて、かつログイン・ユーザーに表示すべきタブがある場合、「http://ホスト名(FQDN)/sdcnctr.nsf/vwApp」の URL でアプリ一覧ページにアクセスした際に表示されるタブは一番左に位置するもの（「タブ設定」ビューで並び順が一番上になるもの）です。ただし、「基本設定」にて「[アプリ一覧ページを開く時、[お知らせ] タブをデフォルト表示する] チェックボックス」が ON になっている場合は、「お知らせ」タブが表示されます。

各タブが「タブ設定」文書で「カラー」が設定されている場合は、その色で表示されます。

いずれかのタブをタップすると、そのタブの内容が表示されます。

検索

検索バーでキーワードを入力 (①) して、[検索] ボタンをタップ (②) すると、smaconne に登録して検索を許可しているすべての Notes アプリを「使用中のアプリ設定」ビューに表示されている順に検索して検索結果ページを表示します（この検索機能を「横断検索」と呼びます）。

検索内容は、Notes のデータベース検索と同じように動作します。

キーワードの間にスペースを入れると、各キーワードは AND 条件となります。

入力したキーワードをクリアしたい場合は、検索バーの [✕] ボタンをタップ (③) します。

検索に使ったキーワードは検索結果ページのタイトルと検索バーに表示されます。

検索結果ページは Notes アプリ毎に最大 5 件ずつ以下の項目を表示します。

- 文書のタイトル

詳細は「基本情報」の「横断検索結果表示フィールド」を参照してください。

- 全文検索スコアバー

バーが長いほどキーワードに対する適合度が高いことを示します。

- 最終更新者
- 最終更新日時

各 Notes アプリの検索結果が 5 件を超える場合は、[さらに検索...] ボタンが表示されます。このボタンをタップすると、最大 5 件の検索結果が追加されて表示されます。



各 Notes アプリの検索結果の一番下には「デフォルトビューで検索...」ボタンが表示されます。このボタンをタップすると、各 Notes アプリのビュー設定一覧の一番上に表示されているビュー設定に該当するビューページを表示して現在指定しているキーワードが検索されます。なお、ビュー検索の結果はアプリ検索結果と異なることがあります。

お知らせ

掲載対象となる「お知らせ設定」文書がある場合、タブの一番左に「お知らせ」タブ (i アイコン) が表示されます。

また、いずれかのお知らせの作成日または更新日が表示した日付から 1 週間以内である場合、i アイコンの右に赤字で「New!」と表示されます。

「お知らせ」タブをタップして開くと、お知らせ一覧が表示されます。

各お知らせの作成日または更新日が表示した日付から 1 週間以内である場合、そのお知らせのタイトルの右に赤い「NEW」マークが表示されます。

お知らせ一覧を開いた時点では、一番上のお知らせのみ展開して表示されますが、2 番目以降はタイトルのみ表示されます。展開して表示されているお知らせのタイトルをタップすると、タイトル以外を閉じます。タイトルのみ表示しているお知らせのタイトルをタップすると、そのお知らせを展開して表示します。

PC の Web ブラウザでキーボードによって操作する場合は、お知らせのタイトルを [Tab] キーで選択した後に [Enter] キーを押下するとそのお知らせを展開または省略して表示します。

履歴

「履歴」タブを表示するように設定されている場合、タブの左から 2 番目に「履歴」タブ (🕒 アイコン) が表示されます。

「履歴」タブをタップして開くと、履歴一覧が新しいものから日時の降順に最大 100 件表示されます。ページの一番下に表示されている「さらに表示...」ボタンをタップすると、続けて新しいものから日時の降順に最大 100 件の履歴が追加して表示されます。

各履歴は、Notes アプリのアイコン、Notes アプリ名、アクセス日時、ページ名を表示します。なお、履歴一覧には、横断検索結果ページを除くアプリー覧ページのタブや文書の編集ページの履歴を表示しません。

任意の履歴をタップすると、そのページが開きます。



ブックマーク管理

「smaconne ユーザー設定」アプリが設定されている場合のみタブの左から3番目に「ブックマーク管理」タブ (🔖 アイコン) が表示されます。ブックマークは登録日時が新しいものから順に並びます。

ブックマークを管理するために以下の5種類のボタンがあります。

▼ ブックマークを追加...

ボタンをタップすると、「新規のブックマーク」ダイアログが表示されます。このダイアログで「ページ名」と「ページ URL」、「メモ」、「タグ」、「新しいタグ」を入力して、[保存] ボタンをタップすると、ブックマークを新規に追加することができます。「タグ」は複数選択可能で、「タグ」と「新しいタグ」を同時に指定することもできます。

なお、タグには以下の文字を使えません。

タブ、前後の空白 (全角/半角)、ハッシュ (#)、円サインマーク (¥)、バーティカルバー (|)、改行、セミコロン (;)、カンマ (,)、ダブルクォーテーション (")、シングルクォーテーション (')、アンパーサント (&)、等号 (=)、不等号 (< や >)、プラス (+)、大カッコ ([や])、スラッシュ (/)

[ダイアログを閉じる] ボタンまたはダイアログの左上隅にある [X] ボタンをタップすると、ダイアログを閉じます。

▼ タグ (①)

タグが設定されている場合、両端が丸いボタンが表示されます。

[タグ選択なし] ボタンをタップすると、すべてのブックマークが表示されます。

いずれかのタグボタンをタップすると、そのタグが指定されたブックマークが表示されます。

▼ 編集...

ボタンをタップすると、ブックマークの編集ダイアログが表示されます。

任意の項目を入力して [保存] ボタンをタップしてください。

PC の Web ブラウザをご利用で選択されたタグの指定を解除する場合は、[Control] キーを押しながらクリックしてください。

[ダイアログを閉じる] ボタンまたはダイアログの左上隅にある [X] ボタンをタップすると、ダイアログを閉じます。

▼ 共有...



ボタンをタップすると、「ブックマークを共有」ダイアログが表示されます。

共有するユーザーの「アカウント名」を入力してください（漢字、ローマ字いずれも可）。

Domino ディレクトリに「開発キット 設定ノウハウ編」の「営業日報」アプリに同梱の以下の設計要素が導入されている場合は、[組織別社員一覧を開く] ボタンと [五十音別社員一覧を開く] ボタンを利用できます。

- 「(選択用五十音別ユーザー) | vwUserBy50on4Select」ビュー
- 「(選択用組織階層別ユーザー) | vwUserByLevel4Select」ビュー
- 「\$\$ViewTemplate for vwUserBy50on4Select」フォーム
- 「\$\$ViewTemplate for vwUserByLevel4Select」フォーム

これらを未導入の場合は、各ボタンをタップするとエラー画面が表示されます。

[共有] ボタンをタップすると、「アカウント名」に入力したユーザーにブックマークが共有されます。

共有されたブックマークは、共有先ユーザーのブックマーク一覧に共有した日時で表示されます。共有されたユーザーはブックマークのメモ等を自由に編集することができます。

[ダイアログを閉じる] ボタンまたはダイアログの左上隅にある [X] ボタンをタップすると、ダイアログを閉じます。

▼ 削除...

ボタンをタップすると、「このブックマークを削除してもよろしいですか？」確認ダイアログが表示されます。

[OK] ボタンをタップすると、ブックマークが削除されます。

なお、ブックマーク削除は非同期に実行しますので、削除後は再読み込みボタン (🔄) をタップしてブックマークの一覧を更新してください。

【PC/Mac の Web ブラウザのみ】ブックマークの並び替え

ドラッグ&ドロップでブックマークを並び替えることができます。並び替えた順番は iPhone/iPad、Android デバイスでも反映されます。

ブックマークが並び替えた通りに表示されない場合は再読み込み (🔄) してください。

フォロー

smaconne が動作する Domino のバージョンが 8.5 以降で、「smaconne ユーザー設定」アプリが設定されていて、基本設定で [[フォロー] ボタンを表示する] チェックボックスが ON の場合のみタブの左から 4 番目に [フォロー] タブ (♥ アイコン) が表示されます。

[フォロー] タブの表示内容は以下の 2 つがあります。

▼ 未読表示モード

[フォロー] タブをクリックした時にデフォルトで表示されます。

[⚙️ フォロー中のアプリを管理する] ボタンをクリックすると、管理モードで表示します。


▼ 管理モード

[☰ フォロー中の未読文書を表示する] ボタンをクリックすると、未読表示モードで表示します。

各モードの詳細は以下の通りです。

未読表示モード

フォロー中の Notes アプリ毎に最大 5 件ずつ未読文書を一覧表示します。未読文書が無い Notes アプリは、フォロー中であっても表示されません。未読文書に読者権限の無い文書が含まれている場合は、その文書も未読としてカウントしますので、表示件数は 5 件未満となることがあります。

Notes アプリの並び順はフォローした順（古い順）がデフォルトですが、管理モードで並び替えた順で表示することもできます。Notes アプリが並び替えた通りに表示されない場合は再読み込み（) してください。

未読文書の並び順は最終更新日時が新しい順で、表示する項目は以下の通りです。


- 文書のタイトル
詳細は「基本情報」の「横断検索結果表示フィールド」を参照してください。
- 最終更新者
- 最終更新日時

各 Notes アプリの未読文書数が 5 件を超える場合は、[さらに表示...] ボタンが表示されます。このボタンをタップすると、最大 5 件の未読文書が追加されて表示されます。

各 Notes アプリの未読文書一覧の一番下には [デフォルトビューで表示...] ボタンが表示されます。このボタンをタップすると、各 Notes アプリのビュー設定一覧の一番上に表示されているビュー設定に該当するビューページを表示します。

管理モード

フォロー中の Notes アプリを未読文書が無いものも含めてすべて一覧表示します。

Notes アプリの並び順はフォローした順（古い順）がデフォルトですが、PC/Mac の Web ブラウザでのみドラッグ&ドロップで Notes アプリを並び替えることができます。並び替えた順番は iPhone/iPad、Android デバイスでも反映されます。Notes アプリが並び替えた通りに表示されない場合は再読み込み（) してください。

管理モードでは、Notes アプリの並び替え以外に以下を実施することができます。

▼ 当該の Notes アプリのフォローを終了する（ ボタン）

このボタンをタップすると、「このアプリのフォローを終了してもよろしいですか？」と確認ダイアログが表示されますので、[OK] または [キャンセル] ボタンをタップしてください。

▼ 当該の Notes アプリをデフォルトビューで開く（ ボタン）


このボタンをタップすると、当該の Notes アプリのデフォルトビューが表示されます。

アプリ

「アプリ設定」文書で利用者に設定されていなかったり、対象の Notes アプリにアクセス権が無かったりする場合は、そのアプリは表示されません。ただし、[Admin] ロールが割り当てられたユーザーの場合は、アクセス権があるすべてのアプリが表示されます。



任意のアプリをタップすると、ビュー設定一覧の一番上に表示されているビュー設定に該当するビューページが表示されます。

Domino サーバーが起動していないなどの理由で対象の Notes アプリを開けない場合は、アイコンに  が表示されます。この場合は、アプリ・アイコンをタップしてもその Notes アプリを表示することはできません。速やかに該当の Domino サーバーや Notes アプリ等を確認してください。

ビューページの使い方

カテゴリが設定されている場合はカテゴリー一覧が表示され、それ以外は文書一覧が表示されます。

文書一覧で、任意の文書をタップすると、その文書を開きます。

カテゴリー一覧

カテゴリー一覧でカテゴリーをタップすると、そのカテゴリーに含まれるサブカテゴリー一覧もしくは文書一覧が表示されます。以降、カテゴリーの階層に応じて表示します。カテゴリーの横に表示される数字は、そのカテゴリーに含まれるすべての文書数です。

カテゴリーと同じ階層に文書がある場合、文書も一緒に一覧表示します。その場合、一覧には文書を上に、カテゴリーを下に表示します。

カテゴリーが未設定の文書は、カテゴリー一覧の「(カテゴリーなし)」に含まれます。


カテゴリーの階層はページの見出しに階層のパンくずリストとして表示されます(①)。パンくずリストのリンクをタップすると、その階層のカテゴリー一覧が表示されます。階層のパンくずリストが長い場合は横スクロールしてご覧いただけます。

「¥」特殊文字を使用した特殊なカテゴリー列が設定されている場合、「¥」によって区切られた数分の階層でサブカテゴリーの一覧を表示します。

「¥」特殊文字を使用した特殊なカテゴリー列とそうでないカテゴリー列が混在している場合、階層が一致する双方のカテゴリーが同じビューページに一覧表示されます。

文書一覧

文書一覧には、「ビュー情報」の「表示する列」で設定した列のうち、カテゴリーを除いた列を表示します。

ファイルが添付されている文書の行頭には  が付加して表示されます。

smaconne が動作する Domino のバージョンが 8.5 以降の場合、未読文書は ★ が行頭に付加され、太文字で表示されます。

なお、smaconne で文書を新規作成/編集した後に、その文書を作成者自身が文書一覧ページで表示した場合



は、未読としてマークされます。

ボタン類

▼ [前の一覧] [次の一覧] (②)

「ビュー情報」の「1 ページ内に表示する行数（最大）」を超える文書数/カテゴリー数（返答文書を除く）がある場合は、[前の一覧] [次の一覧] ボタンがページの左右二カ所に一覧部分にオーバーレイして表示されます。それらのボタンをタップすると、各一覧のビューページへ遷移します。

▼ アクションボタン (③)

「アクション情報」-「ビューのアクション」で設定された[ボタン・ラベル名]が入力されているビューアクションが、ページの上に固定して表示されます。

検索

検索バーでキーワードを入力(④)して、[検索] ボタンをタップ(⑤)すると、検索結果一覧ページを表示します。

検索内容は、Notes のビュー検索と同じように動作します。表示しているビューページが単一カテゴリー表示となっている場合は、単一カテゴリー表示に使われている値（式の場合はその計算結果の値）を自動的に追加して検索します。

キーワードの間にスペースを入れると、各キーワードは AND 条件となります。

入力したキーワードをクリアしたい場合は、検索バーの[✕] ボタンをタップ(⑥)します。

検索結果一覧には「ビュー情報」の「表示する列」で設定したカテゴリーを除く列を表示します。



列で並び替え (列ソート)

文書一覧が表示されているビューページで列見出しをタップすると、その列で文書一覧を並び替えることができます。

この機能は smaconne 独自に提供するもので、Notes で列ソートする場合と動作が異なります。

- Unicode コードポイントでソートしますので、Notes でのソート結果と異なります。
- カテゴリーを辿って表示した文書一覧では、そのカテゴリー内で並び替えます（Notes ではカテゴライズが解除されてすべての文書で並び替えられます）。
- 2 次ソートキーはありません。
- カテゴリー一覧やカテゴリー列は対象外です。
- ビュー検索結果は対象外です。

列見出しを 1 回タップすると、その列の昇順で並び替わり列見出しの左端に「▲」が表示されます。続けて 1 回同じ列見出しをタップすると、その列の降順で並び替わり列見出しの左端に「▼」が表示されます。さらにもう 1 回同じ列見出しをタップすると、列ソートが解除されます。

並び替え対象が 2 万件を超えると、以下のメッセージが表示されます。



並び替え対象の数が2万件を超えました。
ブラウザに悪影響を及ぼす恐れがありますので、
読み込みを終了してよろしいですか？

[OK] ボタンをタップすると2万件で読み込みを終了して、読み込んだ2万件でソートして表示します。

[キャンセル] ボタンをタップすると追加で1万件読み込んで、再度上記メッセージを表示します。

搭載するメモリーの容量が少ないスマートデバイスでは2万件もしくは3万件程度で読み込みを終了してください。

操作ペイン

ページの右上にある  ボタンをタップすると、各ビューへのリンクボタンやフォントサイズ変更ボタン等の操作ペインが表示されます。もう一度  ボタンをタップするか、または画面左側のグレーの部分の部分をタップすると、操作ペインを閉じます。

操作ペインでは以下を表示します。

▼ ビュー一覧

ビュー名のボタンをタップするとそのビューページを表示します。

ビュー一覧の一番下の「アプリ一覧」ボタンをタップすると、アプリ一覧ページを表示します。

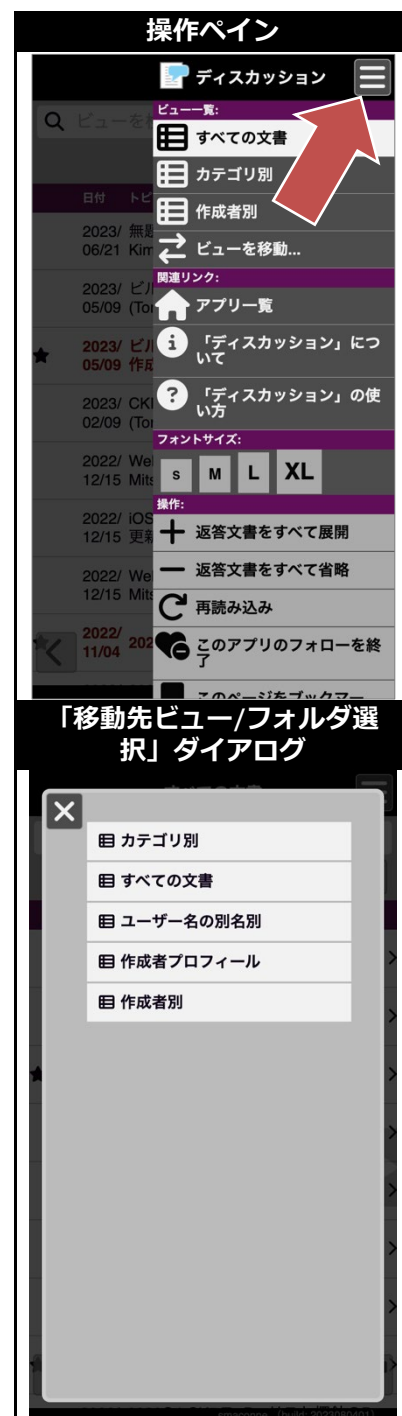
なお、「基本設定」の「iPad/PC ブラウザ動作設定」の「ビューページや文書の参照ページを別タブ（別ウィンドウ）で開く」チェックボックスがONの場合は、ビューページでは「アプリ一覧」ボタンが非表示となり、文書の参照ページと文書の編集ページではビュー一覧と「アプリ一覧」ボタンが非表示となります。

▼ ビューを移動... (⇄)

このボタンをタップすると、ビュー設定文書を追加しなくてもアクセス権があるビュー/フォルダの一覧を「移動先ビュー/フォルダ選択」ダイアログとして表示します。ダイアログで任意のビュー/フォルダをタップすると、そのビュー/フォルダを表示します。

なお、移動先ビュー/フォルダについては以下の制約事項があります。

- 非表示ビュー/フォルダ（{\$All} などを含む）は対象外です。
- 不要な列を表示することがあります。
- 数値（桁区切りやK/M/G など）や日時（日付のみや時間のみなど）のフォーマットには対応していません。
- 競合文書は返答文書として表示されないことがあります。
- すべて展開/すべて省略ボタンが表示されないことがあります。
- 列ソートは昇順→降順を1ターン行ったら終わりとなります。同じ列で再度昇順ソートする場合は、ビューページを再読み込みした後実行してください。
- 列ソートすると、アイコンが数値表記となります。
- カレンダービューも一覧表示します。



▼ 「○○○○○○○○○○」について (i)

「○○○○○○○○○○」は Notes アプリ名です。

「Notes アプリ設定」文書にて「アプリケーションについて（データベースについて）のボタンを表示する」チェックボックスが ON の場合、このボタンが表示されます。

このボタンをタップすると、Notes アプリの「アプリケーションについて（データベースについて）」が表示されます。

▼ 「○○○○○○○○○○」の使い方 (?)

「○○○○○○○○○○」は Notes アプリ名です。

「Notes アプリ設定」文書にて「アプリケーションの使い方（データベースの使い方）のボタンを表示する」チェックボックスが ON の場合、このボタンが表示されます。

このボタンをタップすると、Notes アプリの「アプリケーションの使い方（データベースの使い方）」が表示されます。

▼ フォントサイズ

操作ペインで、「フォントサイズ」の [S] [M] [L] [XL] ボタンをタップすると、該当のサイズでページを表示します。設定したフォントサイズは Web ブラウザの cookie に保存されて、次回アクセス時にも設定したフォントサイズで表示されます。

[S] の大きさは 12 ピクセル、[M] の大きさは 16 ピクセル、[L] の大きさは 20 ピクセル、[XL] の大きさは 24 ピクセルで、デフォルトは [M] の 16 ピクセルです。

▼ 返答文書をすべて展開 (+)

返答文書をスレッド形式で表示するように設定されている（ビュー設定文書で「返答文書の列名」がセットされている）ビューページでのみ表示されます。

タップすると、ビューページのすべての返答文書が展開して表示されます。

▼ 返答文書をすべて省略 (ー)

返答文書をスレッド形式で表示するように設定されている（ビュー設定文書で「返答文書の列名」がセットされている）ビューページでのみ表示されます。

タップすると、ビューページのすべての返答文書が省略されます。

▼ 再読み込み (C)

表示しているページを Web ブラウザのキャッシュを破棄して読み込み直します。

▼ このアプリをフォロー (♡)

「smaconne ユーザー設定」アプリが設定されていて、基本設定で「フォロー ボタンを表示する」チェックボックスが ON で、当該の Notes アプリをフォローしていない場合に表示されます。

▼ このアプリのフォローを終了 (♡)

「smaconne ユーザー設定」アプリが設定されていて、基本設定で「フォロー ボタンを表示する」チェックボックスが ON で、当該の Notes アプリをフォローしている場合に表示されます。

タップすると、「このアプリのフォローを終了してもよろしいですか？」と確認ダイアログが表示されますので、[OK] または [キャンセル] ボタンをタップしてください。

▼ このページをブックマーク... (M)

「smaconne ユーザー設定」アプリが設定されている場合のみ表示されます。

タップすると、「新規のブックマーク」ダイアログが開きます。「新規のブックマーク」には表示しているペ

ージの「ページ名」や「ページ URL」が自動でセットされます。[保存] ボタンをタップすると、ブックマークを保存します。

[ダイアログを閉じる] ボタンまたはダイアログの左上隅にある [X] ボタンをタップすると、ダイアログを閉じます。

▼ ブックマークを開く... (🔖)

「smaconne ユーザー設定」アプリが設定されている場合のみ表示されます。

タップすると、「ブックマーク」ダイアログが開きます。

タグが設定されている場合、両端が丸いボタンが表示されます。

[タグ選択なし] ボタンをタップすると、すべてのブックマークが表示されます。

いずれかのタグボタンをタップすると、そのタグが指定されたブックマークが表示されます。

任意のブックマークをタップすると、そのページが開きます。

ダイアログの左上隅にある [X] ボタンをタップすると、ダイアログを閉じます。

▼ 現在地を取得 (📍)

「Notes アプリ設定」文書にて [[現在地を取得] ボタンを表示する] チェックボックスが ON の場合、[現在地を取得] ボタンが表示されます。

このボタンをタップすると、「現在地を取得」ダイアログが開き、デバイス (OS) および Web ブラウザで位置情報へのアクセスが許可されている場合は現在地の緯度、経度、住所 (丁目まで) が表示されます。

「現在地を取得」ダイアログの各ボタンの機能は以下の通りです。

- [緯度と経度をコピー] ボタン: このボタンをタップすると、表示されている緯度と経度をクリップボードにセットします。
- [住所をコピー] ボタン: このボタンをタップすると、表示されている住所 (丁目まで) をクリップボードにセットします。

[ダイアログを閉じる] ボタンまたはダイアログの左上隅にある [X] ボタンをタップすると、ダイアログを閉じます。

▼ URL をメール (✉)

「Notes アプリ設定」文書にて [[URL をメール] ボタンと [URL をコピー] ボタンを表示しない] チェックボックスが OFF で、表示しているページの URL のメールが許可されている場合、[URL をメール] ボタンが表示されます。



このボタンをタップすると、システムで設定されているメーラーが立ち上がり、新規のメール画面の件名にページ名、本文にページの URL をセットします。

▼ URL をコピー (📋)

「Notes アプリ設定」文書にて [「URL をメール」ボタンと「URL をコピー」ボタンを表示しない] チェックボックスが OFF で、表示しているページの URL のコピーが許可されている場合、[URL をコピー] ボタンが表示されます。

このボタンをタップすると、ページの URL をクリップボードにセットします。メモアプリなどでペーストすると、クリップボードにセットされたページの URL がペーストされます。

なお、この機能はセキュアブラウザによっては、別のアプリとクリップボードが共有されていないため利用できないことがあります。

▼ Cookie とユーザー設定を削除... (🗑️)

「smaconne ユーザー設定」アプリが無い場合は表示されるボタンのラベルは「Cookie を削除...」と表示されます。

このボタンをタップすると、「Cookie とユーザー設定削除」ダイアログが表示されます。

「Cookie とユーザー設定削除」ダイアログは、「smaconne ユーザー設定」アプリが無い場合は「Cookie 削除」ダイアログと表示され、[ユーザー設定を削除] ボタンと [Cookie とユーザー設定を削除] ボタンは表示されません。

各ボタンの機能は以下の通りです。

- [Cookie を削除] ボタン: smaconne で利用している Cookie を削除します。ご利用の Domino Web サーバーの設定によっては同時にログアウトすることがあります。その場合は、改めてログインしてください。
- [ユーザー設定を削除] ボタン: ログインユーザーのユーザー設定を削除します。
- [Cookie とユーザー設定を削除] ボタン: [Cookie を削除] ボタンと [ユーザー設定を削除] ボタンを連続して実行します。

なお、以下の Cookie とユーザー設定文書は削除しません。

- カレンダーのオーバーレイ設定
- ブックマークの並び順設定
- ブックマーク

[ダイアログを閉じる] ボタンまたはダイアログの左上隅にある [X] ボタンをタップすると、ダイアログを閉じます。

▼ このビューを書き出す (📄)

[Admin] ロールを割り当てられたユーザーが PC の Web ブラウザまたは PWA でビューページを開いた際にのみ表示されます。

このボタンをクリックすると、Web ブラウザでダウンロード先として設定されているフォルダに、開いているビューを XML ファイルとして保存します。

初めて書き出す場合は、ダウンロードの許可を求めるダイアログが表示されることがあります。その際は、許



可してください。

▼ この文書を書き出す (↓)

[Admin] ロールを割り当てられたユーザーが PC の Web ブラウザまたは PWA で文書の参照ページを開いた際にのみ表示されます。

このボタンをクリックすると、Web ブラウザでダウンロード先として設定されているフォルダに、開いている文書の以下をすべて保存します。

- 添付ファイル

添付ファイルがある場合のみ。

ほかとファイル名が重複するのを避けるために、添付ファイル名の頭に文書のユニバーサル ID + 「_」を付加して保存します。

- リッチテキストフィールドに埋め込まれた画像ファイル

埋め込み画像がある場合のみ。Base64 にエンコードされた画像は対象外です（リッチテキストフィールドの HTML コードとしてそのまま書き出します）。

Domino が自動で割り振った画像ファイル名の場合、その画像フォーマットを付加してファイル名とします。例えば、画像ファイルの src 引数で以下のような URL がセットされている場合は、ファイル名は「0.328.jpg」となります。

```
https://www.smaconne.com/sample.nsf/0/3cb5dcd6cef105bp4925873c0004b28b/Body/0.328?OpenElement&FieldElemFormat=jpg
```

さらに、ほかとファイル名が重複するのを避けるために、ファイル名の頭に文書のユニバーサル ID + 「_」を付加して保存します。

- XML ファイル

「noteinfo」として、文書の NoteID とユニバーサル ID を書き出します。

フィールド名ごとに値を書き出しますし、smaconne で「式」を定義しているものは「formula-XX」（XX は数字）という名前で書き出します。

リッチテキストフィールドは CDATA セクションに HTML コードとして書き出します。リッチテキストフィールドに埋め込み画像がある場合は、画像ファイルの src 引数を上記の画像ファイル名に置換します。

文書リンクやビューリンク等は smaconne で変換したものをそのまま出力します。

ファイル名はユニバーサル ID + 「.xml」となります。

初めて書き出す場合は、ダウンロードの許可を求めるダイアログが表示されることがあります。その際は、許可してください。

▼ 印刷 (🖨)

表示しているページを印刷用に最適化して印刷します。

▼ ウィンドウを閉じる (✕)

表示している Web ブラウザのウィンドウ（タブ）を閉じます。

なお、Web ブラウザの仕様によっては、このボタンをタップしても閉じません。

▼ ログイン名

smaconne を利用するためにログインしているユーザー名（別名があれば、その別名）を表示します。

▼ ログアウト (🔒)

[ログアウト] ボタンをタップすると、接続している Domino サーバーのセッションを切断してログアウトします。ログアウトして遷移する先は smaconne のアプリ一覧ページです。

セキュアブラウザ以外の Web ブラウザで smaconne をご利用の場合は、ぜひご利用ください。

ビューの数やアクションボタンの数が多い場合の操作

画面サイズが小さめのスマートデバイスでは、ビューやアクションボタンが画面に収まらないことがあります。

そのような場合は、ビューの一覧部分を上下にスクロールしたり、アクションボタンの部分を左右にスクロールしたりして、目的のものが表示されるようにしてご利用ください。



カレンダーの使い方

iPhone や Android スマートフォンの場合は smaconne を利用している現在日付の 1 日カレンダーをデフォルト表示し、それ以外の iPad や PC の Web ブラウザの場合は smaconne を利用している現在日付を含む週の 1 週カレンダーをデフォルト表示します。週の始まりは日曜日固定です。

カレンダーの時刻スロットに smaconne を利用している現在時刻を赤線で表示し、その時刻に応じて時刻スロットを自動でスクロールして表示します。

smaconne が動作する Domino のバージョンが 8.5 以降の場合、未読のカレンダーエントリは ★ が行頭に表示されます。

なお、smaconne で文書を新規作成/編集した後に、その文書を作成者自身が文書一覧ページで表示した場合は、未読としてマークされます。

1 日カレンダーと 1 週カレンダーの画面を元に各ボタンの機能を以下に記載します。

※ 日またがりのカレンダーエントリには対応していません。

1 日カレンダー

ヘッダーに表示している日付が表示されます。

▼ 前週

表示している日付を含む週の前の週を週間見出しに表示し、その週で表示している日付と同じ曜日の 1 日カレンダーを表示します。

▼ 次週

表示している日付を含む週の次の週を週間見出しに表示し、その週で表示している日付と同じ曜日の 1 日カレンダーを表示します。

▼ 1 週

表示している日付を含む週の 1 週カレンダーを表示します。

▼ 今日

smaconne を利用している現在日付を含む週を週間見出しに表示し、現在日付の 1 日カレンダーを表示します。

▼ 日付 (曲)

表示している日付を含む月のカレンダーをダイアログ表示します。予定がある日付の下にはグレーのマークが表示されます。

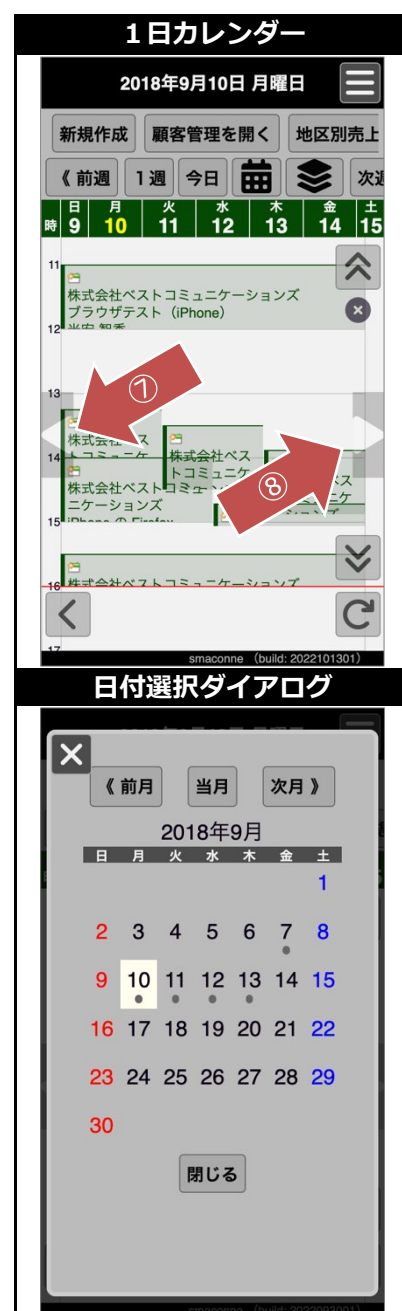
月間カレンダーは [前月] ボタンと [次月] ボタンで月を変更することができます。

[当月] ボタンをタップすると、smaconne を利用している現在日付を含む月のカレンダーを表示します。

任意の日付をタップすると、日付選択ダイアログを開いて、その日付を含む週を週間見出しに表示し、その日付の 1 日カレンダーを表示します。

[閉じる] ボタンまたはダイアログの左上隅にある [X] ボタンをタップしても、日付選択ダイアログを閉じます。

▼ 週間見出し



表示されている日付が黄色で表示されます。

任意の日付をタップすると、その日付の1日カレンダーを表示します。

▼ 前の日 (⑦)

表示している日付の前日の1日カレンダーを表示します。

▼ 次の日 (⑧)

表示している日付の次日の1日カレンダーを表示します。

1 週カレンダー

ヘッダーに選択している日付が表示されます。また、選択されている日付のスポットが薄い黄色で表示されます。

▼ 前週

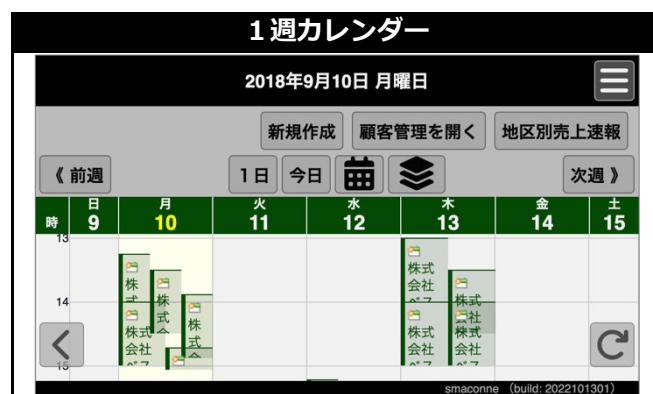
表示している週の前週を週間見出しと1週カレンダーを表示します。

選択されている日付と同じ曜日が選択された状態となります。

▼ 次週

表示している週の次の週を週間見出しと1週カレンダーを表示します。

選択されている日付と同じ曜日が選択された状態となります。



▼ 1 日

選択されている日付を1日カレンダーとして表示します。

▼ 今日

smaconne を利用している現在日付を含む週を週間見出しと1週カレンダーを表示し、現在日付が選択された状態となります。

▼ 日付 (📅)

表示している週を含む月のカレンダーをダイアログ表示します。予定がある日付の下にはグレーのマークが表示されます。

月間カレンダーは「前月」ボタンと「次月」ボタンで月を変更することができます。

「当月」ボタンをタップすると、smaconne を利用している現在日付を含む月のカレンダーを表示します。

任意の日付をタップすると、日付選択ダイアログを閉じて、その日付を含む週を週間見出しと1週カレンダーに表示し、その日付が選択された状態となります。

「閉じる」ボタンまたはダイアログの左上隅にある「✕」ボタンをタップすると、日付選択ダイアログを閉じます。

▼ 週間見出し

選択されている日付が黄色で表示されます。

任意の日付をタップすると、その日付が選択された状態となります。

タスク等の表示/非表示

タスクや祝日、終日の予定がある場合は、週間見出しのすぐ下にそれらを表示します。

これらを非表示にする場合は、[- タスク等を表示しない -] ボタンをタップします。タスク等を表示する場合は、[- タスク等を表示する -] ボタンをタップします。

カレンダーのオーバーレイ表示

「smaconne ユーザー設定」アプリが設定されている場合のみ 1 日カレンダーと 1 週間カレンダーにはほかのカレンダーを重ねて表示することができます。

重ねて表示するカレンダーは以下の手順で設定します。

1. 任意のカレンダービューページを開く。

初めて設定する場合

2. 「ほかのカレンダーを表示」ボタン (≡) ※をタップする。(①)
3. 「ほかのカレンダーを表示」ダイアログで、「ほかのカレンダーを追加」ボタンをタップする。(②)
「閉じる」ボタンまたはダイアログの左上隅にある [X] ボタンをタップすると、ダイアログを閉じます。
4. 「ほかのカレンダーを追加」ダイアログで、表示対象とするカレンダーのチェックボックスを ON にして、「保存」ボタンをタップする。(③)
5. 「閉じる」ボタンをタップしてダイアログを閉じると、カレンダービューページが再表示されて選択したカレンダーがオーバーレイされる。

2 回目以降の場合

6. 「ほかのカレンダーを表示」ボタン (≡) ※をタップする。(④)
7. 「ほかのカレンダーを表示」ダイアログで、表示するカレンダーのチェックボックスを ON にして、「保存」ボタンをタップ



する。(⑤)

8. 「閉じる」ボタンをタップしてダイアログを閉じると、カレンダービューページが再表示されて選択したカレンダーがオーバーレイされる。
9. 「ほかのカレンダーを表示」ダイアログに表示されるカレンダーをさらに追加する場合は、「ほかのカレンダーを追加」ボタンをタップして 4.を実施する。(⑥)
10. 「ほかのカレンダーを表示」ダイアログに表示されるカレンダーを削除する場合は、「ほかのカレンダーを追加」ボタンをタップして 4.で削除するカレンダーのチェックボックスを OFF にする。(⑦)

※ 「smaconne ユーザー設定」アプリが設定されていない場合は表示されません。

以上で設定したカレンダーは Web ブラウザの Cookie に保存されます。また、「smaconne ユーザー設定」アプリが設定されている場合には、「smaconne ユーザー設定」アプリにもカレンダーオーバーレイ設定情報が格納されて、セキュアブラウザを起動し直した際や別の Web ブラウザで開いた際に「再読み込み」ボタン (🔄) をタップすることで設定情報を呼び出すことができます。

重ねて表示するカレンダーが多いために一度にすべてをオーバーレイできない場合は、「再読み込み」ボタン (🔄) をタップしてください。

文書の参照ページの使い方

文書一覧で任意の文書をタップすると、文書の参照ページが表示されます。

文書の参照ページは設定に応じて以下のように表示されます。

▼ フィールド

「ラベル名」が入力されているフィールドのみ表示されます。

なお、「ラベル名」が入力されていても値が無いフィールドは表示しません。「式」を設定しているフィールドについても、計算結果で値が無い場合は表示しません。

▼ セクション (①)

「フォーム情報」の「フィールド名」で「- 見出し -」が設定されているフィールドから次の「- 見出し -」フィールドまたは最後までセクションとして表示されます。セクションは、文書を開いた時点では全て閉じています。セクションの見出し行をタップすると開き、もう一度タップすると閉じます。

なお、文書にファイルが添付されていて、「Notes アプリ設定」文書にてその参照が許可されている場合は、セクションに関係なくページの下に自動で「添付ファイル」という表示項目に添付ファイルの一覧を表示します。



▼ 「前の文書」 「次の文書」 (②)

文書の表示に利用しているビューで前後いずれかに文書がある場合は、「前の文書」 「次の文書」 ボタンがページの左右二カ所にオーバーレイして表示されます。それらのボタンをタップすると、各文書の参照ページへ遷移します。

▼ アクションボタン (③)

「アクション情報」 - 「フォームのアクション」 で設定された「ボタン・ラベル名」が入力されているフォームアクションが、ページの上に固定して表示されます。

▼ 全画面表示/解除ボタン

リッチテキストフィールドのラベルの右端にある「」 ボタンをタップすると、そのリッチテキストフィールドの内容をフルスクリーンで（PC の Web ブラウザの場合は Web ブラウザのウィンドウ一杯に）表示します。フルスクリーン表示のリッチテキストフィールドのラベルの右端にある「」 ボタンをタップすると、元の表示に戻ります。



▼ すべて保存

添付ファイルがある場合に PC の Web ブラウザまたは PWA でのみ表示されます。

このボタンをクリックすると、Web ブラウザでダウンロード先として設定されているフォルダに、文書に添付されているファイルをすべて保存します。

初めてすべて保存する場合は、ダウンロードの許可を求めるダイアログが表示されることがあります。その際は、許可してください。

▼ 操作ペイン

ページの右上にある「」 ボタンをタップすると、各ビューへのリンクボタンやフォントサイズ変更ボタン等の操作ペインが表示されます。もう一度「」 ボタンをタップするか、または画面左側のグレーの部分をつ



プすると、操作ペインを閉じます。

操作ペインの内容は、「ビューページの使い方」の「操作ペイン」と同じです。

文書の編集ページの使い方

以下のいずれかの場合、該当のアクションボタンをタップすると、smaconne によって生成された文書の編集ページが表示されます。

- 「ビューのアクション」設定文書で「smaconne で、フォームを指定して新規文書作成モードで開く」アクションが設定されている
- 「フォームのアクション」設定文書で「smaconne で、文書を編集モードで開く」アクションが設定されている
- 「フォームのアクション」設定文書で「smaconne で、フォームを指定して新規の返答文書を作成モードで開く」アクションが設定されている

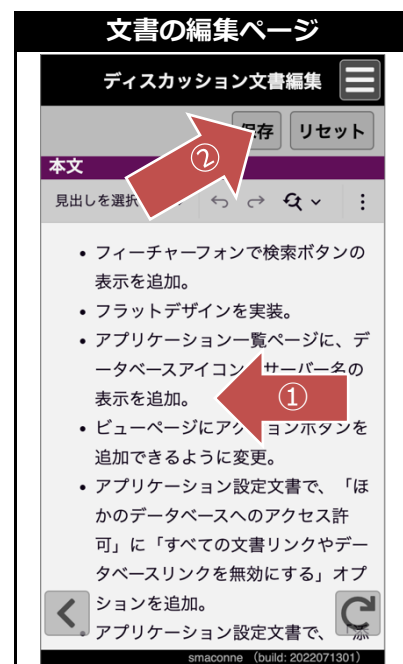
文書の編集ページは設定に応じて以下のように表示されます。

▼ 入力フィールド等 (①)

「フォーム情報」の「表示するフィールド」項の smaconne で文書を作成/編集する際の設定に基づいて表示されます。

文書の参照ページでは値の無いフィールドは非表示ですが、文書の編集ページでは「ラベル名」と「編集時の種類」が設定されていて、非表示設定になっていなければ表示されます。

入力フィールドの種類と操作等については、以下をご参照ください。



入力フィールドの種類	操作等
テキスト	フィールドをタップして、テキストを入力してください。
テキストエリア	フィールドをタップして、テキストを入力してください。 改行して複数行を入力することができます。
リッチテキスト	フィールドをタップして、テキストを入力してください。 さらに、以下を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 貼り付け（オフィス文書、画像等を含む） • 段落設定（見出し等） • 元に戻す/やり直し • 検索と置換 • フォントファミリー設定（明朝体/ゴシック体等） • フォントサイズ設定（小/大等） • 太字 • イタリック • アンダーライン

入力フィールドの種類	操作等
	<ul style="list-style-type: none"> • 打ち消し線 • 文字色 • ハイライト • 文字揃え（左揃え/中央揃え等） • インデントを削除/追加 • 箇条書きリスト • 番号付きリスト • ToDo リスト • 引用（ブロッククオート） • コードブロックを挿入（HTML/JavaScript 等） • リンク設定 • 画像を挿入（各種プロパティ設定等） • 表を挿入（各種プロパティ設定等） • 水平線を挿入 • ソース編集
数値	フィールドをタップして、数値を入力してください。
日付	プルダウンメニューをタップして、日付を選択してください。
時間	プルダウンメニューをタップして、時間を選択してください。
プルダウン	<p>プルダウンメニューをタップして、1つだけ選択してください。</p> <p>PC の Web ブラウザでキーボードによって操作する場合は、上下キーで選択肢を移動して、[Enter] キーで選択してください。</p>
セレクトボックス	<p>セレクトボックスをタップして、複数選択してください。</p> <p>PC の Web ブラウザでキーボードによって操作する場合は、上下キーで選択肢を移動して選択してください。複数選択する場合は、[Control] キーを押下したまま上下キーで2つ目以降の選択肢に移動して [Space] キーで選択してください。</p>
チェックボックス	<p>チェックボックスをタップして、複数選択してください。</p> <p>PC の Web ブラウザでキーボードによって操作する場合は、[Tab] キーで選択肢を移動して、[Space] キーで選択してください。</p>
ラジオボタン	<p>ラジオボタンをタップして、1つだけ選択してください。</p> <p>PC の Web ブラウザでキーボードによって操作する場合は、上下キーで選択肢を移動して選択してください。</p>
ファイル添付	[ファイルを選択] ボタンをタップして、添付するファイルを複数選択してください。

入力フィールドの種類 操作等

選択したファイルを取り消す場合は、ファイルを選択し直すか、または[ファイル選択をクリア] ボタンをタップしてください。

▼ アクションボタン (②)

smaconne が生成する文書の編集ページのアクションボタンは[保存して閉じる] (または[保存]) と[リセット] 2つで固定です。

- [保存して閉じる] ボタンまたは[保存] ボタン

文書の編集ページで入力した値を参照先の Notes アプリに格納します。

入力フォームで保存した後にページを遷移しないようにする設定の場合は[保存] と表示され、保存結果がダイアログで表示されます。そうでない場合は[保存して閉じる] と表示され、ページが遷移します。

※ smaconne では自動保存できませんので、文書を編集した際には必ず[保存して閉じる] ボタンまたは[保存] ボタンをタップして保存してください。保存せずに前のページに戻ったり別のページを開いたりしますと、編集内容が失われますので、ご注意ください。

※ [保存] ボタンをタップした後、ダイアログに[エラーを修正して改めて保存する] ボタンが表示される場合があります。このボタンはダイアログにエラーメッセージが表示された時のみに使うようにしてください。もしエラーでなく正常に保存された後に[エラーを修正して改めて保存する] ボタンをタップして再度[保存] ボタンをタップすると同じ内容の文書が別に作成されます。

※ smaconne で保存した文書は未読マークが付加されます。文書保存時には制御が実際の Notes アプリの方に移ってしまい、smaconne の制御外となってしまうため、ご了解ください。

入力エラー時や保存後の画面遷移は、フォームの設定に基づいて動作します。それぞれに関する詳細については「参照先アプリの設定等」の「入力チェック」と「文書保存後の自動ページ遷移」「文書保存後にページ遷移しないようにする設定」をご参照ください。

- [リセット] ボタン

文書の編集ページで入力した値をページを開いた時の状態に戻します。

「基本設定」の「文書の編集ページ表示設定」にて[[リセット] ボタンを非表示にする] チェックボックスを ON に設定している場合は[リセット] ボタンは表示されません。

※ リッチテキストエディタについては、あいにくこのボタンの対象外となってしまうので、リッチテキストエディタ内の[元に戻す] ボタンを使って、元に戻してください。

[リセット] ボタンを使わずに[戻る] ボタンなどで前のページ等に遷移した場合は、編集内容が保存されませんので、結果的にページを開いた時の状態に戻ります。

入力チェック

smaconne でフォームを送信する場合、入力内容は大きく 2 つの方式でチェックされ、動作内容も異なります。

smaconne の「フォーム情報」の「編集時の入力チェック」で[入力必須項目] チェックボックスが ON の場合

smaconne の画面内にて入力必須をチェックします。

未入力項目がある場合、ページ遷移せず、未入力のフィールドに入力必須のメッセージが表示されます。なお、

メッセージ等の表示内容や方式はご利用の Web ブラウザによって異なります。

参照先のアプリの設定を利用する場合

元のフォームで設定されているフィールドの「入力の確認」や WebQuerySave イベントをそのまま使ってチェックします。詳しくは、「参照先アプリの設定等」の「入力チェック」の項をご参照ください。

未入力項目がある場合、ページ遷移して上記処理に基づいてメッセージが表示されるなどします。

添付ファイルの操作

添付ファイルの参照

文書にファイルが添付されていて、「Notes アプリ設定」文書でその参照が許可されている場合は、文書の参照ページにて自動で「添付ファイル」という表示項目に添付ファイルの一覧を表示します。

添付ファイルの一覧は smaconne 管理者の設定によって文書の参照ページの上部分または下部分（デフォルト）に表示されます。

なお、Notes/Domino では同名のファイルが添付された場合、同名 2 つ目以降のファイル名が「ATT」で始まる 8 文字に変換されることがあります。添付ファイル一覧では、この変換されたファイル名で表示し、ダウンロードしてもそのファイル名となります。

添付ファイルの削除

文書にファイルが添付されていて、「Notes アプリ設定」文書でその削除が許可されている場合は、文書の編集ページにて自動で「添付ファイル」という表示項目に削除のためのチェックボックス付き添付ファイル一覧を表示します。

添付ファイルの追加

「Notes アプリ設定」文書でファイルの添付（アップロード）が許可されている場合は、文書の編集ページにて自動でファイルのアップロードボタンを表示します。

添付するファイルの数に制限はありません。

ファイルを添付する手順は以下の通りです。

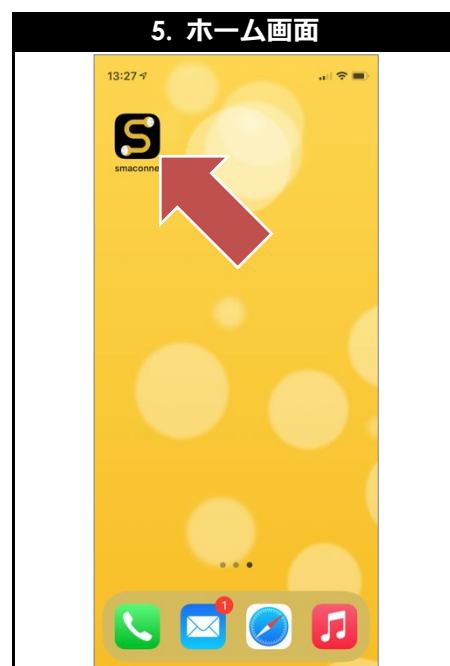
1. 文書の編集ページを開きます。
2. 各フィールドを入力します。
3. 「ファイル添付」の「ファイルを選択」ボタン（ブラウザによって「参照…」など表記が異なります）をタップします。
4. 添付するファイルを必要なだけ選択して「開く」ボタン（ブラウザによって「完了」など表記が異なります）をタップします。
「ファイル選択をクリア」ボタンをタップすると、選択したファイルのリストがクリアされます。
5. 「保存して閉じる」ボタンまたは「保存」ボタンをタップします。



PWA としての利用

ホーム画面に追加

1. 「アプリ一覧」ページを表示します。
2. Safari の「共有」ボタンをタップします。
3. 「ホーム画面に追加」ボタンをタップします。
4. 「ホームに追加」画面で名前を入力して、「追加」ボタンをタップします。
5. iPhone のホーム画面に smaconne のアイコンが追加されて表示されます。



smaconne PWA を起動

1. ホーム画面に追加した「smaconne」アイコンをタップします。
2. ログインページが表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。

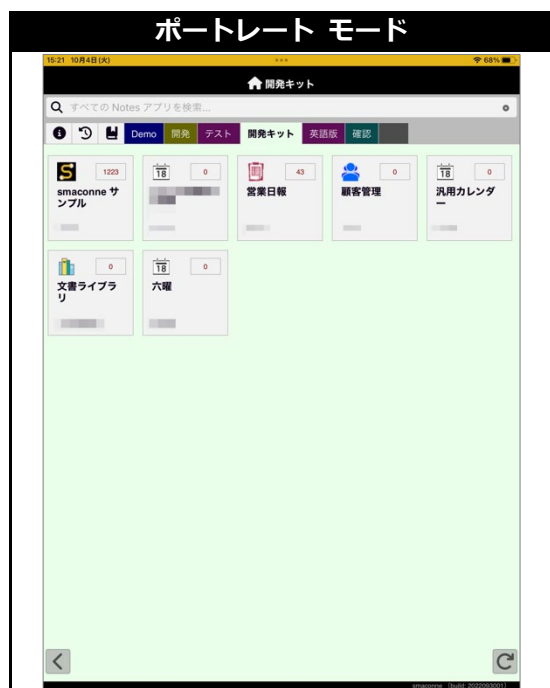
以降は、「スマートデバイスの Web ブラウザによる利用」の「アプリ一覧ページの使い方」以降と同じです。

タブレット用インターフェース

iPad などランドスケープ モード（横向き）で横幅が 800 ピクセル以上あるスマートデバイスでは、タブレット用インターフェースで表示されます。このインターフェースでは、アプリ一覧ページは Notes のワークスペース・ライクなタイル表示となります。アプリ一覧ページ以外のビューページ、文書の参照ページ、文書の編集ページでは、画面の左側に操作ペインが常時表示されます。

基本的な使い方は、iPhone の場合と同じです。以下に iPad の Safari の画面例をご紹介します。

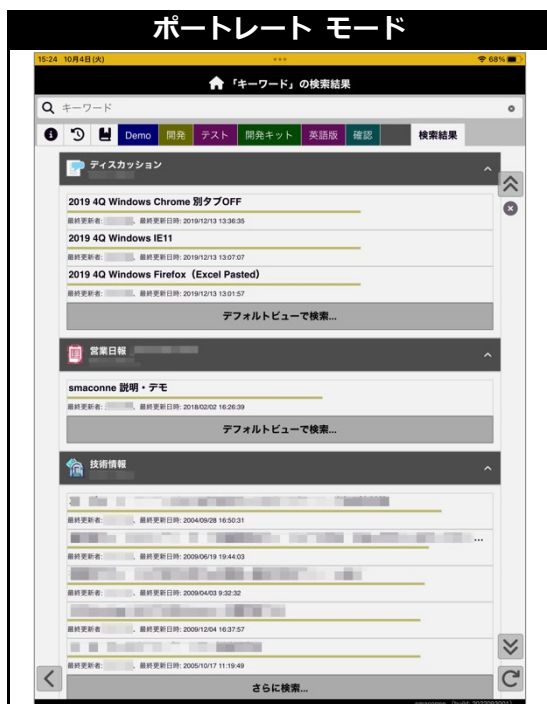
アプリ一覧ページ



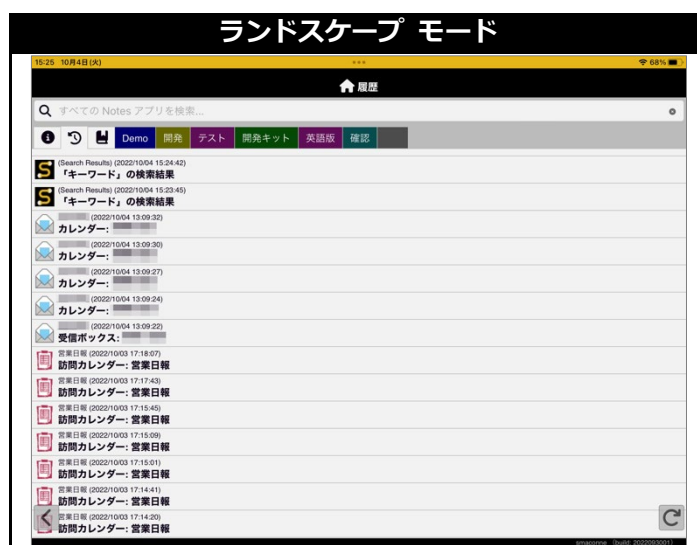
アプリ一覧ページ - 「お知らせ」タブ



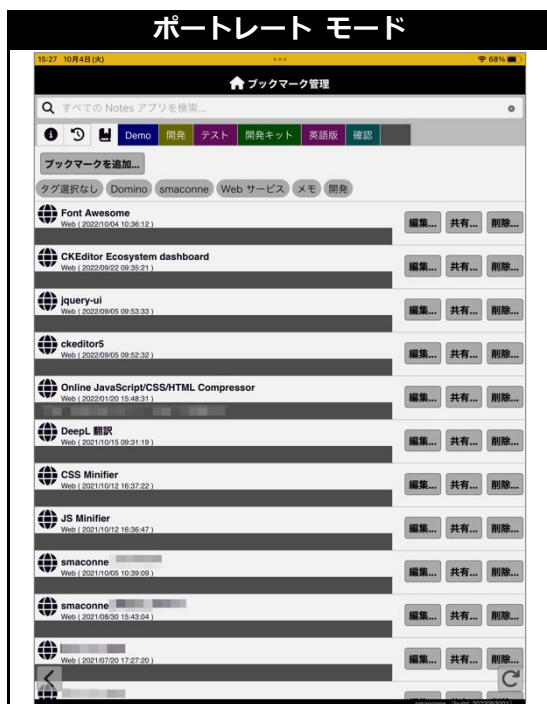
アプリ一覧ページ - 「検索結果」タブ



アプリ一覧ページ - 「履歴」タブ



アプリ一覧ページ - 「ブックマーク管理」タブ



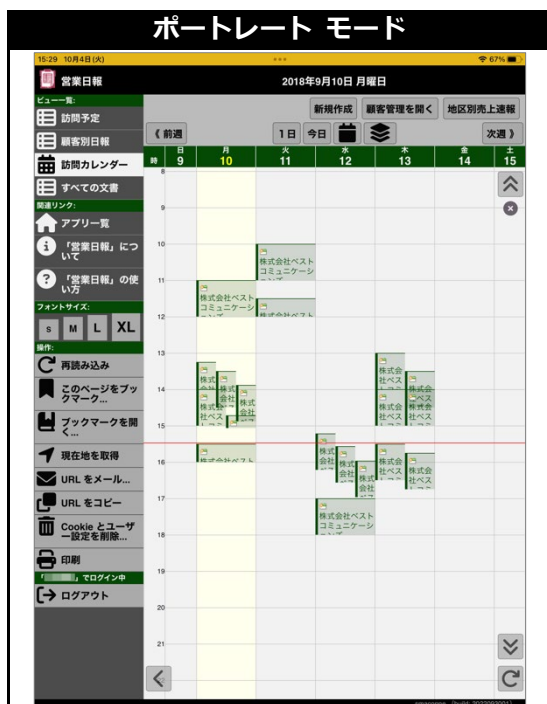
ビューページ



ビューページ - カテゴリー一覧



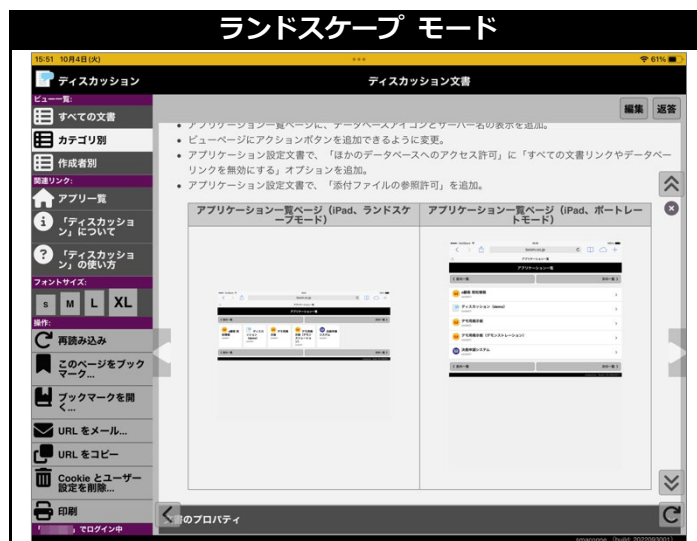
ビューページ - 1週カレンダー



ビューページ - 1日カレンダー



文書の参照ページ



文書の編集ページ



CACHATTO SecureBrowser による利用

CACHATTO の設定

smaconne を CACHATTO SecureBrowser でご利用になる場合は、CACHATTO のポータル設定に smaconne を追加してください。

V4.6 R1 以降の CACHATTO をご利用の場合は、ポータル設定では、「サイトタイプ」に「**PC ページ (SecureBrowser 変換)**」を指定してください。

V4.6 R1 よりも前のバージョンの CACHATTO をご利用の場合は、ポータルパターン設定を行った上で、ポータル設定の「サイトタイプ」に「PC ページ(サーバー変換)」を指定してください。

詳細な手順については、CACHATTO の運用マニュアルをご参照ください。

CACHATTO SecureBrowser での利用手順

CACHATTO SecureBrowser でのご利用手順は以下の通りです。

1. 通常の利用と同様にログインして、CACHATTO TOP ページを表示します。
2. [ポータル] をタップします。
3. 「ポータルサイト一覧」でポータル設定に追加したポータルサイト（例えば、smaconne）をタップします。
4. アプリ一覧が表示されます。

以降は、「スマートデバイスの Web ブラウザによる利用」の「アプリ一覧ページの使い方」以降と同じです。

更新履歴

日付	内容
2020 年 11 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「インストール/セットアップ」章の以下の項にヘルプの URL を追加。 <ul style="list-style-type: none"> • <u>Domino Web サーバーの設定</u> • <u>シングルサインオン (SSO) の設定</u> ▼ 「基本設定」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 画面イメージを差し替え。 • 「iPad/PC ブラウザ動作設定」の項に PWA として利用する際の記述を追加。 • 「PWA (Progressive Web App)」の項を追加。 ▼ 「タブ設定」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 画面イメージを差し替え。 ▼ 「smaconne のアクセスログ取得」章の「ビュー」で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 画面イメージを差し替え。 • 「デバイス別」ビューと「ブラウザ別」ビューを追加。 ▼ 「PWA として利用するための設定」章を追加。 ▼ 「スマートデバイスでの利用」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 画面イメージを差し替え。 • 「アプリ一覧ページの使い方」の項で、「再読み込みボタン (①)」と「タブ」、「履歴」の内容を更新。 • 「アプリ一覧ページの使い方」の項で、「戻るボタン (②)」を追加。 • 「PWA としての利用」の項を追加して、「ホーム画面に追加」をその中に移動。 • 「タブレット用インタフェース」の項に「アプリ一覧ページ - 「履歴」タブ」を追加。
2021 年 2 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「「アプリ設定」文書の作成」章で以下の内容を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 「ビュー」項に「[タブ設定] ボタン」の項を追加。 • 「ビュー設定文書を設定する」項の「カレンダービューの場合」に「オーバーレイして表示できるカレンダーの条件」を追加。 • 「ビュー設定文書を設定する」項に「返答文書のデフォルト表示」を追加。 ▼ 「スマートデバイスでの利用」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 「アプリ一覧ページの使い方」の「履歴」の項に「[さらに表示...] ボタン」に関する記述を追加。 • 「操作ペイン」に「返答文書をすべて展開」と「返答文書をすべて省略」の項を追加。
2021 年 6 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「インストール/セットアップ」章の以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 「Domino Web サーバーの設定」の項に、Google Chrome の混合コンテンツブロックの仕様とその対応について注釈を追加。

日付	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「「Notes アプリ設定」文書を作成/編集する」の項の以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 「基本情報」の「プロトコル」の項に、Google Chrome の混合コンテンツブロックの仕様とその対応について注釈を追加。 • 「ビュー情報」の項の画面イメージを差し替え。 ▼ 「基本設定」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 画面イメージを差し替え。 • 「[[履歴] タブを表示する] チェックボックス」の項に履歴タブのアイコンを追加。 • 「アピアランス」の項を追加。 ▼ 「お知らせ設定」で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 画面イメージを差し替え。 • アイコンを新しいものに変更。 ▼ 「タブ設定」で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 画面イメージを差し替え。 • 「タブ設定」文書を1つも作成していない場合、またはすべての「タブ設定」文書が使用しないようになっている場合の記述を修正。 ▼ 「PWA として利用するための設定」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 「Domino サーバーで SSL を設定」の項に、Google Chrome の混合コンテンツブロックの仕様とその対応について注釈を追加。 ▼ 「スマートデバイスでの利用」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 画面イメージを差し替え。 • アイコンを新しいものに変更。 • 「アプリ一覧ページの使い方」の「検索」の項で、検索に使ったキーワードに関する記述を追加。 • 「操作ペイン」の「フォントサイズ」の項で、[小] [中] [大] を [S] [M] [L] に変更し、[XL] の記述を追加。 • 「文書の参照ページの使い方」の項に「全画面表示/解除ボタン」の記述を追加。
2021 年 8 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「アクション情報」の項で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 「ビューアクション設定文書を設定する」で「ビューアクション設定」文書の画面イメージを差し替え。 • 「ビューアクション設定文書を設定する」で「実行方式」に「JavaScript を動かす」の項を追加。 • 「フォームアクション設定文書を設定する」で「フォームアクション設定」文書の画面イメージを差し替え。 • 「フォームアクション設定文書を設定する」で「実行方式」に「JavaScript を動かす」の項を追加。 ▼ 「参照先アプリの設定等」章で以下を変更。

日付	内容
	<ul style="list-style-type: none"> 「<u>リッチテキストフィールド</u>」の「<u>フォントサイズ</u>」の項で、フォントサイズの大きさに関する記述を変更。 <p>▼ 「<u>マルチデバイスで Cookie 情報を共有</u>」章で以下を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「<u>「smaconne ユーザー設定」アプリの概要</u>」の項に、ブックマーク機能の記述を追加。 「<u>ACL 設定例</u>」の「一般の利用者」の「オプション権限」を変更。 「<u>ビュー</u>」の項に、ブックマークに関する記述を追加。 <p>▼ 「<u>スマートデバイスでの利用</u>」章で以下を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> ダイアログのある画面イメージを差し替えて、ダイアログを閉じるボタンの記述を追加。 「<u>アプリ一覧ページの使い方</u>」の項に、「<u>ブックマーク管理</u>」を追加。 「<u>操作ペイン</u>」の項に、「このページをブックマーク...」と「ブックマークを開く...」を追加。 「<u>操作ペイン</u>」の「<u>フォントサイズ</u>」の項で、フォントサイズの大きさに関する記述を変更。
2021 年 10 月 22 日	<p>▼ 「<u>「Notes アプリ設定」文書を作成/編集する</u>」の項の以下を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「<u>基本情報</u>」の画面イメージを差し替え。 「<u>基本情報</u>」の「表示制御」の項に、「[[現在地を取得] ボタンを表示する] チェックボックスを追加。 <p>▼ 「<u>基本設定</u>」の章で以下の内容を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面イメージを差し替え。 「<u>Cookie とユーザー設定</u>」の項を追加。 <p>▼ 「<u>スマートデバイスでの利用</u>」の項で以下の内容を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「<u>操作ペイン</u>」に「[[現在地を取得] ボタンと [Cookie とユーザー設定を削除...] ボタンに関する記述を追加。 「<u>操作ペイン</u>」の「<u>新規のブックマーク</u>」ダイアログの画面イメージを差し替え。
2022 年 2 月 9 日	<p>▼ 「<u>インストール/セットアップ</u>」章で、以下の内容を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「<u>smaconne アプリの ACL 設定</u>」項の「<u>ロールについて</u>」に [Creator] ロールを追加。 「<u>smaconne アプリの ACL 設定</u>」項の「<u>ACL 設定例</u>」に「Excel 連携」機能利用者を追加。 <p>▼ 「<u>「Notes アプリ設定」文書を作成/編集する</u>」章で以下の内容を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「<u>基本情報</u>」項の「<u>プロトコル</u>」と「<u>ホスト名 (FQDN)</u>」に同じサーバーにある「<u>Notes アプリ設定</u>」文書が無い場合の記述を追加。 <p>▼ 「<u>Excel 連携</u>」章を追加。</p>

日付	内容
2022 年 5 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「<u>基本設定</u>」の章で以下の内容を変更。 <ul style="list-style-type: none"> 画面イメージを差し替え。 「<u>ビューページ表示設定</u>」の項から「<u>〔自動で更新しない〕</u> チェックボックス」を削除。 ▼ 「<u>「Notes アプリ設定」文書を作成/編集する</u>」の項の以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> 「<u>smaconne で文書作成/編集する場合の設定</u>」の「<u>編集時の選択肢</u>」を「<u>編集時の選択肢/プレースホルダ</u>」へ変更し、「<u>プレースホルダとなる条件</u>」とプレースホルダに関する記述を追加した。
2022 年 7 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「<u>アクション情報</u>」の項で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> 「<u>ビューアクション設定文書を設定する</u>」で「<u>ビューアクション設定</u>」文書の画面イメージを差し替え。 「<u>ビューアクション設定文書を設定する</u>」で「<u>アクションボタンを非表示にするビュー</u>」の項を追加。 ▼ 「<u>Excel 連携</u>」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> 「<u>「smaconne Excel 連携」アプリと「smaconne デフォルトアプリ」テンプレートの概要</u>」で、「smaconne デフォルトアプリ」テンプレートのフォームの数を増やし、「disp_label_XX」フィールドの記述を追加。 ▼ 「<u>スマートデバイスでの利用</u>」章で以下の内容を変更。 <ul style="list-style-type: none"> 「<u>文書の編集ページの使い方</u>」項の「<u>文書の編集ページ</u>」のスクリーンショットを差し替え。 「<u>文書の編集ページの使い方</u>」項の「<u>入力フィールド等 (①)</u>」の表で「<u>リッチテキスト</u>」の「<u>操作等</u>」を更新。
2022 年 10 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「<u>インストール/セットアップ</u>」章で以下の内容を変更。 <ul style="list-style-type: none"> 「<u>動作環境</u>」項で、(株)ベストコミュニケーションズのサーバーに関する記述を削除。 ▼ 「<u>マルチデバイスで Cookie 情報を共有</u>」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> 「<u>「smaconne ユーザー設定」アプリの ACL 設定</u>」項に「<u>ロールについて</u>」の項を追加。 「<u>ACL 設定例</u>」項にロールの記述を追加。 ▼ 「<u>スマートデバイスでの利用</u>」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> 画面イメージを差し替え。 アイコンを新しいものに変更。 「<u>アプリ一覧ページの使い方</u>」項に「<u>スクロールボタン (③)</u>」の項を追加。 「<u>アプリ一覧ページの使い方</u>」項の「<u>ブックマーク管理</u>」項で、以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> 「<u>ブックマークを追加...</u>」に<input type="text"/>と禁止文字を追加。 「<u>タグ</u>」の項を追加。 「<u>CACHATTO の設定</u>」項で、ポータルパターン設定に関する記述を削除。

日付	内容
2023 年 2 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「<u>スマートデバイスでの利用</u>」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 「<u>操作ペイン</u>」の項に「このビューを書き出す」と「この文書を書き出す」を追加。 • 「<u>文書の参照ページの使い方</u>」の項に「すべて保存」を追加。
2023 年 5 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「<u>インストール/セットアップ</u>」章で以下の内容を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 「動作環境」項の Domino バージョン 8.5 以降のみでご利用いただける機能に関する記述に「<u>フォロー</u>」を追加。 ▼ 「<u>基本設定</u>」の章で以下の内容を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 画面イメージを差し替え。 • 「ビューページ表示設定」に「<u>「[フォロー] ボタンを表示する」</u>チェックボックス」の項を追加。 • 「<u>文書の編集ページ表示設定</u>」の項を追加。 ▼ 「<u>スマートデバイスでの利用</u>」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 「<u>アプリ一覧ページの使い方</u>」の項に、「<u>フォロー</u>」を追加。 • 「<u>操作ペイン</u>」の項に「このアプリをフォロー」と「このアプリのフォローを終了」を追加。 • 「<u>文書の編集ページの使い方</u>」の「<u>「[リセット] ボタン」</u>」の項に「<u>「[リセット] ボタンが表示されないケース</u>」を追加。
2023 年 8 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「<u>スマートデバイスでの利用</u>」章で以下を変更。 <ul style="list-style-type: none"> • 「<u>PC の Web ブラウザによる利用</u>」を追加。 • 「<u>お知らせ</u>」に PC の Web ブラウザでキーボードによって操作する方法を追加。 • 「<u>操作ペイン</u>」に「<u>ビューを移動...</u>」を追加。 • 「<u>文書の編集ページの使い方</u>」の「<u>入力フィールド等 (①)</u>」のプルダウン、セレクトボックス、チェックボックス、ラジオボタンに PC の Web ブラウザでキーボードによって操作する方法を追加。

以上